



\*0040398000\*

0040398-000

E4-28

全国教化団体名鑑

中央教化団体連合会

1929

AGI





池B-46



全國教化團體名鑑

財團  
法人  
中央教化團體聯合會

E4  
28



805509

### 教化團體の調査と本名鑑の編纂について

教化團體とは何か 本會に於て全国各地方に所在する教化團體の調査を企てたことは、年來一再にして止まず、嘗ては調査部會を設け、更に調査委員會を設置して専ら之れが調査の衝に掌るべき計畫を樹てたのであつた。しかるに從來この教化團體と稱すべきもの、範圍、若くは教化團體の意義如何について、何等準據すべき明確なる標準がないために、何時でも團體そのもの、調査よりも、勢ひ教化團體とは何かと言ふことが、第一の問題にならざるを得なかつた。尤も大正十三年一月十五日に發表した教化團體聯合會の創立趣意書には「現在我國には、中央地方を通じて約七百の教化團體がある。此等の團體は各々其の立場を異にし、沿革を異にするも、國民の教化を目的として、社會改良運動に従事せる點は全く同一である。即ち教化團體とは時代の推移に順應して、民心を指導し、風教を振作せむと志すものである。云々」と謂ひ、抽象的には、教化團體の意義を明かにしてはおるが、未だ之れを以てしては、あまりに簡にして、之れが説明としては不充分なるを免れない。それから今一つは本會の主催による全國教化團體代表者大會等に際し、各地方よりの參加者を求むるため、教化團體代表者としての資格を定むるにあたりては、事務上に於て次のやうな標準によつて取扱つてゐた。

教化團體とは倫理的社會改良運動を直接の目的とするもの（但し宗教の宣布、倫理道德の研究を主たる目的とする團體及感化院、免囚保護團體、青年團、處女會等を含まず）  
即ち本會事務取扱上に於ては、凡てに亘つて以上の説明を以て教化團體の解釋としたのであつたが、之れに對して

は多くの異見あり、殊に前記調査委員会に於ては、以上の説明は甚だ不備不完全のものなりとし、教化團體の調査に先立つて、第一著手としてこの定義を設くることの急務なるを認め、我が調査委員会は數次の審議研究を重ねたる結果、大正十四年九月左記の如き定義及取扱上の心得を決するに至つた。

#### 教化團體の定義並取扱上の心得

教化團體の意義を風教に關する一切の團體と解すれば甚だ漠然たるを以て、本會の成立に鑑み「教化團體とは國民道德を基調として思想を善導し若くは社會を改善するを直接的目的とする團體を謂ふ」を暫定的定義となさんとするのである。即ち國民精神作興を大方針とし、國民道德を教化の基として國民の思想が時勢の推移に際して動搖し、或は低迷せむとするを善導し依て嚮ふ所あらしむべく、又時局の變遷によつて國民の衣食住社交等一切の生活狀態がその環境に順應せざるものあるを改善し、其の向上發展を圖らしむべく努力することを直接の目的とする團體を稱せむとするのである。この故に國民精神作興社會生活の改善をその目的の中に明示するものに於ても

一、宗教の宣布を直接の目的とするもの

二、單に學術的研究に限れる學會の如きもの

三、救済、保護感化等の社會事業及經濟的手段による社會政策上の施設を主たる目的とするもの

四、青年團、處女會、少年團、戶主會、主婦會等にして單に團員各自の修養及び會員に限られたる事業を主とするもの

等は之を包容せざることとなるのである。然れども之を永遠不動の定義となし之を學術的定義として世に問は

んとするのではなくして暫く之を本會取扱上の定義となさんとするのである。

かくて以上の定義は決せられたが、本文にも明かにしてある通り、それは或は「本會の成立に鑑み」と云ひ、或は「永遠不動の定義となし之を學術的定義として世に問ふとするのではなくして、暫らく之を本會取扱上の定義となさんとする」に止まるものであつた。従つて之れを汎く一般的に公表するには至らなかつたが、事務取扱上の定義として常に用ひ來つた結果、漸次各方面に於て用ひらるゝに至り、地方廳等に於ても、以上の定義に準據して取扱はれたところも決して尠くはなかつたやうである。

#### 本名鑑に収録した教化團體は何に準據したか

然るに昭和二年末社會局に於て全國各地方の教化團體を調査せらるゝこととなり、同年十二月十六日社發第三八三號を以て各地方長官宛社會局長より、之れが調査方につきての照會文書が發せられたのであつたが、この文書によりて見るに、教化團體の意義は全く上記本會調査委員會決定の定義に基かれたものであつた。而して之れによりて各地方長官より報告せられたる調査資料は、後教化團體に關する事務が文部省に移管せらるゝに及んで同省に引續がれ同省に於て整理せられた。本會即ち同省に請ふて右資料の貸付を受け、茲に豫ての計畫たりし本名鑑編纂の根本資料としたものである。

しかし乍ら右の調査は既に昭和二年のことに屬し、制へ本會が昭和四年四月から、その組織を改めて中央教化團體聯合會となり、加盟の團體は府縣單位の教化事業聯合團體に限定せられ、各府縣管下の各團體が、之等の府縣聯合團體によりて綜合統一せられ、著々として全國教化網の組織を見つゝある今日に於ては本名鑑に収録せらるべき團體も亦異なるもの多きを加へなければならなかつた。之れを以て本篇收むるところの教化團體は、前記社會局調

査に係る資料を根本としたのではあるが、更に新に本會より各地方に照會して調査資料を蒐集し之れを整理したものである。従つて之れが編輯の方法としても先づ本會加盟の團體たる府縣聯合團體を中心とし、その之れに加盟せる當該管下の各團體を登録し、次て府縣聯合團體未設置地方の各團體並に新に朝鮮、臺灣、關東洲所在の各種教化團體をも加ふることとした。しかも府縣聯合團體の設立は右社會局調査以前に屬するものあり、之れに加盟せる團體は必ずしも右定義に據らざるものと認めらる、又爾後に於て設立せられたるものと雖も當該地方廳に於て教化團體の意義を極めて廣義に採りたるものと見らるゝものあり、同じく該定義に則りたるもその解釋の相違によりて甚だしく異色ある團體のそれに加はりたるものもあり。要之本名鑑に收めたるものは同じく教化團體と稱するも一見甚だしくその性質を異にするが如く見らるゝも、その本質に於て教化を目的とせざるものはないのである。

本篇に收むる教化團體は如斯にして、必ずしも一定の標準に據れるものとは申し難いのであるが、本會に於ても近時に於ける教化運動の著しき進展に伴ひ、この機に乗じて斯業の充分なる發達を遂げしめ、眞に内容あり、實質ある教化網の完成を圖らむがため、本會教化事業調査會に於て慎重審議の結果、本年三月一日に至り從來の如き多くの除外例を設けたる狹義の定義は、不適當なるものとして之れを廢し、新に教化團體の範圍を一層擴大したる左記定義を決するに至つたのである。

#### 教化團體の定義

教化團體とは國民の道德的向上を目的として思想を善導し、社會を改善するものを謂ふ。

本會に於ける教化團體の取扱方につきましては實に如斯變遷の跡を辿り來つてゐる。蓋し嘗ては單に教化團體の稱呼のみあつて、その意義極めて漠然たりし既往に顧み、茲に極めて廣汎なる見地に於ける一定の意義を設けて、漸次

教化團體の系統的組織の確立せられつゝあるの事實は隨に斯業の一進歩なることを信するものである。當然しながら未だ全國教化網の完成を見るに至らざる今日に於て、不完全ながらもこの全國教化團體名鑑が各教化團體及斯業従事者相互の聯絡提携に資すると共に、之れが促進の上に多少の貢獻をなすところもあらば望外の幸ひである。

昭和四年八月

財團中央教化團體聯合會

## 凡 例

- 一、本名鑑は全国の教化團體につき其の組織、沿革の概要、目的及事業種別、經理狀況、主なる役職員氏名其他に付大要を収録せるものなり。
- 二、本名鑑に収録せる各團體の調査方法は左記に據る。
  - (イ) 道府縣に於て其の管下各教化團體又は教化事業關係者を綜合して、道府縣教化事業聯合團體又はその連絡機關を組織し、本會に加盟せるものありては、其の代表者に於て蒐集せられたる資料に基きたり。
  - (ロ) 府縣教化事業聯合機關、又は其の連絡機關未設の縣については、去る昭和二年十二月十六日付社發第三八三號、社會局社會部長より全國各地方長官に對する管下所在の教化團體調査方照會に對し、地方長官より報告せられたる調査資料を文部省に於て整理せられたるもの貸付を受け、これに基き更に本會々長に於て各教化團體代表者に對し直接其の報告を求めたり。
  - (ハ) 上記社會局調査以後に於て設立せられたる新團體、若くは該調査に對して報告洩れとなりたる團體若干を豫想し、新に本會より地方廳に照會し、その回答を待つて本會より直接其の團體代表者の報告を求めたり。
- 三、本名鑑収録の各團體の現況は昭和三年十二月末日現在とせり。故に役職員の異動其他につき本會に於て分明せるものありても、不統一を避くるため之れを改定せず、但し本年一月以降新設の團體につきましては努めて之を収録することゝしたり。



- 四、記事中其の叙述に精粗あり、文體同じからざるは、努めて其の報告原文を尊重せるに因る。
- 五、各團體配列の順序は系統的組織の點に深く意を用ひたる結果、最初に本會を掲載し、次で地方別により順次本會加盟の府縣教化事業聯合團體又は聯絡機關のもとに當該加盟各團體を擧げ、次に右聯合團體又は聯絡機關未設置縣所在の團體を、最後に朝鮮、臺灣、關東洲所在の各團體を配列したり。
- 六、各團體の配列順位は道府縣毎に其の創立年月に従ひ、その古きものを先きとし、新しきものを後に掲げたり。
- 七、本名鑑には努めて我國現存の教化團體全部を収録せむとし、その資料の蒐集につき萬全を期したるも、尙報告に接せざる多數の團體ありて、遂に豫期の成績を收め得ざりしは遺憾とするところなるも、他日版を改むるに際しては、必ずや之を補ひ完璧を期せむとす。
- 八、本名鑑の編纂に際し、特に資料を貸付せられたる文部當局、並忙中資料蒐集の勞を執られたる各地方廳當局及地方聯合團體當事者の援助と、併せて報告を寄せられたる各教化團體代表者各位に對し深甚の謝意を表す。

# 全國教化團體名鑑 目次

教化團體の調査と本名鑑の編纂について

凡 例

全國教化團體 地方別、經營主體別、教化内容別、活動區域別 一覽表

財團法人中央教化團體聯合會 ..... 一頁

北海道

北海道

北海道精神作興會 ..... 三

東北地方

青森縣

青森縣教化團體聯合會 ..... 二三

加盟團體

田子佛教會 ..... 一四

秋田縣

秋田縣教化事業聯合會 ..... 一五

加盟團體

山本佛教會 ..... 一六

財團法人秋田至仁會 ..... 一七

宣正明成會 ..... 一九

財團法人官林矯風自強會 ..... 二〇

神宮寺顯彰婦人會 ..... 二二

秋田縣仙北佛教會 ..... 二三

秋田縣南秋田郡佛教會 ..... 二四

蓮松社 ..... 二六

雄勝佛教會 ..... 二六

基督教佛人矯風會秋田支部……………元

鹿角郡佛教會……………元

明珠會……………三

西瀧澤村生活改善實行會……………三

秋田縣修養團支部聯合會……………三

明治會秋田支部……………三

廓清會秋田支部……………三

### 宮城縣

宮城縣教化事業聯合會……………元

#### 加盟團體

仙臺皇道會……………元

不動堂佛教青年會……………四〇

中津山村建國修養團……………三

### 福島縣

福島縣教化團體聯合會……………三

南相佛教慈善會……………六三

標葉佛教慈善會……………六四

福島市各宗聯合和光會……………六五

日本弘道會中村支會……………六六

立子山村佛教婦人會……………六七

大元禁酒會……………六八

修養團若松支部……………六九

慶徳村風俗矯正會……………七〇

不染會……………七一

禁酒同盟會……………七二

修養團富野支部……………七三

郡山生活改善實行會……………七四

大沼文化會……………七五

平禁酒會……………七六

自覺禁酒會……………七七

田村郡禁酒同盟三春禁酒會……………七八

#### 加盟團體

湯野報徳社……………四九

御木澤村七草木禁酒會……………四九

相馬佛教慈善會……………四九

伊達北部佛教慈善會……………四九

福島縣伊達郡川西佛教慈善會……………五〇

石川佛教慈善會……………五一

雙葉佛教慈善會……………五二

安積佛教慈善會……………五三

西白河郡佛教慈善會……………五四

耶麻佛教慈善會……………五五

東部大沼佛教慈善會……………五七

安達佛教慈善會……………五八

猪苗代佛教慈善會……………五九

會津佛教慈善會……………六〇

田村東南佛教慈善會……………六一

湯野禁酒會……………六一

修養團神谷村支部……………六二

國本社郡山支部……………六三

華鬘會……………六四

善性寺日曜學校……………六五

郡山社會事業懇談會……………六六

福島縣禁酒同盟……………六七

慶徳佛教慈善會……………六八

### 北陸地方

#### 富山縣

富山縣佛教々々化團體聯盟……………六九

#### 未加盟團體

富山縣神道教化聯合會……………七〇

#### 石川縣

#### 加盟團體

石川縣教化事業聯合會……………一九

石川縣河北郡佛教會……………二〇

石川郡佛教會……………二〇

日吉會……………二〇

石川縣能美郡佛教會……………二〇

江沼郡佛教會……………二〇

鳳至郡佛教會……………二〇

鹿島郡佛教會……………二〇

金澤市佛教會……………二〇

珠洲郡佛教會……………二〇

石川縣聯合佛教會……………二〇

關東地方

栃木縣

栃木縣教化事業聯合會……………二〇

加盟團體

栃木縣神職會……………二〇

下都賀保護會……………二〇

財團法人下野三樂園……………二〇

足利郡市慈濟會……………二〇

栃木縣上都賀郡四恩會……………二〇

宇都宮安國會……………二〇

天理教栃木縣理生會……………二〇

眞岡禁酒會……………二〇

日光婦人會……………二〇

財團法人御大典紀念富永奉仕會……………二〇

群馬縣

群馬縣教化事業聯合會……………二〇

加盟團體

桐生積善會……………二〇

館林婦人會……………二〇

高崎修養會……………二〇

吾妻樹德會……………二〇

大胡積善會……………二〇

前橋修養會……………二〇

廓清會群馬支部……………二〇

澁川修養會……………二〇

伊勢崎町婦人會……………二〇

粕川尚善會……………二〇

佛教聯合會群馬縣支部……………二〇

原市修養會……………二〇

群馬縣加葉山沼田婦人會……………二〇

群馬縣禁酒聯盟……………二〇

小野向上會……………二〇

埼玉縣

埼玉縣教化團體聯合會……………二〇

加盟團體

日本弘道會豊岡支會……………二〇

有限責任 潮止信用組合……………二〇

有限責任 興野信用販賣購買組合……………二〇

有限責任 大石信用販賣購買組合……………二〇

原谷村信用購買組合……………二〇

平信用購買販賣組合……………二〇

有限責任 堀兼村信用購買販賣組合……………二〇

佛教傳道會……………二〇

埼玉縣神職會……………二〇

幡羅信用購買組合……………二〇

中條村教化團體……………二〇

北埼玉郡加須町矯風會……………二〇

豊岡町信用購買販賣利用組合……………二〇

曲輪同志會……………二〇

有限責任 埼玉縣信用利用組合聯合會……………二〇

藤田村信用購買販賣組合……………二〇

潮止佛教團	一六二
有限責任 大岡信用組合	一六三
有限責任 金子村信用購買組合	一六三
入間郡佛教會鶴瀬支部	一六四
兒玉郡佛教會	一六五
財團法人桶口村信用組合	一六六
宗岡村信用購買販賣組合	一六六
山田風俗改良團	一六六
天理教埼玉聯盟會入間郡東部支會	一六九
大塚耕地實行會	一七〇
埼玉縣入間郡佛教會	一七一
佛教青年會	一七二
福岡村信用購買販賣組合	一七四
柏原村信用購買販賣組合	一七四
有限責任 中瀬信用購買販賣組合自彙會	一七五
入間郡佛教會飯能支會	一七五

有限責任 橫瀬村信用組合	一七六
天理教北埼玉郡支會	一七七
天理教北葛飾郡支會	一七八
天理教埼玉縣聯盟會兒玉支會	一七八
天理教南埼玉郡支會	一七八
天理教北足立郡北部支會	一七八
天理教大里郡支會	一八〇
天理教入間郡西部支會	一八〇
天理教埼玉縣聯盟會秩父郡支會	一八〇
天理教埼玉縣聯盟會	一八一
埼玉縣聯盟會比企郡支會	一八一
戸ヶ崎村生活改善組合	一八三
有限責任 秩父町信用組合	一八三
淨土宗正樹院報德會	一八四
有限責任 中川村武西信用購買販賣組合	一八五
秩父佛教同志會	一八七

水深村生活改善團體	一八八
旭村生活改善申合	一八九
豊田村生活改善期成會	一九〇
新郷村各宗教聯合會	一九一
槻川村信用組合	一九一
國民思想善導映畫教化團	一九三
横手佛教子供會	一九三
外秩四恩會	一九四
清和會	一九五
北足立郡佛教會	一九七
埼玉縣佛教教化團	一九八
國民精神振興會	一九八
都幾傳道會	一九九
今宿龜井兩村聯合教風會	二〇〇
埼玉縣佛教聯合會	二〇二
報恩會	二〇三

## 東京府

### 東京府教化團體聯合會

#### 加盟團體

天理教北足立郡中部支會	二〇三
越ヶ谷日本基督教會矯風部	二〇四
日本メソジスト熊谷教會	二〇五
大里郡寄居町外六ヶ村佛教會	二〇六
東武佛教會	二〇七
埼玉縣飯能町自分会	二〇八
西武教化團	二〇九
横手主婦會	二一〇
社團法人日本弘道會	二二三
財團法人斯文會	二二六
國柱會	二二八
財團法人東京基督教青年會	二三〇
財團法人 皇典講究所	二三三

財團法人全國神職會	二五三
財團法人奉公會	二五五
社團法人上宮教會	二五七
神宮奉齋會	二五九
佛教青年傳道會	二六〇
財團法人鐵道保養院	二六三
財團法人中央報德會	二六四
財團法人修養園	二六六
道會	二六九
鐵道青年會	二七一
愛國青年社	二七四
皇道會	二七五
斯道會	二七七
高輪義士會	二七八
大日本士道會	二八〇
社團法人聖訓奉旨會	二八一

財團法人明治神宮講	二八三
皇國修養會	二八五
財團法人照國會	二八七
財團法人日本青年館	二八八
奉仕會	二九〇
講道館文化會	二九二
東洋文化學會	二九三
國性文藝會	二九五
東京積善會	二九六
大東文化協會	二九七
國本會	二九九
帝國文化協會	三〇〇
誠忠會	三〇一
大日本護國會	三〇三
財團法人立正會	三〇五
明治會	三〇九

乃木講	二五五
鐵道道友會	二五五
中央義士會	二五七
日本魂社	二五八
財團法人聖德太子奉讀會	二六〇
株式會社天業民報社	二六三
財團法人清明會	二六四
日本青年修養會	二六七
希望社	二六八
働く會	二七〇
財團法人生活改善同盟會	二七二
財團法人日本國民禁酒同盟	二七四
婦人復興會	二七六
鐵道共敬會	二七七
財團法人皇民會	二七八
國風會	二八〇

### 中部地方

#### 山梨縣

中央婦人會	二八九
山梨縣教化事業協會	二九一
加賀團體	二九二
佛教靈光會	二九三
日本メソジスト甲府教會婦人會	二九三
南湖報德社	二九四
御影村報德社	二九六
金澤禁酒會	二九七
諏訪神社保護會	二九八
鹽山禁酒會	二九九
觀音婦人會	三〇〇
勝沼禁酒會	三〇一
南都留佛教會	三〇三

壬戌實行會	三三三
大日本立正教會	三三三
川窪自警團	三三三
作興會	三三五
大草村上條東割教會	三三七

### 静岡縣

#### 静岡縣教化團體聯合會

加盟團體	三三七
大日本報德社	三三九
吉野村風俗改善同盟會	三三九
南中佛教教化團	三三三
溫議會	三三五
庵原村佛教證道會	三三六
稻梓村自警會	三三六
護國親善會	三三八

於呂濟美會

沼津積善會	三三一
榛原郡佛教積善會	三三二
熊村乃木講社	三三四
濟名郡佛教報國會	三三五
藤枝四恩會	三三七
岳南佛教會	三四八
長泉乃木講	三四九
笠原乃木講社	三五〇
安倍郡社會教化團	三五二
國本社静岡支部	三五三
静岡縣庵原郡佛教奉詔會	三五五
西山口村乃木講社	三五四
竹麻教化團	三五六
國本社濱松支部	三五七
國本社三島支部	三五八

國本社沼津支部	三三五
國本社安倍郡支部	三三〇
掛川町乃木講	三三一
國本社富士郡支部	三三二
袋井乃木講社	三三三
未加盟	
小笠郡南部報德社聯合會	三三四
清水市佛教聯合會	三三五

### 愛知縣

#### 愛知縣教化團體聯合會

加盟團體	三三六
財團法人名古屋基督教青年會	三三八
名古屋排酒會	三三八
財團法人一德會名古屋支會	三三九
帝國社會教化團	三七一

日本魂社名古屋支社	三七二
布袋教化會	三七四
皇道會名古屋支部	三七五
愛知縣佛教會	三七五
國本社名古屋支部	三七七
至誠會	三七七
愛知縣神道聯合會	三七八
協和會館	三八〇
忠愛會名古屋支部	三八〇

### 岐阜縣

#### 岐阜縣教化團體聯合會

加盟團體	三六一
岐阜縣教育會	三六三
社團法人安弘見報德社	三六五
岐阜市各宗協會	三六七

岐阜縣神德會	三三八
社團法人 永田報德社	三三九
岐阜縣佛教會支部加茂郡德林會	三三〇
大墳自治會	三三九
御大典紀念尙道會	三三二
岐阜縣佛教會支會益田郡報國會	三三四
岐阜縣稻葉郡芥見村國民思想演義會	三三五
岐阜眞宗聯合會	三三六
岐阜縣佛教會養老郡支會	三三七
財團法人 神國會	三三九
岐阜縣揖斐郡聯合報德會	三三九
羽島郡振興會	三四〇
岐阜縣教化團體聯合會本巢郡支會	三四三
可兒郡教化團體	三四三
岐阜市教化團體聯合會	三四三
岐阜縣佛教會稻葉郡支會	三四三

岐阜縣佛教會惠那郡支會	三四五
岐阜縣佛教會吉城郡支會	三四六
岐阜縣佛教會	三四七
岐阜縣佛教會安八郡支會	三四八
岐阜縣佛教會揖斐郡支會	三四〇
岐阜縣佛教會山縣郡支會	三四〇
岐阜縣佛教會大野郡支會	三四二
岐阜縣稻葉郡聯合報德會	三四二
岐阜縣佛教會土岐郡支會	三四四
岐阜縣基督教聯盟	三四五
岐阜縣佛教會養老郡支會日吉村分會	三四五
財團法人 大垣市保護協會	三四二

**三重縣**

三重斯民會	三四九
加盟團體	
三重縣佛教會	三四三

近畿地方

京都府

三重縣社會事業協會融和部	三四三
京都府教化團體聯合會	三四五
加盟團體	
財團法人 京都府教育會	三四六
日本弘道會京都支會	三四八
公益社團法人 伏見十六會	三四九
財團法人 報德會	三四三
社團法人 一德會	三四二
道德研究會	三四六
對揚會	三四七
團會	三四六
衆善會	三四〇
京都禁酒會	三四三

大阪府

赤誠奉仕會	三四四
大日本善人同盟使命社	三四六
一人會	三四八
京都府交通安全會	三四〇
溫古會	三四二
社團法人 聖訓奉仕會關西支部	三四三
中丹時報社	三四五
考學堂協贊會	三四六
京都市聯合報德會	三四七
修養團京都府聯合會	三四七
修養團京都支部	三四八

**大阪府教化團體聯合會**

加盟團體	
敬神組	三四一

有隣會	四六三
吉川修齋會	四六三
覺醒社	四六四
大阪中央乃木講社	四六六
公益園	四六七
大日本國光宣揚會	四六八
浪華乃木會	四七一
大阪府枚方乃木講社	四七二
堺節約會	四七四
堺彌榮會	四七五
日本皇風會	四七六
大阪講演會	四七七
社團法人 聖訓奉旨會關西支部	四七八
岸和田市修養會	四八〇
鹽三修養會	四八二
九條民風作興會	四八二

實唱實行會	四八三
達明會	四八四
大阪堀江乃木講社	四八六
聖道會	四八七
日本魂社大阪社友會	四八九
安治川乃木講社	四九〇
西野田乃木講社	四九一
西野田愛郷會	四九二
和光會	四九三
阪南乃木講社	四九四
九條乃木講社	四九五
大日本國旗宣揚會	四九六
國民精神作興忠孝會	四九八
日の本修養會	四九九
未加 盟	
大阪皇陵參拜團	五〇〇

皇國擁護修養會	五〇一
船場修養會	五〇一
明治會堺支部	五〇四
希望社大阪府聯盟	五〇四

兵庫縣

教化團體兵庫縣聯合會

加盟團體	
加西郡和敬會	五〇八
日本基督教婦人矯風會神戸支部	五〇九
神崎郡皇道會	五一一
播磨德育會	五一一
皇陵觀念普及會	五二三
姫路揚善會	五二三
神戸市基督教青年會	五二七
財團法人 神戸積德會	五二九

美囊郡佛教護國團	五三〇
兒島贈從三位舊趾樓存會	五三一
神戸排酒期成會	五三三
北谷村醇厚會	五三四
播磨養老會	五三五
社團法人 海軍協會神戸支部	五三七
心教兵庫縣支部	五三九
住吉乃木講社	五四〇
修養團希望兵庫縣聯合會	五四二
神戸基督教女子青年會	五四三
明石自慶會	五四四
神戸佛教聯合會	五四五
出石郡佛教各宗聯合會	五四五
加古川町四恩會	五七七
神戸參陵會	五七八
赤穂義士會	五八〇



立正教報社	五三三
多紀佛教團	五三三
兵庫縣神職會	五四四
社團法人稜威會神戸支部	五四六
大日本國光宣揚會神戸支部	五四六
智德會	五四八
立正曉鐘會	五四九
神戸公德會	五五〇
神戸婦人禁酒禁煙會	五五一
神戸乃木講社	五五三
神戸乃木婦人會	五五四
皇國誠進會	五五五
神戸基督教聯盟	五五七
楠公會	五五七
養正會	五五九
財團法人明治天皇御物保存會	五六一

和歌山縣

神戸佛教會館寶林會	五二二
國柱會神港局	五二二
和歌山縣教化聯盟	五三三
加盟團體	
社團法人和歌山縣教育會	五三五
和歌山縣神職會	五三六
和歌山縣基督教聯盟	五三八
中國地方	
岡山縣	
岡山縣教化團體聯合會	五七一
加盟團體	
邑久郡教育會	五七二
岡山縣教育會	五七三
上道郡教育會	五七五

社團法人日本赤十字社岡山支部	五七七
岡山縣淺口郡教育會	五七九
社團法人赤磐郡教育會	五八〇
上房郡教育會	五八三
金光教第一教區支部	五八三
愛國婦人會岡山縣支部	五八四
美和報德會	五八六
岡山縣邑久郡聯合青年團	五八六
岡山縣御津郡聯合青年團	五八八
帝國在郷軍人會赤磐郡聯合分會	五八九
岡山縣神職會	五九一
岡山縣神職會邑久郡支部	五九三
帝國在郷軍人御津郡聯合分會	五九三
帝國在郷軍人會吉備郡聯合分會	五九五
財團法人英田郡教育會	五九六
上村報德會	五九六

中國地方  
岡山縣

岡山縣後月郡佛教各宗同盟會	五九九
美作佛教各宗自修會	六〇〇
岡山縣明德會	六〇三
聖德紀念邑久郡修心會	六〇三
淺口郡明德會	六〇五
岡山縣上房郡興仁會	六〇六
岡山縣阿哲郡至誠會	六〇七
岡山縣司法保護聯合會	六〇八
倉敷市都窪郡慈教會	六〇〇
岡山縣吉備郡洪濟會	六〇二
赤磐郡明德會	六〇二
御津郡明德會	六〇四
岡山縣上房郡聯合青年團	六〇五
日本弘道會岡山支會	六〇七
上道郡明德會	六〇七
中川村濟世會	六〇八

修養團岡山縣聯合會	六九
溫交濟世社	七〇
岡山縣佛教報國團	七三
日里村濟世會	七三
岡山縣協和會	七四
神道各教岡山聯合會本部	七六
寄島町濟世會	七六
淺口郡聯合青年團	七八
岡山縣聯合青年團	七八
佛教聯合會岡山縣支部	八二
岡山市聯合青年團	八三
岡山佛教會	八三
吉備郡岩田村共同濟世社	八五
上房郡聯合女子青年團	八六
立田互惠會	八七
福濱村濟世會	八八

高月村共濟會	九〇
信愛教會	九〇
後月郡聯合女子青年團	九三
小田郡濟世會	九三
天理教岡山縣聯合會	九五
邑久郡大宮村濟世兒童保護協會	九五
吉備郡聯合女子青年團	九七
天理教岡山市御津郡聯合會	九八
天理教會敷市都窪郡聯合會	九八
天理教(苦田、久米、真庭、勝田、英田)郡聯合會	九八
岡山縣聯合女子青年團	九九
岡山縣阿哲郡女子青年團	一〇一
西大寺町濟世會	一〇二
天理教岡山縣(小田、淺口、後月、川上)郡聯合會	一〇四

縣主村濟世會	六五
上道郡女子青年團	六六
天理教兒島郡聯合會	六七
岡山縣邑久郡聯合女子青年團	六八
公民教育會岡山縣支部	六九
天理教吉備上房阿哲郡聯合會	六〇
岡山縣曹洞宗務所	六一
岡山縣御津郡教育會	六三
南野協會	六四
金岡村濟世會	六五
天理教邑久上道聯合會	六六
豐並村濟世會	六七
粒江村東粒江報德會	六八
岡山市廣瀨町東町報德會	六九
古都濟世會	七〇
岡山市禁酒同盟會	七一

廣島縣

芳田村濟世會	七一
廣島縣教化事業聯合會	七三
加盟團體	
廣島縣神職會世羅郡支會	七四
廣島縣神職會	七六
廣島縣神職會佐伯郡支會	七七
廣島縣佐伯郡教育會	七八
廣島縣甲奴郡教育會	七九
日本弘道會廣島支會	八一
社團法人高田郡教育會	八二
尾道市教育會	八三
社團法人安佐郡教育會	八五
廣島躬行會	八七
財團法人基督教婦人矯風會吳支部	八七
文化報德會	八九

社團法人 芦品郡教育會…………… 六〇  
先憂會…………… 六九  
一德會廣島支會…………… 六九  
廣島縣神職會廣島支會…………… 六九  
日本基督教婦人矯風會廣島支部…………… 六九  
廣島縣神職會高田郡神職支會…………… 六九  
福山市教育會…………… 六九  
大日本愛人會…………… 六九  
廣島縣共鳴會…………… 六九  
廣島婦人會…………… 六九  
佐伯佛教濟世軍…………… 六九  
修養團廣島支部…………… 六九  
社團法人 双三郡教育會…………… 六九  
佐伯郡佛教奉公會…………… 六九  
社團法人 豊田郡教育會…………… 六九  
社團法人 深安郡教育會…………… 六九

小鯖村教化園…………… 七〇  
美禰郡教育會…………… 七〇  
山口縣大島郡神職會…………… 七〇  
社團法人山口縣縣大津郡教育會…………… 七〇  
山口縣阿武郡教育會…………… 七〇  
天理教下關市聯合會…………… 七〇  
佐波郡北部佛教團風教部…………… 七〇  
豊浦郡教育會…………… 七〇  
都濃郡佛教團…………… 七〇  
都濃郡神社會…………… 七〇  
熊毛郡神職會…………… 七〇  
山口縣大島郡佛教團…………… 七〇  
山口縣大津郡各宗聯合佛教團…………… 七〇  
下關佛教同盟濟世會…………… 七〇  
宇部市聯合報德會…………… 七〇  
徳山町教育會…………… 七〇

社團法人 廣島市教育會…………… 七〇  
社團法人 安藝郡教育會…………… 七〇  
廣島生活改善研究會…………… 七〇  
國本社廣島支部…………… 七〇  
國本社吳支部…………… 七〇  
勤儉獎勵廣島聯合婦人會…………… 七〇  
廣島縣同明會…………… 七〇  
廣島縣神職會速谷神社支會…………… 七〇  
廣島縣神職會安佐郡支會…………… 七〇  
社團法人 比婆郡自治教育會…………… 七〇  
國本社尾道支部…………… 七〇  
山陽禁酒會…………… 七〇

山口縣  
山口縣教化事業聯合會…………… 七〇  
加盟團體  
玖阿郡教育會…………… 七〇

富田町教育會…………… 七〇  
山口縣玖珂郡佛教團…………… 七〇  
天理教都濃聯合會…………… 七〇  
長府町報德會聯合協議會…………… 七〇  
山口縣吉敷郡南部神職支會…………… 七〇  
天理教山口縣聯合會…………… 七〇  
久保村教育會社會部…………… 七〇  
豊浦郡神社協會…………… 七〇  
天理教大島郡聯合會…………… 七〇  
豊浦郡聯合佛教團…………… 七〇  
天理教厚美聯合會…………… 七〇

四國地方

愛媛縣

愛媛縣教化團體聯合會…………… 七〇  
加盟團體

財團法人愛媛保護會	七五九
愛媛縣温泉郡正岡村治進會	七六一
喜多郡明昭會	七六三
西豫一心會	七六四
大日本四恩協會	七六五
財團法人喜多郡自治協會	七六七
社団法人南豫文化協會	七六九
愛媛乃木講	七七一
民心作興會	七七一
財團法人西宇和郡社會事業協會	七七三
財團法人愛媛縣新居郡社會事業協會	七七四
越智郡聯合婦人會	七七五
西宇和郡聯合主婦會	七七六
喜多郡聯合婦人會	七七七
愛媛縣温泉郡興居島村禁酒會	七七九
愛媛縣佛教會	七八〇

### 高知縣

高知縣社會事業協會	七八二
加盟團體	
土佐史談會	七八四
基督教婦人矯風會高知支部	七八五
高知佛教婦人會	七八六
高野寺密教婦人會	七八七
嶺北教化團	七八八
高知縣漁村成人教育協會	七八九
九州地方	
大分縣	
大分縣教化團	七九三
加盟團體	
福岡縣	
福岡縣社會教育協會	七九四

### 加盟團體

財團法人福岡縣神職會	七八八
大日本佛教濟世軍	八〇〇
筑豊禁酒同盟會	八〇三
興風會	八〇三
福岡縣聯合青年團	八〇五
福岡縣聯合處女會	八〇七
少年團福岡縣聯盟	八〇九
財團法人修養團九州聯合會	八二一
福岡縣體育協會	八三二

### 宮崎縣

宮崎縣教化事業協會	八三三
加盟團體	
社団法人北方報德會	八三四
財團法人兒湯自治會	八三五
財團法人西臼杵郡自治協會	八三六

### 東北並北陸地方

#### 岩手縣

岩手縣佛教會	八七九
--------	-----

#### 山形縣

八榮島報德社	八八八
下小中報德社	八八九
双月報德會	八九〇
社団法人中津川報德社	八九三
大山佛教慈善團	八九三
鶴南兒童智德會	八九四
十文字報德會	八九五
社団法人岩倉報德社	八九六
小國禁酒會	八九六

#### 新潟縣

新潟市教育會	八五九
新潟縣教育會	八三〇
新潟市婦人教育會	八三三
日本圖書館協會新潟縣支部	八三四
財團法人新潟日蓮主義實行會	八三三
財團法人修養園新潟市支部	八三七
和敬會	八三八
精神作興會	八三九
島上村教化團聯合會	八四〇
佐渡教化團	八四一
新潟市教化團體聯合會	八四二
方正會	八四四
聖德會	八四五
福井市聯合婦女會	八四六

### 福井縣

同明會	八四八
福井市聯合報德會	八四九
關東並中部地方	
茨城縣	
水戸禁酒會	八五二
常總禁酒會	八五二
下館禁酒會	八五三
大日本佛教護國團	八五三
土浦禁酒會	八五五
多賀禁酒會	八五七
禁酒煙貯蓄會	八五八
高田村生活改善會	八五九
正進同志會	八六〇
現原村小學校兒童實行會	八六二
皇風會	八六三

### 千葉縣

茨城佛教青年聯盟	八六五
佐原修養會	八六六
木更津町大正會	八六七
片貝尙風會	八六九
財團法人公正會	八七〇

### 神奈川縣

橫濱禁酒會	八七一
神奈川縣報德社聯合會	八七三
鎌倉郡興德會	八七四

### 滋賀縣

滋賀縣教育會	八七五
滋賀縣佛教聯合會	八七七
西庄村佛教護國團	八七八
日野町自治協會	八八〇

野洲町明治會	八八〇
湖南禁酒會	八八一
修養園滋賀縣中央會	八八三

### 近畿並中國地方

#### 奈良縣

慈眼會	八八五
金陽佛教會	八八六

#### 鳥取縣

鳥取縣教育會	八八七
鳥取縣神職會	八八九
財團法人鳥取縣給産會	八九一
鳥取縣由良修養會	八九三
和光會	八九四
米子青年團自律支部	八九六

- 鳥取縣一心會……………八九七
- 眞報國社會館……………八九九
- 財團法人修養團鳥取縣立農學校支部……………九〇〇
- 國本社鳥取支部……………九〇三
- 岩美郡婦人會……………九〇四
- 東伯郡聯合婦人會……………九〇四
- 西伯聯合婦人會……………九〇五

### 島根縣

- 島根縣教育會……………九〇六
- 島根縣神職會……………九〇八
- 帝國在郷軍人會松江支部……………九〇九
- 帝國在郷軍人會濱田支部……………九一〇
- 財團法人島根授産會……………九一一
- 島根縣和敬會……………九一三

## 四國並九州地方

### 德島縣

- 阿波郡進德會……………九一七
- 麻植郡和敬會……………九一八
- 皇風會……………九二〇
- 德島內町乃木講社……………九二二

### 香川縣

- 財團法人私立雞鳴學館……………九二三
- 栗山顯彰會……………九二四
- 多肥報德自活會……………九二六

### 佐賀縣

- 佐賀縣藤津郡七浦村婦人會……………九二七
- 值賀村主婦會……………九二九
- 北川副洗心會……………九三〇
- 大詔實踐團……………九三三
- 七山村積善會……………九三四

- 佐賀楠公會……………九三六

- 中原村婦人會……………九三七

- 刈川村主婦會……………九三七

- 牛津町主婦會……………九四一

### 長崎縣

- 國本社長崎支部……………九四三

### 熊本縣

- 日本基督教婦人矯風會熊本支部……………九四四
- 社團法人富尾報德社……………九四五
- 楠町報德會……………九四六
- 熊本乃木講社……………九四七
- 熊本市本山町乃木講社……………九四八
- 熊本縣民風作興委員會……………九四九
- 熊本縣昭和會……………九五〇

### 鹿兒島縣

- 草牟田報德會……………九五二

### 沖繩縣

- 財團法人沖繩自營會……………九五三
- 財團法人球陽學園……………九五五
- 南陽佛教婦人會……………九五六
- 沖繩佛教青年會……………九五七
- 沖繩基督教各派聯合教役者會……………九五八
- 官幣小社波上宮附屬波上講社……………九六〇

## 朝鮮臺灣並關東州

### 朝鮮

- 大邱府立圖書館……………九六一
- 和光教團……………九六一
- 京城府立圖書館鍾路分館……………九六四
- 財團法人金泉尙善會……………九六五

鎮海立正慈教團	九六七
馬山福壽會	九六八
京城府立圖書館	九六九
財團法人開城大成會	九七〇
永興學校	九七三
釜山共生園	九七四
修養團朝鮮聯合會	九七五
財團法人朝鮮佛教團	九七六
天理教內鮮同慶會	九七八
朝鮮報德會	九七九
<b>臺 灣</b>	
臺北州聯合同風會	九八一
向陽會	九八二
赤誠會	九八三
臺南洲共榮會	九八五
臺灣精神社	九八六

## 大 連

營口佛教婦人會	九八七
興文會	九八八
財團法人大連基督教青年會	九八九
金州獎學會	九九一
日本基督教婦人矯風會大連支部	九九三
普蘭店獎學會	九九四
旅順少年團	九九五
金州會天足會	九九六
皇道普及會	九九七
修養團普蘭店支部	九九九
修養團長春支部	九九九
日本メソヂスト營口教會日曜學校	一〇〇〇
修養團滿洲聯合會	一〇〇一
長春青年義勇團	一〇〇三
修養團鷄冠山支部	一〇〇四

旅順初等教育會	一〇〇五
修養團鐵嶺支部	一〇〇七
大連青年團	一〇〇八
撫順青年團	一〇〇九
鐵嶺少年健兒團	一〇一一
長春健兒團	一〇一三

大體	第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八	第九	第十	第十一	第十二	第十三	第十四	第十五	第十六	第十七	第十八	第十九	第二十
山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山
口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四
五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九
十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十
十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一
十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二
十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三
十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四
十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五
十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六
十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七
十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八
十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九
二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十

Blank page with faint bleed-through text from the reverse side.









名稱 財團法人中央教化團體聯合會

事務所所在地 東京市麹町區大手町一丁目七番地二

創設年月日 大正十三年一月十五日

經營主體又ハ代表者

イ、經營主體 財團法人

ロ、代表者 男爵 山川健次郎

沿革概要

大正十二年十一月十日國民精神作興ニ關スル詔書煥發セラルルヤ、社會局長官ハ都下教化團體代表者ノ參集ヲ求め、聖旨ノ普及徹底ヲ圖ルベキ方途ヲ協議シタル結果、其ノ具體的方法トシテ教化團體聯合會ヲ組織スルコトニ決シ、翌年一月十五日之レヲ設立セリ。

爾來加盟團體ハ逐次増加シ、昭和三年三月ニ於テハ總數七十數團體ヲ算スルニ至ル。而シテ之ト共ニ全國各府縣ニ漸次府縣單位ノ教化團體聯合機關設立セラルルニ至リタルヲ以テ、昭和三年四月從來ノ規程ヲ廢シ、新ニ中央

教化團體聯合會々則ヲ定メ、其ノ組織ヲ變更シテ加盟團體ハ府縣單位ノ教化團體聯合會ニ限ルコトトシ、教化事業ノ全國的統制機關タルノ實ヲ舉クルニ至レリ。更ニ同年十一月主務大臣ニ對シ財團法人設立ノ出願ヲ爲シ、同年十二月二十四日之レヲ許可セラレ今日ニ至ル。

目的及事業種類

イ、目的 聖訓ヲ奉體シ國民精神ノ作興ヲ圖ルヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、教化事業ノ聯合提携ヲ圖ルコト

二、教化事業ニ關スル調査研究ヲナスコト

三、教化事業ノ獎勵助成ヲナスコト

四、教化ニ關スル印刷物ヲ發行スルコト

五、教化事業振興ニ關スル施設ヲ講スルコト

六、其他前條ノ目的達成上必要ナリト認メラ

ル、事項

會員數及分布狀況

本會加盟團體ハ目下二十八團體ニシテ、其名稱ヲ舉クレハ左ノ如シ

- |            |              |
|------------|--------------|
| 北海道精神作興會   | 石川縣教化事業聯合會   |
| 東京府教化團體聯合會 | 富山縣佛教々化聯盟    |
| 京都府教化團體聯合會 | 廣島縣教化事業聯合會   |
| 大阪府教化團體聯合會 | 山口縣教化事業聯合會   |
| 教化團體兵庫縣聯合會 | 和歌山縣教化事業聯盟   |
| 埼玉縣教化團體聯合會 | 愛媛縣教化團體聯合會   |
| 群馬縣教化事業聯合會 | 高知縣社會事業協會教化部 |
| 栃木縣教化事業聯合會 | 福岡縣社會教育協會    |
| 三重縣斯民會     | 大分縣教化團體      |
| 愛知縣教化團體聯合會 | 宮崎縣教化事業協會    |
| 山梨縣教化事業協會  | 青森縣教化事業聯合會   |
| 岐阜縣教化團體聯合會 | 岡山縣教化團體聯合會   |
| 宮城縣教化事業聯合會 | 靜岡縣教化團體聯合會   |
| 福島縣教化團體聯合會 | 秋田縣教化事業聯合會   |

主ナル役職名並氏名

1、役員  
會長理事  
理事

- |          |        |         |         |      |       |     |       |      |       |       |      |      |       |      |       |     |      |
|----------|--------|---------|---------|------|-------|-----|-------|------|-------|-------|------|------|-------|------|-------|-----|------|
| 男爵 山川健次郎 | 男爵 齋藤實 | 男爵 平山成信 | 男爵 一戶兵衛 | 岡田良平 | 上田萬年  | 栗屋謙 | 長岡隆一郎 | 平塚廣義 | 大海原重義 | 力石雄一郎 | 池田宏  | 松井茂  | 荒井賢太郎 | 潮惠之輔 |       |     |      |
| 佐々井信太郎   | 大森善戒   | 金山房吉    | 金山活牛    | 太田貞喜 | 山鹿元次郎 | 缺   | 三輪谷現隨 | 中村寬澄 | 國富友次郎 | 正木義太  | 山田四郎 | 橘由太郎 | 龍田有量  | 關田焉平 | 野見山平吉 | 浦元羸 | 岩切覺治 |

監事  
(常務)  
法學博士

參與

- 今泉定介  
本多日生  
留岡幸助

- |        |       |
|--------|-------|
| 大野綠一郎  | 嘉納治五郎 |
| 加藤熊一郎  | 龜岡豊二  |
| 武部欽一   | 鞍智芳章  |
| 丸山鶴吉   | 松村介石  |
| 伯爵二荒芳徳 | 後藤武夫  |
| 佐々井信太郎 | 宮岡直記  |
| 守屋榮夫   |       |

評議員

- |           |       |
|-----------|-------|
| 北海道 稻垣潤太郎 | 松宮石丈  |
| 東京 田中藏六   | 加藤熊一郎 |
| 京都 田中英    | 花田仲之助 |
| 大阪 上田莊太郎  | 林龍太郎  |
| 兵庫 川崎末五郎  | 奥村拓治  |
| 埼玉 守屋喜元   | 田中四郎  |
| 群馬 岡本保三   | 加藤立成  |
| 栃木 中井久三   | 今井徳順  |
| 三重 尾池秀雄   | 小林喜平治 |
| 愛知 鍾江富次   | 安藤秋三郎 |

- |          |        |
|----------|--------|
| 靜岡 中村四郎  | 佐々井信太郎 |
| 山梨 蜂須賀善亮 | 大森善戒   |
| 岐阜 一戸二郎  | 金山房吉   |
| 宮城 池田忠作  | 金山活牛   |
| 福島 大久保佳吉 | 太田貞喜   |
| 青森 上田一郎  | 山鹿元次郎  |
| 秋田 崎山省吾  | 缺      |
| 石川 猪股喜藤  | 三輪谷現隨  |
| 富山 安藤專哲  | 中村寬澄   |
| 岡山 平敏孝   | 國富友次郎  |
| 廣島 御影池辰雄 | 正木義太   |
| 山口 土井章平  | 山田四郎   |
| 和歌山 福元岩吉 | 橘由太郎   |
| 愛媛 常賀松之助 | 龍田有量   |
| 高知 小山知一  | 關田焉平   |
| 福岡 古川靜夫  | 野見山平吉  |
| 大分 大野元   | 浦元羸    |
| 宮崎 松平外與麿 | 岩切覺治   |

口、職員

幹事 小尾範治 藤野 惠

(專任)古谷敬二

主事

野尻丈七 小林伊三郎

(專任)佐野高藏 同上 田野道隆

資産(種目別)

一、基本金 一萬二千六百七十一圓

二、建物(事務所使 用權利金) 四千二百圓

三、器具其他物品 三千九百三十四圓

四、印刷物 六千七百八圓

合計 二萬七千五百十三圓

維持方法 寄附金、補助金獎勵金及其他ノ收入ニヨル

昭和二年年度豫算額 歳入 五四、六一六、九二 歳出 五四、六一六、九二

昭和二年年度決算額 歳入 四〇、五一二、二四 歳出 三八、四一一、八五

昭和三年年度豫算額 歳入 六〇、五四九、〇〇 歳出 六〇、五四九、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

金一萬圓、御下賜金 大正十五年十一月九日

政府ヨリノ補助金、昭和二年 度 金二萬五千圓

同 昭和三年度 金三萬五千圓

備考

一、本調査ハ本年五月末日現在ヲ以テ收録セリ仍ツテ其後ニ於テ左記ノ通り異動アリタルモ、本文ニ於テ之レヲ訂正スルヲ得ザリキ。

役員ノ異動

理事、長岡隆一郎、平塚廣義、大海原重義、池田宏、ノ四氏ヨリ辭任届出アリ。又各府縣學務部長ノ更迭ニ伴ヒ、評議員田中藏六氏外十名異動アリ。主事、小林伊三郎辭任解囑。

加盟團體増加

熊本、長崎、佐賀各縣教化團體聯合會ノ組織成リ新ニ加盟ノ答。

北海道 (北海道精神作興會 所屬團體 一九支部 五七分會)

名稱 北海道精神作興會

事務所所在地 北海道廳社會課內

創設年月日 大正十三年三月三十日

經營全體又ハ代表者 會長 澤田牛麿

沿革概要

從來本道ニ純然タル教化團體ナカリシヲ以テ大正十三年二月二十二日ヨリ二日間札幌市ニ於テ國民精神作興指導者講習會開催ヲ機トシ本會設立ノ議起リ設立者ノ會同ヲ求メテ協議ヲ遂ケ會則ヲ制定シ、會長ニハ北海道廳長官ヲ推シ役職員ヲ囑託シ設立ヲ見タリ、爾來本道ノ代表的教化團體機關トシテ活動ヲ續ケ支、市廳ニ支部ヲ、町村ニ分會ヲ設ケ教化網ノ完成ニ努メツツアリ、又勤儉獎勵地方委員會ノ代用機關トシテ行政廳ト聯絡ヲ計リ時々活動ヲナス。

目的及事業種類

イ、目的 大正十二年換發セラレタル御詔書ノ趣旨ヲ奉

戴シテ國民精神ノ作興ヲ圖ルヲ以テ目的トス

口、一、調査研究並印刷物ヲ刊行頒布スルコト

二、講習會講演會ヲ開催スルコト

三、各種團體ノ講習會講演會ニ講師ヲ派遣スルコト

四、勤儉獎勵運動ノ計畫實施ヲナスコト

會員數及分布狀況 (十九支部百五十七分會)

支部名	分會數	支部名	分會數
石狩支部	十一	空知支部	十六
釧路支部	十二	宗谷支部	十二
河西支部	十八	浦河支部	三
釧路支部	十二	根室支部	三
釧路支部	九	札幌支部	三
網走支部	十四	函館支部	三
渡島支部	二	旭川支部	三
後志支部	十七	室蘭支部	三
上川支部	二〇	釧路支部	三
留萌支部	八		

主ナル役職名並其氏名

イ、役員  
 會長 北海道廳長官 澤田牛麿  
 副會長 學務部長 稻垣潤太郎  
 評議員 札幌市内各官公衛長、學校長、神官、  
 宗敎家等二十五名囑託  
 幹事 北海道廳社會課長 竹谷源太郎  
 同 視學官 加勢藏太郎  
 同 會計課長 遠藤喜四郎  
 札幌市主事 伊澤廣曹

資産(種目別)

本會ノ經費ハ其必要額ヲ財團法人北海道社會事業協會ヨリ補助  
 ヲ受クルカ故ニ資産ナシ

維持方法

補助金ヲ以テ之ニ充ツ

昭和二年度決算額 歳入 一、六〇〇、〇〇〇

昭和二年度決算額 歳出 一、六三〇、九四四

昭和三年度決算額 歳入 一、五〇〇、〇〇〇

支部名	設置年月日	支部長	評議員
琴似村分會	大正十四年八月十四日	村長	公職有志十八名
藻岩村分會	大正十五年二月十二日	同	同 二十五名
厚田村分會	同年二月十一日	同	同 三十名
濱益村分會	同年二月六日	同	同 四十五名
惠庭村分會	同年二月十日	同	同 十六名
手稻村分會	同年一月二十二日	同	同 二十六名
釧路國支部	大正十四年二月十九日	釧路國支廳長	町村長有志五十一名
濱中村分會	同年五月二十五日	村長	學校職員村會議員
釧路村分會	同年二月六日	同	學校職員、役場吏員村有志四十九名
昆布森村分會	同年二月十三日	同	學校職員、村有志三十一名
白糠村分會	同年四月十日	同	村有志二十四名
音村分會	同年四月二十五日	同	學校職員、村有志十二名
鳥取村分會	同年二月十一日	同	部長二十二名
舌辛村分會	同年二月二十四日	同	役場吏員、村有志八名

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

内務省ヨリ補助金 昭和二年度 二百圓  
 昭和三年度 二百圓  
 中央敎化團體聯合會ヨリ 同 五百圓

備考

イ、大正十四年十月全道敎化事業代表者大會ヲ札幌市ニ開催シ  
 敎化團體聯合會ヨリ會長ノ來道臨席ヲ得タリ  
 ロ、町村役場ヲ主體トスル町村分會ノ設立ニ努メ大イニ敎化網  
 ノ完全ニ努メツツアリ

ハ、本會支部並分會ヲ記セハ左ノ如シ

支部名	設置年月日	支部長	評議員
石狩支部	大正十四年二月二日	石狩支廳長	町村長、小學校長宮司僧侶有志二十六名
琴似村分會	同年八月十日	村長	同 十九名
廣島村分會	同年十一月十五日	同	村有志五十六名
廣島分會	同年十一月十日	同	公職有志五十六名
新篠津村分會	大正十五年一月二十七日	同	同 二十四名
江別町分會	同年二月八日	町長	同 九十名

支部名	設置年月日	支部長	評議員
足寄村分會	大正十四年二月四日	村長	學校職員村有志十五名
澄別村分會	同年二月九日	同	同 二十二名
弟子屈村分會	同年二月六日	同	學校職員七名
熊牛村分會	同年二月十二日	同	學校職員、村有志五十八名
太田村分會	同年二月十一日	同	村有志五名
河西支部	同年一月三十日	河西支廳長	學校職員、牧師僧侶有志十七名
帶廣町分會	同年九月一日	町長	同 十八名
大正村分會	同年七月二十八日	村長	同 二十名
人舞村分會	同年七月二十九日	同	同 十五名
鹿追村分會	同年八月三日	同	同 十二名
御影村分會	同年八月二十六日	同	同 十二名
幕別村分會	同年九月一日	同	同 十三名
大津村分會	同年八月二十八日	同	同 十二名
茂寄村分會	同年九月三日	同	同 二十三名



支會部名	設置年月日	支會部長	評議員
浦幌村分會	大正十四年九月十一日	村長	學校職員、牧師、僧侶有志二十五名
豐頃村分會	同	同	同二十名
本別村分會	同	同	未報告
川上村分會	同	同	囑託中
川西村分會	同	同	同
茅室村分會	同	同	同
新得村分會	同	同	同
音更村分會	同	同	同
川合村分會	同	同	同
膽振支部	同	膽振支應長	同
苦小牧町分會	同	同	同
辨邊村分會	同	同	同
似灣村分會	同	同	同
鷗川村分會	同	同	同
伊達村分會	同	同	同

支會部名	設置年月日	支會部長	評議員
安平村分會	大正十四年二月八日	村長	村會議員有志三十七名
厚真村分會	同	同	各小學校長八名
洞爺村分會	同	同	各部落部長、在鄉軍人分會長青年團長
白老村分會	同	同	小學校長有志二十八名
德舞村分會	同	同	有志十二名
虻田村分會	同	同	有志十一名
幌別村分會	同	同	小學校長、村會議員郵便局長其他有志三十四名
壯警村分會	同	同	有志二十七名
楡山支部	同	楡山支應長	町村長、官公衛長其他有志四十八名
上ノ國分會	同	同	有志六十五名
厚澤村分會	同	同	學校長六名
久遠村分會	同	同	有志五十名
貝取潤村分會	同	同	小學校長三名、村會議員五名
泊村分會	同	同	青年團長其他有志十一名

支會部名	設置年月日	支會部長	評議員
瀧瀬町分會	大正十四年二月九日	町長	聯合青年團、軍人分會員五十五名
奥尻村分會	同	同	有志二十一名
東瀨村分會	同	同	青年團、處女會長其他二十名
乙部村分會	同	同	有志五十名
網走支部	同	網走支應長	支應久課長、技師、中等學校長、道會議員有志二十一
女滿別村分會	同	同	村會議員有志五十六名
調子府村分會	同	同	村會議員有志二十名
上湧別村分會	同	同	村會議員有志二十八名
西興部村分會	同	同	主婦會青年會長十一名
瑞野村分會	同	同	村會議員有志十三名
置戸村分會	同	同	小學校長、青年團長、郵便局長、十七名
下湧別村分會	同	同	同十八名
相內村分會	同	同	村會議員有志二十四名
當呂村分會	同	同	村會議員、部落部長小學校長二十九名

支會部名	設置年月日	支會部長	評議員
美幌村分會	大正十四年六月二日	町長	町會議員有志二十四名
野付牛村分會	同	同	道會議員、中小學校長官衛長有志十八名
留邊蘆村分會	同	同	町會議員、小學校長郵便局長有志三十名
紋別村分會	同	同	道會議員、小學校長有志三十八名
網走村分會	同	同	同三十八名
渡島支部	同	渡島支應長	町村長其他二十五名
砂原村分會	同	同	村有志十五名
鹿部村分會	同	同	同十名
後志支部	同	後志支應長	町村長三十三名
發足分會	同	同	各小學校長、青年分團長五名
政治村分會	同	同	青年團、戶主會、軍人分會等四名
南尻別村分會	同	同	青年團、處女會長、其他八名
高島村分會	同	同	同三十名
狩太村分會	同	同	有志公職者等四十六名

支部名	設置年月日	支部長	評議員
東島牧村分會	大正十五年二月八日	村長	各小學校、各部落部長等、八名
黑松内村分會	同	町長	驛長、局長、村會議員、小學校長其他十九名
眞狩別村分會	同	村長	青年團、處女會長二十一名
岩内村分會	同	町長	町有志二十名
熱那村分會	同	村長	青年團、軍人分會、處女會長其他三十名
島野村分會	同	同	青年團、郵便局、軍人分會長七名
鹽谷村分會	同	同	村有志二十名
喜茂別村分會	同	同	同 八十八名
入新村分會	同	同	同 二十八名
前田村分會	同	同	村有志等二十八名
朝里村分會	同	同	同 二十五名
歌樂村分會	同	同	同 七名
上川支部	同	上川支廳長	町村長二十八名
和寒村分會	同	村長	青年團、處女會長其他十七名

支部名	設置年月日	支部長	評議員
東川村分會	大正十五年二月五日	村長	青年團、處女會長其他十八名
上川村分會	同	同	同 十八名
永山村分會	同	同	同 十九名
東旭川村分會	同	同	同 三名
南富良野占冠村分會	同	同	同 二十六名
愛別村分會	同	同	同 十五名
常麻村分會	同	同	同
土別町分會	同	同	同
名寄町分會	同	同	同
常盤村分會	同	同	同
中川村分會	同	同	同
鷹栖村分會	同	同	同
中富良野村分會	同	同	同
東鷹栖村分會	同	同	同

支部名	設置年月日	支部長	評議員
多寄村分會	大正十五年二月二十七日	村長	青年團、處女會長其他十九名
下川村分會	同	同	同 五十二名
比布村分會	同	同	同 三十一名
美瑛村分會	同	同	同 二十七名
上士別村分會	同	同	同 十五名
留萌支部	同	留萌支廳長	町村長有志四十八名
燒尻村分會	同	村長	村有志二十名
遠別村分會	同	同	同 七十六名
小平藥村分會	同	同	同 七名
初山別村分會	同	同	同 十八名
天鹽町分會	同	町長	同 二十三名
天賣村分會	同	村長	同 六名
幌延村分會	同	同	同 三十五名
留萌町分會	同	町長	同 九十五名

支部名	設置年月日	支部長	評議員
空知支部	大正十四年五月七日	空知支廳長	官公衙長、教職員其他十六名
三笠山村分會	同	村長	村有志四十三名
江部乙村分會	同	同	同 五名
歌志内村分會	同	同	同 十四名
由仁村分會	同	同	同 三十三名
夕張町分會	同	町長	同 九名
月形村分會	同	村長	同 十六名
新十津川村分會	同	同	同 二十名
深川町分會	同	町長	同 十六名
妹脊牛村分會	同	村長	同 二十二名
秩父別村分會	同	同	同 四十五名
一已村分會	同	同	同 三十四名
納内村分會	同	同	同 三十三名
多度津志村分會	同	同	同 二十七名

支部名	設置年月日	支部長	評議員
雨龍村分會	大正十五年五月二十八日	長村有志二十二名	
北麓村分會	同	同	十八名
幌加內村分會	同	同	三十名
宗谷支部	大正十四年六月十三日	宗谷支廳長	町村長十二名
杵形村分會	大正十五年五月十五日	長村長有志三十名	
稚内町分會	同	長	同二十八名
宗谷村分會	同	長	同五名
猿拂村分會	同	同	十九名
頓別村分會	同	同	四十名
枝幸村分會	同	同	十五名
香深村分會	同	同	九十名
船泊村分會	同	同	十六名
鶯泊村分會	同	同	十二名
仙法志村分會	同	同	三十二名

支部名	設置年月日	支部長	評議員
東陽村分會	大正十五年二月十二日	村長有志四十七名	
中頓別村分會	同	同	二十六名
浦河支部	大正十四年二月九日	浦河支廳長	町村長、官公署長、學校長、有志二十二名
浦河町分會	同	長	村長有志六十九名
幌泉村分會	同	長	同六名
三石村分會	同	同	十四名
根室支部	同	根室支廳長	町村長、教職員、神職、僧侶三十名
齒舞村分會	同	長	村長有志二十六名
植別村分會	同	同	二十名
和田村分會	同	同	三十七名

\*\*\*\*\*

### 東北

- 青森縣教化團體聯合會 (加盟團體 一二)
- 秋田縣教化事業聯合會 (加盟團體約 一三〇)
- 宮城縣教化事業聯合會 (加盟團體 三三)
- 福島縣教化團體聯合會 (加盟團體 三四一)

名稱 青森縣教化團體聯合會

事務所所在地 青森縣廳

創設年月日 昭和三年十月十二日

經營主體又ハ代表者 代表者青森縣知事新庄祐治郎

沿革概要

近時思想ノ傾向社會ノ推移ニ鑑ミ一層社會教化事業振興ノ必要ヲ痛感シ關係者之ガ實現ヲ企劃中ノトコロ會々昭和三年六月五日日本縣社會事業關係者大會ニ際シ各郡市代表者ヨリ縣下教化團體聯合會組織ノ提唱アリシヲ以テ愈々時機ノ熟セルヲ察シ同日ヨリ直チニ之ガ設立ヲ計劃シ別項加盟團體ノ賛成ヲ得テ昭和三年十月十二日組織ヲ了シ發會式ヲ舉グ

目的及事業種類

國民精神作興ニ關スル詔書ノ御趣旨ヲ奉體シ社會教化ノ普及徹底ヲ圖ルヲ以テ目的トス

事業

- 一、各教化團體ノ聯絡提携ヲ圖ルコト
- 二、社會教化關係者協議會ヲ開催スルコト
- 三、社會教化ニ關スル講演講習會ヲ開催スルコト
- 四、社會教化ニ關スル事項ノ研究調査ヲナスコト
- 五、教化事業ヲ獎勵助成スルコト
- 六、其他必要ナル事項

會員數及分布狀況

イ、會員數 六〇名	
ロ、加盟團體ノ主ナルモノ	
北津輕郡報德會	昭和謝恩會
東北四恩會	青森縣聯合禁酒會
青森縣神職會	修養團南津輕郡支部
希望社青森誌友會	婦人矯風會弘前支部
青森縣教育會	青森縣聯合青年團
青森縣進晁會	青森縣聯合處女會

主ナル役職名並其氏名

會長 青森縣知事	新庄祐治郎
副會長 青森縣學務部長	上田一郎

理事 青森縣社會課長 鈴樹忠直  
同(各都市代表)

千葉 平吉 菅井清風 山谷義雄  
工藤阿義良 川越茂則 飯坂圓收  
大西喜三郎 山本雄太郎 笹森永五郎  
山鹿元次郎  
幹事 高野思郎 今泉房吉

維持方法  
縣費補助金 加盟團體負擔金  
昭和三年度豫算額 一千圓

名稱 田子佛教會  
事務所所在地 三戸郡田子町牛尾山内耕田寺  
創設年月日 大正十年四月八日

\*\*\*\*\*

經營主體又ハ代表者 代表者 會長 村上嶺雲  
沿革概要

大正十年四月八日創立以來毎月八日ヲ以テ例會トシ春秋  
二回ノ總會ヲ開ク。更ニ臨時大會ヲ開催シテ本會創立ノ  
目的ヲ遂行スルニ勉メ爾來會長副會長ヲ始メ役員一統ノ  
努力ヲ以テ逐年隆盛ニ赴キ今日ニ至ル  
目的及事業種類

イ、目的 國家皇室ヲ中心トシテ敬神崇佛ヲ旨トシ思想  
善導社會教化ニ献身の奉仕ヲ致スヲ以テ目的  
トス  
ロ、事業 教化事業 精神修養  
會員及分布狀況

イ、八十五名(毎月集合スル會員)  
ロ、田子町及附近ノ村民モ加盟ス  
主ナル役職名並其氏名  
會長 村上嶺雲  
副會長 奥正四郎

備考

田子佛教會ハ本縣本郡本町ニ於ケル唯一ノ倫理運動結社ナリ

\*\*\*\*\*

名稱 秋田縣教化事業聯合會

事務所所在地 秋田縣廳内  
創設年月日 昭和四年三月八日  
經營主體又ハ代表者 代表者(秋田縣知事) 鯉沼巖  
沿革概要

社會事情ノ推移變遷ニ伴ヒ幾多社會問題ノ發生ハ都鄙ヲ  
通シ愈々頻出ノ秋ニ當リ之ニ對スル施設ヲ必要トシ昭和  
三年十月縣下各關係團體ニ之カ對策トシテ本聯合會組織  
ニ關スル意見ヲ徵シタルニ其ノ大多數ハ之ニ賛成ノ意ヲ  
表シタルヲ以テ縣社會課ニ於テ之カ準備ニ着手シ昭和四

會計 渡部庄五郎  
同 千葉徳三郎  
理事長 久慈房治

外  
理事 五名  
評議員 十二名  
顧問 五名

資産(種目別)  
修養書類 二百五十冊  
什器 四十五點  
右價格約 五百圓

維持方法  
普通會員ノ會費  
特別會員ノ寄附金  
昭和二年豫算額 百五十圓  
昭和二年決算額 百五十圓  
昭和三年豫算額 百五十圓  
臨時大會ノ費用ハ特志家ノ寄附ヲ仰グ

年二月十三日各團體代表者二十餘名ヲ縣廳ニ招集シ創立ノ打合セヲ爲シ同年三月八日創立總會ヲ開催シ之ヲ組織シタリ

目的及事業種類

- イ、目的 教化事業團體、教化事業従事者相互ノ聯絡ヲ密ニシ國民道德ノ向上ヲ圖リ善美ナル社會ノ實現ヲ期ス
- ロ、事業
  - 一、教化事業振興ニ關スル施設ヲ講スルコト
  - 二、教化事業ノ獎勵助成ヲナスコト
  - 三、教化事業ニ關スル調査研究
  - 四、教化ニ關スル印刷物ヲ發行スルコト
  - 五、其他必要ト認ムル事業

會員數及分布狀況

昭和四年三月ノ創立ニシテ目下縣内教化團體及教化事業關係者ノ加盟勸誘中ナルヲ以テ具體的明示ヲ省略スルモ縣下ニ於ケル教化事業團體約三十及教化事業關係ノ個人加盟者ヲ本年度ニ約五十名會員トナス見込

主ナル役員名並其氏名

- 會長 (知事) 鯉沼 巖
- 副會長 (學務部長) 崎山 省吾
- 幹事 (社會課長) 高山 直通

維持方法

- 會員負擔金、補助金、獎勵金及寄附金
- 昭和三年度豫算額 三百五十圓
- 獎勵金並補助金下附ノ有無 (昭和三年度)
  - 金百四十圓 縣獎勵金
  - 金二百圓 中央教化團體聯合會補助金

\*\*\*\*\*

名稱 山本佛教會

事務所々在 地 山本郡能代港町  
創設年月日 明治三十一年八月

經營主體又ハ代表者 代表者 和田 龍造

沿革概要

山本佛教會ハ明治三十一年八月設立シ佛教各宗合同教化事業ノ機關トシテ連續今日ニ至リシモノナリ

目的及事業種類

- 一、佛敎道德ヲ發揚シ尊皇奉佛ノ實ヲ學クルコト
- 一、時々講話會ヲ開キ、其他教化ニ必要ナル會合ヲナスコト

一、社會事業ノ施設ヲナスコト

會員數及分布狀況

能代港町ヲ中心トシテ兼テハ山本郡全般ニ及ビ會員約四百名

主ナル役員名並其氏名

- 會長 和田 龍造
- 副會長 藤 澤 識
- 會計 平山 清三郎
- 評議員 各宗寺院住職

資産 (種目別)

- 一、基本金 一千二百五十圓

維持方法

- 寄附金及利子
- 昭和二年 度豫算額 二百圓
- 昭和二年 度決算額 二百圓
- 昭和三年 度豫算額 三百圓

\*\*\*\*\*

名稱 財團法人秋田至仁會

事務所々在 地 秋田市橋山下濱町五十四番地  
創設年月日 明治三十三年九月

經營主體又ハ代表者

- イ、經營主體 財團法人
- ロ、代表者 會長秋田縣知事 鯉沼 巖

沿革概要

本縣山本郡ノ出身ニシテ當時ノ縣會議員故川村養助氏ハ  
 釋放者ニシテ他ニ頼ル所ナキ者又世人ノ排斥ニ依リ正業  
 ニ就クコト能ハサル者ニ同情シ有志ニ諮リ秋田出獄人保  
 護所ヲ開キタルニ起因セリ明治三十六年慈善演藝會ヲ開  
 催シ其收益金等ヲ合セ金七百圓ヲ以テ基本金トシ財團法  
 人ノ認可ヲ得タリ、大正八年秋田至仁會ト改稱シ同十二  
 年宮内省ヨリ斯業優良團體トシテ御下賜金アリ爾來年々  
 紀元節ニ於テ御下賜金ヲ拜受シ來レリ  
 昭和二年五月寄附行爲ヲ改正シ縣下二十六ヶ所ニ支部設  
 置ヲ計畫ヲナシ同年七月之レカ發會式ヲナス以テ事業ノ  
 徹底ヲ期シ今日ニ至レリ

目的及事業種類

イ、目的

刑餘者、刑ノ執行猶豫者、起訴猶豫者、微罪釋放者、  
 其他少年法ニ依ル少年ヲ保護スルヲ以テ目的トス

ロ、事業

直接保護、間接保護、一時的保護ヲ加フル事

會員數及分布狀況

縣下一市九郡ニ渉ル警察署二十六ヶ所ニ支部ヲ置キ各署長ヲ以  
 テ支部長トナシ各支部ニ保護委員ヲ置ク

主ナル役職名並其氏名

役員	
會長	鯉沼 巖
理事	里見 虎藏
同	白井 茂
同	天谷 虎之助
同	佐藤 正俊
同	崎山 省吾
同	榊田 清兵衛
同	畠山 雄三
同	稻見 春之助
同	岡部 安憲
常務理事	藤居 虛
顧問	井上 廣居
同	池田 文一郎
同	古澤 五郎
同	藤井 智鑑
同	伊藤 謹二
同	高山 直通
同	宮脇 參三
同	三川 銀治
同	和田 傳吉
書記	鈴木 環
囑託	明石 芳掄
主事	

資産(種目別)

一、資本金	九千二百圓
二、建物	二千四百五十二圓
三、器具其 他ノ物品	三百五十七圓
合計	一萬二千九圓

維持方法

寄附金、補助金、獎勵金及其他ノ收入ニ依ル

年度	歳入	歳出	歳入	歳出
昭和二年年度豫算額	四、二三六、八八二	三、九八一、一四二	三、三三三、五〇〇	三、七六二、〇四二
昭和二年年度決算額				
昭和三年年度豫算額				
獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)				
昭和二年度			昭和三年度	
御下賜金	三百圓	御下賜金	三百圓	
司法省獎勵金	四百圓	司法省獎勵金	四百圓	
秋田縣補助金	一千圓	秋田縣補助金	壹千圓	
		秋田縣補助金	壹千圓	

名稱 宣正期成會

事務所々在地 本莊町天然寺内

創設年月日 明治三十七年二月十一日

經營主體又ハ代表者 白幡 靜美

沿革概要

日露大詔喚發ト同時創立シ征露戰勝期成會ト稱シ時局  
 ニ對シ國民ノ覺悟ト行動ニ關シ數十回公開講演ト共ニ托  
 鉢修行シ出征遺族者ノ救護慰問軍資獻金戰病死者追弔諸  
 般ニ活躍セルコト二十一月講和成立ト共ニ宣正期成會  
 ト改稱シ物質ト精神兩面ニ盡力シ本町男女兩校ノ窮困兒  
 童ノ救助ヲナシ次テ學童保護會ヲ設立シ爾來滿十五年ニ  
 渉ル本町幸ニ町會協賛ノ結果學童保護ノ任ニ當ル茲ニ於  
 テ本會ハ一切ヲ本町ニ移ス金品ノ救與額ハ多シ且ツ本會  
 創立以來各縣天災地變毎ニ慰問金品ノ送與爲ニ賞狀賞呈  
 ノ下附セララルモノ甚タ多ク殊ニ本町設火葬場附屬會葬  
 者休憩處一棟建設寄附ニ對シ賞勳局ヨリ銀盃下附セラレ

本町ハ多年ノ功積ヲ賞シ所定ノ町旗一流ヲ交附シテ表彰ス

目的及事業種類

イ、目的 正法宣揚ヲ期シ健全ナル信仰ノ振張ト國民精神ノ作興ヲ目的トシ例月ノ公開講演ト慈善事業ヲ以テ生命トス  
 口、事業 窮困小學兒童救濟保護、一般救護ニ從事(託兒場、幼稚園創設立案中)

主ナル役職名並其氏名

幹事五名  
 白幡 靜美 武藤 儀道 田中日壽  
 小關 公悠 松山 祖庭  
 會計  
 白幡 靜美(正) 光山 智海(副)  
 補助員  
 佐藤 道觀 光山 智海

維持方法

本會々員ノ會費及ヒ臨時收入ヲ以テス  
 慈善部ハ一般會員ヨリ支辨  
 昭和二年度豫算額 金一百六十圓  
 昭和二年度決算額 金一百五十八圓  
 昭和三年度豫算額 金一百七十圓  
 獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)  
 創立當時交附アルモ今ハナシ  
 備考 秋田縣教化事業聯合會へ加入

\*\*\*\*\*

名稱 財團法人宮林矯風自彊會

事務所々在 地 仙北郡内小友村宮林新田二十六番地  
 創設年月日 明治四十三年九月九日  
 經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 財團法人  
 口、代表者 能味孫六

沿革概要

宮林新田ノ地タル三面雄物川ニ圍繞セラレ二千餘間ノ堤防之カ防備ヲ爲シ僅カニ百餘町ノ耕地ヲ保護シ以テ其塔ニ安シ來リシモ一朝風雨ヲ蒙ムルヤ堤防以テ其猛威ヲ禦クニ由ナク決潰數次其都度作物ノ流失ヲ來シ住民ノ困憊名狀スヘカラサルニ至リタルヲ以テ有志相謀リ明治四十三年九月本會ヲ設立シ其許可申請ヲ爲シ大正元年十一月六日認可ヲ得大正元年十二月七日設立登記ヲ了シ以テ今日ニ及ヘリ

目的及事業種類

宮林新田部落住民ノ風紀衛生ノ改善教育ノ發展慈善救濟ノ途ヲ講シ部落公共ノ利益ヲ圖ルヲ目的トス

事業

- 一、青年會ノ發展助長
- 二、農事改良獎勵
- 三、衛生ノ改善
- 四、副業ノ獎勵
- 五、貧民救助
- 六、警備

主ナル役職名並其氏名

理事長	能 味 孫 六
理事	小 松 久 一 郎
同	小 松 久 四 郎
同	大 友 春 治
同	小 松 喜 藏
同	小 松 租 太 郎
同	池 田 孫 四 郎
同	小 松 忠 藏
同	高 島 良 吉

資産(種目別)

- 一、基本金 四千八百圓
- 二、積立金 貳千百六十四圓五十四錢
- 三、土地 一萬三百三十六圓七十七錢
- 四、現金 六百三十七圓五厘
- 計 金 一萬七千九百三十八圓二十四錢五厘



維持方法

財産ヨリ生スル收入及寄附金雜入等ニ依ル

昭和二年年度決算額	歳入	一六二〇、〇〇〇
	歳出	一六二三、一八五
昭和二年年度決算額	歳入	九八六、一八〇
	歳出	一八四八、〇〇〇

\*\*\*\*\*

名稱 神宮寺顯彰婦人會

事務所々在地 仙北郡神宮寺町寶藏寺内

創設年月日 明治四十四年二月十六日

經營主體又ハ代表者 代表者 嵩 慈 春

沿革概要

本會ハ明治四十四年一月故富樫田鶴子ノ主唱ニ成リ同月

會員數及分布狀況

目的及事業種類

イ、目的 教育勸語戊申詔書ヲ奉戴シ佛教ノ教旨ヲ遵

守シテ要ハ國利民福ヲ圖ルニ在リ

ロ、事業 一、救済 一、講習會 一、思想善導講演

會、基本金不十分ニ付キ經績事業ナシ

會員數 百十五名

主ナル役職名並其氏名

役員

會長 嵩 慈 春

副會長 細 谷 キ ヨ

幹事 小 西 ヒ デ ノ

富 樫 ツ ル

谷 口 矩 子

齋 藤 キ ヨ

齋 藤 シ ゲ

舟 木 ソ エ

富 樫 ミ ヤ

兼會計

維持方法

一、基本金 金七百十五圓五十錢

會員會費、特志寄附金

昭和二年年度決算額 事業部及各部 金一百圓

昭和二年年度決算額 歳入 金一百五十三圓五十錢

歳出 金一百三十二圓五十錢

昭和三年年度決算額 各部大節約 金七十圓

\*\*\*\*\*

名稱 秋田縣光北佛教會

事務所々在地 仙北郡大曲町

創設年月日 大正八年七月二十九日

經營主體又ハ代表者 棟 方 唯 一

沿革概要

世界大戰以降物質文明異常ノ進展ニ反シ漸次思想惡化國

家安寧上寒心ニ堪ヘストシ佛教各宗叫合是カ革正ト善導

ニ資センカ爲本會ヲ創設セリ

目的及事業種類

イ、目的 各宗派協同融和ヲ旨トシ布教佛道感化救済ノ

二大要目ヲ標榜シ社會ヲ善導ス

口、事業 國民思想統一ニ關スル指導講演其他公私團體  
各種ノ布教傳道、免囚保護、不良成少年感化  
救濟事業其他各種慈善事業

會員數及分布狀況

會員數約百五十名

主ナル役職名並其氏名

代表者 棟方 唯一  
理事 嵩 慈 春  
同 照 井 大 善  
同 金 森 察 祥  
同 吉 水 是 正  
主計 東 山 大 雲  
其他 傳道師十二名アリ

維持方法

寄附金及會員會費ニ依ル

昭和二年度決算額 金百五十圓

昭和二年度決算額 歳入 金百四十五圓五十錢  
歳出 金百四十五圓五十錢  
昭和三年度決算額 金百五十圓

\*\*\*\*\*

名稱 秋田縣南秋田郡佛教會

事務所所在地 南秋田郡土崎港町本山町元南秋田郡役所内  
創設年月日 大正九年八月十九日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 南秋田郡佛教會

代表者 清澤 龍 哲

沿革概要

社會ノ進歩發達ニ伴ヒ一般民心弛廢シテ動モスレハ詭譎  
ニ涉リ其ノ惡思想ノ傳播波及スルコト頗ル急ニシテ殆ン  
ト其ノ歸嚮スル所ヲ知ラサル傾向ナリシモ之カ指導ノ任  
ニ當ルヘキ統一セル機關ヲ缺クノ實情アルヲ慨シ大正九  
年八月十九日郡内各宗寺院百有餘名南秋田郡役所員秋田

刑務所長並ニ郡内有力者相謀リ郡單位トシテノ本會ヲ創

立シ思想善導ノ目的ヲ以テ社會教化並ニ釋放人保護事業  
及佛教宣傳等ヲ遂行シ來ルニ大正十三年十一月十三日當  
時司法大臣補成會長鈴木喜三郎閣下親シク本會ヲ視察セ  
ラレ獎勵金ヲ交付セラレタル以來大正十四、十五年兩度  
ニ涉リ二月十一日ノ紀元ノ佳節ヲトシ畏レ多クモ皇室ヨ  
リ御内幣金御下賜ノ恩命ニ浴シ又補成會ヨリ昭和二年二  
月御大喪並ニ昭和三年十一月御即位ニ際シ大赦減刑復權  
ノ恩命ニ浴シタル御沙汰ニ對シ其餘慶ヲ頒ツベク釋放人  
保護等助成金ヲ交付セラレ司法省ヨリハ大正十三年以來  
秋田縣知事ヨリ昭和二年度以來八年々補助金ヲ交付セラ  
ル、ニ至リ會員又一同感激益々本會事業ノ遂行上協力一  
致奮勵努力徹底的活動奏効シ其成績見ルヘキモノアルニ  
至レリ

目的及事業種類

イ、目的 本會ハ佛教宣傳精神修養、釋放者保護其他社

會教化事業ヲ行フヲ以テ目的トス

- 口、事業 一、社會教化ニ關スル施設ヲ行フコト
- 二、釋放人保護宣傳ニ關スルコト
- 三、釋放人保護ニ關スル諸施設ヲナスコト
- 四、少年法ニ依ル委託保護ニ關スル施設ヲナ  
スコト
- 五、社會事業講演會出席獎勵
- 六、社會事業視察員派遣
- 七、社會事業並ニ本會功勞者表彰
- 八、農業託兒所ノ設置
- 九、其他社會教化並司法保護速成上必要ト認  
メラル事項

會員數及分布狀況

本會ハ南秋田郡内居住ノ佛教徒ヲ以テ之ヲ組織ス而シテ本會員  
數ハ二百五十一名

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

名譽會長	伊藤 素明	
會長	清澤 龍哲	
副會長	志田 義夫	同 細谷 祐賢
理事	明芳 倫石	理事 花岡 雲長
同	菅野 徹雄	同 早坂 禪海
同	藤本 祐馨	同 住田 智詰
同	村上 大榮	同 粟津 祐智
同	嵯峨 義貫	

ロ、職員

常務理事 佐藤 實英 館野 行三

資産(種目別)

一、基本金 二千六百五十八圓三十八錢

維持方法

一定ノ完資ニ充ツルマテ寄附金及一般會計受入金及其他ノ收入ニヨル

昭昭二年度豫算額 歳入 一、〇〇六、五〇〇

昭昭二年度決算額 歳入 六六八、三四五

昭昭三年度豫算額 歳入 一、三四五、〇〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

一、金百圓 御下賜金 大正十五年二月十一日

一、司法省ヨリノ補助金 昭和二年度金八十圓

一、同 昭和三年度金七十圓

一、財團法人ヨリノ補助金 昭和二年度金百圓

一、縣ヨリノ補助金 昭和二年度金百七十圓

一、同 昭和三年度金二百圓

\*\*\*\*\*

名稱 蓮松社

事務所所在地 雄勝郡西馬音内町寶泉寺内蓮松舎

創設年月日 大正十年四月八日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 蓮松社 同人

ロ、代表者 別ニ之ヲ定メス

沿革概要

大正三年十月國民精神ノ振作ト箇々ノ禪的修養ヲ目的シテ同志十五名ヲ以テ青年佛教會ヲ組織シ會場ヲ佐藤信淵翁五代ノ菩提寺タル寶泉寺ニ設ケ毎月一回參集シ研鑽辨道ニ努ムルコト、ス

大正十三年四月八日會員ノ據金並ニ有志ノ寄附ニヨリ

寶泉寺ニ隣接シテ金貳千貳百八拾圓ヲ投シ道場ヲ建テタ

リ

同年七月會名ヲ蓮松社、道場ヲ蓮松舎ト改メ會員相互ノ

修養ノ外、一般社會教化事業モ行ヒ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 古今聖哲ノ學ヲ修メ特ニ我國民精神ヲ基調トセル徳性ノ涵養ヲ圖ルヲ以テ目的トス

ロ、事業種類

一、名僧、智識ヲ聘シテ古道ヲ究メ時務ヲ明カニス

キ講習講演會ノ開催

二、會員相互ノ禪的修行、並ヒニ東洋思想、日本精神

ノ究明宣揚

三、青年、學童ノ教養並ヒニ奉仕事業

會員數及分布狀況

主トシテ町内有志若干名 他町村ノ者三名

主ナル役職名並其氏名

別ニ之ヲ定メス會員輪番ヲ以テ一切ノ事務ヲ處理ス

資産(種目別)

資産ト目スヘキ會館ハ寶泉寺ニ建立後直チニ寄附ス

維持方法

主トシテ會員ノ豫出ニ依ル

昭和二年度豫算額

定メス

昭和二年度決算額

定メス

昭和三年度豫算額

定メス

備考

會員ハ特別ニ勸誘セス求道ノ心篤ク志操堅固ナル者ノ集團ナリ

\*\*\*\*\*

名稱 雄勝佛教會

事務所々在地 湯澤町清涼寺

創設年月日 大正十年九月二十六日

經營主體又ハ代表者 代表者 島 佛 惠

沿革概要

大正十年九月六日雄勝郡長田中得太郎氏ト郡内有志寺院ト感化事業、教化事業ニ就テ協議ノ結果郡役所ニ事務所ヲ置キ郡内各宗寺院住職ヲ以テ會員トス郡内有力者ヲ名譽會員トス、主ニ教化事業ヲ主トス郡制廢止ト共ニ郡内各宗寺院ノ三區ニ分ツテ活動ヲ始メ雄勝佛教會ヲ教化團體トシテ現在ニ至ル

目的及事業種類

- 一、民力涵養並ニ社會思潮ノ善導ニ關スルコト
- 二、免囚保護、感化、育英並ニ救済ニ關スルコト
- 三、普通教育、並ニ社會教育ノ幫助ニ關スルコト
- 四、講演會並ニ講習會開催ニ關スルコト
- 五、不慮ノ災禍救済ニ關スルコト

會員數及分布狀況

郡内各宗寺院住職

主ナル役職名並其氏名

會長	一名	副會長	一名
幹事	二名	評議員	五名

維持方法

維持方法ハ會員總會ノ決議ニ依ル會費又ハ一般寄附金ヲ以テ充當ス

昭和二年度豫算額 歲入 六四、〇〇

昭和二年度決算額 歲入 五七、〇〇

昭和三年度豫算額 歲入 一〇〇、〇〇

\*\*\*\*\*

名稱 基督教婦人矯風會秋田支部

事務所々在地 秋田市中龜ノ町西大手町 早川かい方

創設年月日 大正十一年一月二十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 早川 かい

沿革概要 大正十一年一月二十五日創立

關東大震災ノ時藁蒲團千枚送ル攝政宮御慶事ノ際マークヲ賣リ又御大典マークヲモ賣リテ其純益ニテ縣下公娼廢止運動費トス

目的及事業種類

社會淨化慈善事業ヲ目的トス

一、宗教部

一、社會部

一、禁酒部

會員數及分布狀況

會員ハ五十名

主ナル役職名並其氏名

會長	早川 かい
副會長	星野 かま
會計	佐藤 てる
書記	荒井 とき

維持方法

會費及寄附其他事業利益

\*\*\*\*\*

名稱 鹿角郡佛教會

事務所々在地 鹿角郡花輪町

創設年月日 大正十四年五月

經營主體又ハ代表者 會長 花輪町長年寺住職 川村 眞明

沿革概要

大正十四年二月國民精神作興ノ詔書御趣旨徹底ニ努ムル  
ト共ニ諸種社會教化ヲ圖ル可キ目的ヲ以テ鹿角郡長小西  
爲助氏郡内ノ各寺院ニ圖リ創立スル所ニシテ郡内一般ニ  
亙リテ會員ヲ募集シ大正十五年七月花輪町公會堂ニ於テ  
發會式ヲ舉ク同時ニ花祭ヲ催シ名士ノ講演會ヲ開催シテ  
盛況ヲ呈シタリ郡廢後ハ副會長川村眞明氏會長トシテ經  
營ノ任ニ當リ社會教化事業ノ外ニ防貧施設ニ力ヲ注キ今  
日ニ及ヘリ

目的及事業種類

目的、國民精神ノ作興、社會教化  
種類、講演、講話、修養會ノ開催、極貧者ノ救助、出獄  
人ノ保護等

會員數及分布狀況

三百五十名 鹿角郡全部ニ亙ル

主ナル役職名並其氏名

會長	川村 眞明
副會長	澤口 大巖
同	井上 弘彰
理事	吉田 織道
同	齋藤 一道
同	關 白峰
同	藤井 雪童

資産(種目別)

基金 九百圓

維持方法

會費、寄附金、補助金ニヨル

昭和二年度豫算額 五百七十六圓

昭和二年度決算額 三百四十四圓

昭和三年度豫算額 五百七十圓

獎勵金補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

昭和二年度及三年度秋田縣社會事業費ヨリ補助金ク下附ヲ受ノ

\*\*\*\*\*

名稱 明珠會

事務所々在 雄勝郡馬音内町寶泉寺内

創設年月日 大正十五年九月四日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 明珠會

口、代表者 小山田トヨ

沿革概要

大正十五年九月四日當寶泉寺ニ於テ雄勝郡寺除主催講習  
會講師トシテ岸澤惟安老師ノ來西セルヲ機トシ住職島佛  
惠師主唱ノ下ニカネテ企圖セル佛教婦人修養會ノ發會式  
舉行、同師ヨリ明珠會ト命名セラレ當寺ヲ始メ近郷ノ僧  
侶連松社有志及會員七十餘名參集島佛惠老師及岸澤老師  
ノ婦人修養ニ關スル講演アリテ閉會カクテ爾來毎年福井  
天章、原田視岳、飯田禮隱老師等ヲ招請シテ參禪或ハ講

演ヲ聴取スル等本會ノ行事ヲナシ今日ニ至ル

目的及事業種類

佛教ニ依リテ智德ノ向上ヲ圖リ精神修養ニ資スルヲ以テ  
目的トス

事業トシテ八年三回乃至五回高德ノ老師或ハ知名ノ講師  
ヲ招請シ講演ヲナス、其他涅槃會成道會花祭等ノ年中行  
事ニハ率先シテ參加ス

會員數及分布狀況

會員數ハ百名ニシテ本町馬音内町ヲ主トシ近郷新成村明治村三  
輪村在住ノ婦人ニ依リテ組織セラル

主ナル役職名並其氏名

會長	小山田 ミヨ	副會長	平田 ミツ
顧問	柴田 トミ	顧問	柴田 リサ
同	飯塚 トヨ		
幹事	矢野 ミツ	同	佐藤 トヨ
同	阿部 ミツ	同	菅本 シン

評議員	大野	フク	同	船山	チン
同	利	マサ	同	阿部	タミ
同	柴田	フク	同	飯塚	マサエ
同	柴田	サト			

資産(種目別)  
基本金百圓

維持方法  
凡テ會員ノ負擔及有志ノ寄附ヲ以テ之ニ充ツ  
昭和二年度豫算額 三百圓  
昭和二年度決算額 三百圓  
昭和三年度豫算額 三百圓

\*\*\*\*\*

名稱 西瀧澤村生活改善實行會  
事務所所在地 由利郡西瀧澤村役場内

創設年月日 昭和二年二月十九日  
經營主體又ハ代表者 會長 佐々木留吉  
沿革概要

昭和二年二月十九日本會ヲ設立シ昭和二年ヨリ左記事項  
ヲ決議シ會員全部實行シツツアリ  
(一)時間ヲ勵行スルコト (二)冠婚葬祭ヲ簡略ニスル事  
(三)年賀出産祝ヲ廢止スルコト(還曆以後ノ年賀ハ此限  
ニ非ス  
(四)家計ノ收支ヲ記帳シテ家計ヲ明カニスルコト  
昭和三年ヨリ更ニ追加決議セル事項

目的及事業種類  
(一)年賀舊盆ノ禮ハ本家禮及親子禮文ニ止メルコト

(一)目的 個人生活ノ充實改善ヲ期シ併テ社會公共ノ醜  
風ヲ改メ良風ヲ助長シ福祉増進ノ實行運動ヲ  
ナスヲ目的トス

(二)綱領

- 一、家庭ノ改善 1.家憲樹立ノ研究、2.經濟ノ研究、3.交際其他ノ研究
- 一、徳性ノ涵養 1.皇室ヲ中心トシ神佛尊崇ノ精神ノ涵養  
2.社會家庭ニ於ケル徳操獎勵ノ研究
- 3.家庭教育及徳性教養ノ研究
- 一、風紀ノ改善 1.時間ノ利用、2.節酒、3.衣食住ノ研究  
4.娛樂其他ノ研究
- 一、勤儉ノ獎勵 1.經費節約ノ研究、2.廢物利用、3.貯金  
方法ノ研究、4.副業研究、5.勞力ノ尊重  
利用其他ノ研究

會員數及分布狀況

村内各部落ニ涉リ目的ヲ同クスルモノヲ會員トス  
第一部會 三十四名 第二部會 四十四名  
第三部會 二十三名 第四部會 十五名  
合計 百十六名

主ナル役職名並其氏名  
會長 佐々木留吉

- 副會長 佐々木豊八  
幹事 齋藤久治  
同 佐藤由造
- 第一部會長 佐藤市太郎  
第二部會長 佐藤市郎  
第三部會長 板垣豊治  
第四部會長 熊谷勝次郎
- 維持方法  
必要ヲ生シタル場合ハ會員ノ寄附又ハ離出金並ニ村補助金ニ依  
リテ維持ス

\*\*\*\*\*

名稱 秋田縣修養園支部聯合會

事務所所在地 秋田市東根小屋町縣立秋田圖書館内  
創設年月日 昭和二年六月二日

經營主體又ハ代表者 **イ、經營主體** 支部聯合會自體

**ロ、代表者** 池田文一郎

沿革概要

大正十五年頃ヨリ縣内ニ涉リ修養團支部各町村ニ起リタルモ之カ支部ノ聯絡提携ヲ圖ル機關ナク修養團精神ノ普及徹底ヲ期スル爲メ當時平鹿郡角間川町小學校奉職佐々木金一郎、佐々木敬治郎(平鹿郡淺舞町)平鹿郡田根森村長佐藤良太ノ諸氏聯合會組織ニ關シ平鹿郡角間川町豪農最上直吉氏、仙北郡高梨村豪農池田文一郎氏、南秋田郡五城目町酒造家渡邊彦兵衛氏等ニ賛成ヲ求メ昭和二年六月一日聯合會成リ、會長最上直吉氏、副會長池田文一郎氏、渡邊彦兵衛氏ナリシモ昭和二年七月會長死亡缺員中ノ處昭和四年四月池田文一郎氏會長ニ最上義廣副會長ニ就任今日ニ至ル

目的及事業種類

**イ、目的** 秋田縣ニ於ケル修養團支部ノ聯絡提携ニ依リ

修養團精神ヲ普及徹底セシムルモノトス

**ロ、事業** 講演 講習會

其ノ他本會ノ目的ヲ達スル必要ナル事業及施設

會員數及分布狀況

本會加盟團體ハ目下九團體ニシテ其ノ名稱ヲ舉クレハ左ノ如シ  
南秋田郡五城目町支部 南秋田郡 一日市町支部  
同 富津内村支部 同 大川村支部  
山本郡 八森村支部 山本郡 響村支部  
北秋田郡大館町支部 雄勝郡 岩崎町支部  
仙北郡 高梨村支部

主ナル役職名並其氏名

顧問 高山直通(秋田縣社會課長)  
會長 池田文一郎(仙北郡高梨村豪農)  
副會長 渡邊彦兵衛(南秋田郡五城目酒造家)  
同 最上義廣(平鹿郡角間川町豪農)  
常任理事 吉村定吉(秋田縣立圖書館長)  
理事 鯨岡逸朗(同 司書)

山田喜治郎(秋田縣社會教育主事補)

小松周藏(秋田市保戸野小學校長)

宮田耕之助(南秋田郡五城目町)

佐々木金一郎(雄勝郡幡野小學校長)

佐々木敬治郎(平鹿郡淺舞町青年團幹部)

維持方法

團員負擔金、獎勵金、寄附金及其ノ他ノ收入ニヨル

昭和二年年度決算額 歳入 五六六、四五〇

昭和三年年度決算額 歳入 五六九、四五〇

昭和四年年度決算額 歳入 二八〇、〇〇〇

\*\*\*\*\*

名稱 明治會秋田支部

事務所所在地 秋田市上鍛冶町三八森岡宅

創設年月日 昭和三年七月二十一日

經營主體又ハ代表者 支部委員長 戶崎順治

沿革概要

昭和二年六月五日東京上野鷺谷明治會本部ヨリ「目的及事業欄」記入ノ「精神ニ運動セヨ」ノ達シヲ受ケ最初森岡音松一名ニテ市内ニ同主義ニ賛成セラルル者ヨリ加盟ヲ受ケ續イテ石川金治、高島長治郎ノ兩名モコノ運動ニ參加シ同年十月ニハ一百名ノ會員ヲ勸誘シ翌年(二年)七月二十一日本部ヨリ志村智鑑講師ヲ聘シ支部發會式及大講演會ヲ縣記念會館ニ開催セリ同時ニ委員長其ノ他ノ委員ヲ定メタリ本會ニ於テハ毎年二回位ハ本部講師ノ出講ヲ乞ヒ講演會ヲ開催セリ又毎月明治神宮遙拜式ヲ第一日曜日午前九時ニ市内手形谷地町神宮奉齋會本部ニ於テ行ヒタリ

目的及事業種類

一、尊信祈年 明治大帝神德ニ歸向シ神恩報謝ノ爲ニ本

部ニ於テハ毎月第一日曜午前九時代々木

明治神宮ニ參拜、遠隔ノ秋田支部會員ハ同日同刻ニ遙拜ヲナシ神詠ヲ念誦シ誠祈ヲ同歸ス

- 一、聖訓鑽仰 明治大帝ノ御聖訓ヲ翫味鑽仰シ各自ノ分ニ隨ヒテ聖旨ヲ會得スルコト、研究拜讀用トシ本部ヨリ機關誌ノ配布ヲ受ク
- 三、聖旨普及 明治大帝ノ御聖訓ヲ普及スル爲講演又ハ映畫ノ會ヲ開催シ時々必要ニ應ジ教書ノ頒布ヲナシ目的ノ貫徹ヲ期ス

主ナル役職名並其氏名

- 委員長 戸崎 順治
- 副委員長 吉村 定吉
- 同 上村 石松
- 委員 淡竹 治
- 同 花岡 吉五郎
- 其他

維持方法

寄附金ニヨル  
昭和三年年度豫算額  
收入 一七五、四〇〇  
支出 一五五、二〇〇

名稱 廓清會秋田支部

事務所々在 秋田市龜ノ丁本新町日本メソヂスト秋田教會内

創設年月日 昭和三年九月二日

經營主體又ハ代表者 代表者 岡村 丙子郎  
沿革概要

昭和三年八月十八日秋田市内遊廓ヨリ出火二百八十餘戶燒失シ十一戸ノ貸座敷中燒失セルモノ九戸ニ及ヘリ此ノ時ニ當リ秋田基督教會、秋田日本基督教會、日本メソヂスト秋田教會ノ有志ハ八月二十五日メソヂスト教會ニ集

リ遊廓ノ再興ヲ阻止スヘク協議ヲ凝ラシ本部ノ應援ヲ得テ運動ヲ開始スヘク當支部ヲ組織シ九月二日發會式ヲ舉ケタリ

目的及事業種類

- 一、本會ノ目的ハ男女間ニ貞潔ノ德操ヲ獎メ公娼制度ヲ廢止シ且ツ各種ノ方面ヨリ社會ヲ廓清スルニアリ
- 二、本會ハ其目的ヲ達センカ爲ニ左ノ各部ヲ置ク
  - (一)編輯部 機關雜誌「廓清」ノ發行及圖書出版
  - (二)調査部 公娼問題及公娼廢止ノ善後策ヲ研究調査スル事、藝妓の婦其他類似ノ稼業者ニ對スル調査改善、婦人問題、貞操問題、禁酒問題、勞働問題其他ノ社會問題ニ對スル調査研究並指導
  - (三)教育部 本會ノ趣旨精神ニ基ク知識思想開拓ノ爲メ演說、講演會ヲ開クコト
  - (四)宣傳部 本會ノ趣旨主張ノ宣傳及會員ノ募集
  - (五)社會部 娼妓其他醜業婦ノ救濟並ニ風教改善ニ必

要ナル事業

- 三、本會ニ入會セント欲スル者ハ男女ヲ問ハス住所、職業、氏名、年齢ヲ記シ本部(支部アル處ハ支部)ヘ申込ムヘシ
- 四、會員ヲ分ツテ維持會員及正會員ノ二種トス
  - (一)正會員ハ一ケ年參圓六拾錢(廓清購讀料共)ヲ收ムルモノ
  - (二)維持會員トハ年額五圓以上(廓清購讀料共)又ハ一時金五拾圓以上ヲ收ムルモノ

會員數及分布狀況

目下ノ會員ハ五十六名ニシテ秋田市ヲ主トシ南秋田、山本、北秋田、河邊、由利、仙北、平鹿、雄勝ノ各郡ニ散在ス

主ナル役職名並其氏名

- 役員ハ幹事及評議員トス
- 一、幹事 岡村 丙子郎 早川 祐吉



池田 安三 吉成徳五郎  
大場 鶴治 池田 哲也

一、評議員  
星野 又吉 鹽谷 嘉綱  
島田 昨 鬼川 貫一  
兒玉 高道 熊井 又八郎  
マツ コール

維持方法  
會員ノ會費及寄附金ヲ以テス  
昭和三年度豫算額 決定セルモノナシ必要ニ應ジ支出ス

名稱 宮城縣教化事業聯合會

事務所々在地 仙臺市勾當臺通二十七番地  
創設年月日 昭和三年五月十一日

經營主體又ハ代表者 代表者 宮城縣知事  
沿革概要  
昭和三年一月三十日創立委員會ヲ開キ主ナル團體代表者  
二十二名出席會則草案等ヲ協議シ次テ同年五月十一日縣  
下教化事業關係者三百五十名ノ參集ヲ求メ本會ヲ組織ス  
ルコトヲ定メ即日之ヲ設立セリ  
目的及事業種類  
別紙會則參照ノコト  
主ナル役職員並其氏名  
會長 知事 牛塚 虎太郎  
副會長 學務部長 池田 忠作  
同 金山 活牛  
理事 朝比奈 泰  
同 谷川 教之助  
同 成田 泰二郎  
維持方法  
寄附金補助金

昭和三年度豫算額 六八〇圓  
中央教化團體聯合會ヨリ二〇〇圓補助  
齋藤報恩會二〇〇圓補助  
寄附金二〇〇圓

名稱 仙臺皇道會

事務所々在地 仙臺市片平町六十八番地神宮奉齋會宮城本  
部内

創設年月日 大正四年九月  
經營主體又ハ代表者 代表者 新保徳壽  
沿革概要

本會ハ大正四年秋故三好愛吉氏(當時第二高等學校校長)武藤  
虎太氏(現第四高等學校校長)故早川智寛氏其他ノ有志相  
謀リ神官ヲ中心トシテ敬神崇祖ノ美風作興ノ目的ヲ以テ  
創設シ別記ノ事業ヲ經營實施以テ今日ニ至リタルモノナ  
リ

目的及事業種類

一、目的 敬神崇祖ノ精神ヲ發揮シ國體ノ尊嚴ヲ周知セ  
シムルコト  
二、事業  
一、毎年春秋二季、皇靈祭日ヲ期シ祭典ヲ行フ  
二、毎年名士ヲ招請シテ講演大會ヲ開ク  
三、臨時通俗講演會ヲ開ク  
四、地方ノ要請ニ應ジ講師ノ派出ヲ斡旋ス  
五、其他必要ト認メタル事業

會員數及分布狀況  
贊助會員 四八名 普通會員 五三八名  
主ナル役職名並其氏名

一、役員  
幹事長 新保 徳壽  
幹事 小倉 博 濱田 廉 高橋義四郎  
瀬川嘉平次 鶴沼 辰記 佐藤運三郎

市川 安孝	當山 春三	富田 直次
浦江馬五郎	小梨 專藏	大越 直榮
本田 甚平	菅野 信成	高橋 武櫻
庄司覺太郎	烏山 文吾	眞壁 政吉
大西 讓	針生 惣吉	高橋五郎助

口、講師  
 陸軍少將 梅津 喜一 本會幹事 當山 春三  
 同 少佐 裏辻 斧麿 仙臺第二中學校教諭中西 利徳  
 本會幹事 小倉 博 七十七銀行取締役 中村 梅三  
 陸軍少將 小松八四郎 第二高等學校教諭 濱田 廉  
 同 大佐 田中 豊 本會幹事

資産(種目別)  
 一、基本金 一千五十圓

維持方法

寄附金、補助金、賛助會員會費、普通會員會費等ノ收入ニヨル  
 昭和二年度豫算額 歳入一七六九、〇〇 歳出一七六九、〇〇

昭和二年度決算額	歳入 七九四、六四
	歳出 七七三、五五
昭和三年度豫算額	歳入 一八九三、六〇
	歳出 一八九三、六〇

奨勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)  
 金二百五十圓 財團法人齊藤報恩會補助金 昭和二年度  
 金百五十圓 同 上 昭和三年度

名稱 不動堂佛教青年會

事務所所在地 遠田郡不動堂村  
 創設年月日 昭和元年十二月二十七日  
 經營主體又ハ代表者 代表者 佐藤 文雄  
 沿革概要

大正十五年十二月初旬、近地ニ於ケル宗教講演會ヘノ歸途青年ヲ中心トシタル社會教化開發ノ急ナルヲ知ルヤ佛陀ノ慈悲ヲ旨トシテ國民精神ノ振興ヲ特ニ若キ青年ヲ中

心トシテ必要ナルコトヲ數回ニ渡リテ談シ居ルモ同月二十五日ニ至リテ結心ヲ定メ有志ト二十七日ニ會合シ結ス  
 コトニス

昭和元年十二月二十七日ヲ以テ信條ヲ旨トシ清規ヲ定メス設立ヲ結ヒ發會セリ爾來會員日ニ加リ數條ノ規定ヲ置ク昭和三年六月一日ヲ以テ農繁託兒所ヲ附屬ス而シテ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 會員ハ佛陀ノ聖訓ニ基ケル修養ハ精神作興思想善導方法ノ研養ニヨリ本村ヲ中心トシテ當地方ノ教化ニ努ムルニアリ

ロ、事業

1. 佛教的修養會ヲ開ク毎日數回
2. 修養講座講演會ヲ開ク年數回
3. 教化的活動映畫會年數回
4. 託兒事業ノ一部

5. 年ニ數回辯論會ヲ行フ  
 6. 其他前條ノ目的達成上必要ナル教化救濟事業

會員數及分布狀況

正會員	二四	計 二八
準會員、會友	四	
遠内郡不動堂村	一八	正 準
同 北海村	四	一 一
同 小牛内町	一	一 一
同 元涌谷村	一	一 一
仙 臺 市	二	二 二
山形縣 新庄町	一	一 一
計	二四	四 二八

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

會長評議員當分ナシ

本會代表者	佐藤 文雄
會計係	阿部 勝雄

ロ、職員

託兒所主任 佐藤 文雄  
 同會計書記 櫻井 武司  
 解 姆 高橋 えなじ

資産(種目別) 託兒所並附屬品

維持方法

正會員ノ贈金、寄附金、寫眞會ノ利益、其他ノ收入

昭和二年度豫算額 歳入 一七〇、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 二六八、七五  
 歳出 二二八、六一

昭和三年度豫算額 歳入 三〇〇、〇〇  
 歳出 三〇〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

宮城縣社會事業協會長ヨリ補助

昭和三年度 金三十一圓(託兒部宛)

\*\*\*\*\*

名稱 中津山村建國修養會

事務所々在地 桃生郡中津山村寺崎字松ノ木畑六十二番地

創設年月日 昭和三年三月二十六日

經營主體又ハ代表者 代表者 阿 部 蒞

沿革概要

大正十四年頃ヨリ隣接町村ニ喰ヒ入りタル外來思想團體ハ着々トシテ其ノ地歩ヲ固メ昭和二年ニハ遂ニ本村農民之レニ參加スルモノアリ年月ヲ重ヌルト共ニ益々尖鋭化スルニ至ル情考フルニ農村振興ノ聲年ト共ニ喧騒ヲ極ムト雖モ半面農村ノ内情ヲ觀察スルニ今ヤ農村ハ經濟的困窮ト共ニ正ニ思想的破滅ノ域ニアルノ状態ニシテ實ニ邦家ノ一大事ト云フモ過言ニアラサルナリ茲ニ於テ有志相諮リ皇祖肇國ノ大理想ヲ奉戴シテ我等大和民族ノ眞使命ヲ完ウセンカ爲ニ昭和三年三月二十六日ヲ以テ本團ノ組

織ヲ見ルニ至レリ  
 目的及事業種類

イ、目的 吾等ハ建國ノ精神ニ更生シ憲法ノ精神ヲ明確ニシ以テ日本國民タル眞使命ヲ完フセンコトヲ期ス

吾等ハ崇高ナル田園生活ヲ高調シ産業ノ發展農村ノ充實ヲ期ス

ロ、事業 個人的團體的修養團報ノ發行講演會開催農村問題ニ直面シテ嚴正ナル批判斷定ヲ下スコト

會員數及分布狀況

中津山村一圓ニシテ五百三十名

主ナル役職員並其氏名

役員  
 團 長 阿 部 蒞 理事長 阿 部 來  
 相談部長 佐々木美代治 會計部長 若山武一郎  
 區班 長 西條庄三郎  
 理事 事 長 外五名

理 事 渥美彦十郎

外二十一名

顧問 鹿久武三郎

外十名

維持方法

團費及寄附金ニ依ル

昭和二年度豫算額 金四百圓

\*\*\*\*\*

名稱 福島縣教化團體聯合會

事務所々在地 福島縣廳學務部社會課内

創設年月日 昭和三年五月十二日

經營主體又ハ代表者 代表者 大久保住吉

沿革概要

昭和二年十月三日縣下教化團體ノ聯絡統一ヲ圖リ以テ斯

種團體ノ向上發達ヲ期スル目的ヲ以テ郡山市ニ協議會ヲ  
 開催其ノ席上ニ於テ本縣當局ニ對シ本會組織方法其ノ他  
 ニ關シ調査方ヲ依頼セリ翌昭和三年五月十二日福島縣會  
 議事堂ニ創立協議會ヲ開催同日創立セリ  
 昭和三年五月三十日中央教化團體聯合會ニ加盟申込同年  
 六月二十九日承認ヲ得タリ

目的及事業種類

目的 國民道德ヲ基調トシ思想善導、國民精神ノ作興ヲ  
 圖ル爲各教化團體ノ聯絡提携ヲ保チ其ノ事業ノ促  
 健ヲ圖ルヲ以テ目的トス

- 事業 一、講演會、講習會等ノ開催  
 二、社會教化ニ關スル調査研究  
 三、講師派遣  
 四、教化團體ノ獎勵助成  
 五、其他本會ノ目的達成ノ爲必要ナル事業

會員數及分布狀況

本會加盟團體數ハ目下四一團體ニシ本縣内ニ於ケル教化團體ヲ  
 以テ組織ス

主ナル役職名並其氏名

役員	總裁	加勢 清雄
	會長	大久保住吉
	副會長	酒井 百人
	同	二宮 哲三
	評議員	松岡白欣 保森覺圓 太田眞喜 渡部祐佐久 長峰丹治 八幡義教
職員	幹事	細川盛美 加賀定雄 阿部泰莨

維持方法

寄附金、縣及中央教化團體聯合會ノ補助金、獎勵金其ノ他ノ收  
 入ニ依ル

昭和三年度豫算額 歳入 六一〇、〇〇  
 歳出 六一〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和三年度)

中央教化團體聯合會ヨリ獎勵金 二百圓

\*\*\*\*\*

名稱 湯野報德社

事務所所在地 伊達郡湯野村字町尻九番地

創設年月日 明治三十六年二月二十七日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 財團法人

ロ、代表者 安田長三郎

沿革概要

明治三十六年二月二十七日設立明治三十八年十二月二十  
 一日法人組織ノ認可ヲ得大正二年三月十日大日年報德社  
 ニ加盟ス設立以來報德金ノ造成ニ努メ社ノ分度ニ應シ各  
 般ノ事業ヲ行ヒ今日ニ至ル

目的及事業種類

目的 二室尊徳先生ノ遺教ヲ遵奉シ報德事業ヲ行フヲ目  
 的トス

事業 常會又ハ講演會ヲ開キ報德道義ヲ講究シ専ラ道德  
 ト經濟ノ向上ニ努メ敬禮、敬老、獎學等ノ教化事  
 業公共事業ヲ實施シ毎月、善種金加入金ヲ推讓シ  
 農蠶資金等ヲ融通ス

會員數及分布狀況

會員數 一二〇名  
 分布狀況 村内各部落ヨリ入社

主ナル役職名並其氏名

役員	理事社長	安田長三郎
	理事副社長	西方伊三郎
	參事	高縣長次
	同	山岸園治
	同	安田幸七

參事	佐藤藤五郎
同	菱沼善七
同	櫻井又吉
同	村上喜八
監事	島勇三郎
同	平井幸三郎

資産(種目別)

一、特別土臺金	二百三十二圓
二、土臺金	三千九百七十六圓
三、善種金	一萬五百〇五圓
四、加入金	一萬三千百三十七圓
計	二萬七千八百五十圓

維持方法

財産ヨリ生スル收入、寄附金、其他收入

昭和二年度豫算額	歳入 三三〇、〇〇
昭和二年度決算額	歳出 三二二、五七
昭和三年度豫算額	〃 五七一、五一

名稱 御木澤村七草木禁酒會

事務所々在 田村郡御木澤村大字七草木字館下一〇八

創設年月日 明治三十七年四月

經營主體又ハ代表者 一、經營主體 會員組織

二、代表者 渡邊郡喜

沿革要

明治三十七年四月本會ヲ創立スルヤ僅カニ數名ノ會員ニ過キサリシモ時將ニ日露戰役ノ勃發ニ際シ内納稅ノ重要ナルヲ悟ルト共ニ勤儉貯蓄ノ思想ヲ涵養ノ飲酒ノ弊ノ大ナルヲ訓ヘ浮華文弱ニ流レサルヤウ青年ノ指導ニ留意シツツアリシカ漸次會員ノ増加ニ伴ヘ盛況ヲ見現在ニ於テハ滿十五歲以上滿三十歲以下ノ青年ハ殆ント本會ニ入會スルコトニ習慣規約ヲ作ルニ至レリ

目的及事業種類

目的 飲酒ヲ禁シ信義ヲ重シ道德ヲ修メ質素ヲ旨トシ文

弱ニ流レザルヲ以テ目的トス

事業 一、飲酒ノ弊ヲ矯ムルニ努ムルコト

二、農事ノ改良

三、講演會ノ開催

四、貧困者ニ資本ノ融通ヲナス

五、身心鍛鍊ノ爲武道ノ獎勵

會員數及分布狀況

會員數 三九名

分布狀況 本村大字七草木内有志

主ナル役職名並其氏名

役員	
會長	渡邊郡喜
副會長	佐藤文十
評議員	渡邊好信
	渡邊幸作
	渡邊隆治

職員

事務員	伊藤忠千代
同	渡邊春彌
	伊藤長作
	佐久間金彌

資産(種目別)

基本金	千三百五十圓
積立金	六百五十圓
維持費	八十五圓
計	二百八十五圓

昭和二年度豫算額 歳入 一九〇〇、〇〇

昭和二年度決算額 歳出 一九二〇、〇〇

昭和三年度豫算額 歳入 一九八五、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

御木澤村ヨリ補助金三圓

\*\*\*\*\*

名稱 相馬佛教慈善會

事務所所在地 相馬郡中村町正西寺内

創設年月日 明治四十三年九月二十四日

經營主體又ハ代表者 代表者 八幡義教

沿革概要

明治四十三年九月當時ノ福島地方裁判所檢事正河西博文ノ提唱ニ依リ本郡有志相謀リ同月廿四日本會ヲ創立セリ

目的及事業種類

目的 佛教ノ主旨ヲ遵奉シ免囚保護事業ヲナスヲ以テ其ノ目的トス

事業 一、教化事業

二、免囚保護事業

會員數及分布狀況

會員數 三三二名

主ナル役職名並其氏名

役員

會長

八幡義教

副會長

志賀顯勝

職員

廣畑賢明

幹事

鈴木賢秀

同

高崎隆道

同

青田隆教

同

遠藤覺榮

同

山岡淳明

資産(種目別)

基本金 五百九十五圓

維持方法

會費並寄附金、補助金等ニ依ル

昭和二年度豫算額 歲入 一五〇、〇〇

昭和二年度決算額 歲入 一五四、〇〇

昭和三年度豫算額 歲入 一五〇、〇〇

獎勵金及補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

司法省獎勵金 一五、〇〇 (昭和二年度)

同 一五、〇〇 (昭和三年度)

\*\*\*\*\*

名稱 伊達北部佛教慈善會

事務所所在地 伊達郡梁川町萬休院内

創設年月日 明治四十三年十月三日

經營主體又ハ代表者 イ、經營主體 會員組織

ロ、代表者 立花純孝

沿革概要

明治四十三年十月三日本會ヲ創設シ本日ニ至ル

目的及事業種類

目的 佛教ノ主旨ヲ遵奉シ感化救済、其ノ他社會事業ヲ爲スヲ以テ目的トス

事業 一、釋放者保護事業

二、一般社會事業

會員數及分布狀況

會員數 二十四名

分布狀況 伊達郡梁川町外七ヶ村ヲ一圓トスル寺院

主ナル役職名並其氏名

役員

會長 立花純孝

理事 海野教壽

同 塚村辨祐

同 和田信保

職員

幹事 大塚孝順

同 岡本同軌

資産(種目別)

器具其ノ他 金三十圓

維持方法

寄附金補助金等ニ依ル

昭和二年度豫算額 歳入 三二一、八〇

昭和二年度決算額 歳入 三一五、〇〇

昭和三年度豫算額 歳入 三五〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

司法省補助金 昭和二年度 金二十五圓

昭和三年度 金二十五圓

名稱 福島縣伊達郡川西佛教慈善會

事務所所在地 伊達郡桑折町無能寺内

創設年月日 明治四十三年十月七日

經營主體又ハ代表者 會員組織 會長 佐藤 泰然

沿革概要

明治四十三年十月七日司法保護ノ必要ヲ痛感シ創立シ今日ニ至ル

目的及事業種類

目的 佛教ノ主旨ノ下ニ司法保護、慈善事業ヲ行フヲ以テ

テ目的トス

事業 一、免囚保護事業

二、感化救済

三、教化事業

會員數及分布狀況

會員數 三〇名

分布狀況 伊達郡川西西部二町十ヶ村四十五寺院住職ヲ以テ

組織(兼務ヲ含ム)

主ナル役職名並其氏名

役員

會長 佐藤 泰然

副會長 春日 全峯

同 横田 聖 懂

職員

幹事 柴田 光照

名稱 石川佛教慈善會

事務所所在地 石川郡石川町

創設年月日 明治四十三年十月十日

經營主體又ハ代表者 一、經營主體 會員組織

二、代表者 廣川 奇道

沿革概要

明治四十三年本縣各地ニ免囚保護事業ヲナス目的ヲ以テ

佛教慈善會設立ノ議起ルヤ直ニ創設昭和三年財團法人福

島縣聯合保護至道會ノ設立ヲ見ルニ及ヒ直ニ加盟セリ

目的及事業種類

目的 佛教ノ主旨ノ下ニ司法保護及一般社會事業ヲ爲ス

ヲ以テ目的トス

事業 一、犯罪者ヲ未然ニ防クコト

二、釋放者保護

三、布教

會員數及分布狀況

會員數 三七名

保護主任 春日 祥三

會計主任 青柳 良正

資産(種目別)

現金 二〇〇圓

維持方法

會費及補助交付金、托鉢修行ニ依ル集金等ヲ以テ維持ス

昭和二年度豫算額 歳入 七五、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 四三、九七

昭和三年度豫算額 歳入 七五、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

司法省及福島縣補助金 十五圓 昭和二年度

聯合保護至道會 十五圓 昭和三年度

\*\*\*\*\*

分布状況 郡内各寺院住職ヲ以テ組織ス  
主ナル役職名並其氏名

役員

副會長 廣川 奇道

職員

常務幹事 富澤 義邦

幹事 竹貫 正宗

保護主任 録田 棲梧

會計係 富澤 義暢

資産(種目別)

一、基本金 三千百十二圓四十八錢

維持方法

寄附金、補助金獎勵金其他ノ收入ニ依ル

昭和二年度豫算額 歳入 三二五、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 三二五、〇〇

昭和三年度豫算額 歳入 三二五、〇〇

歳出 二八〇、〇〇

昭和三年度豫算額 歳入 三五〇、〇〇

歳出 三五〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

補成會獎勵金 十五圓 昭和二年度

縣聯合保護會金 三圓 同

補成會獎勵金 十五圓 昭和三年度

縣聯合保護至道會金 三圓五十錢 同

\*\*\*\*\*

名稱 雙葉佛教慈善會

事務所々在 地 雙葉郡木戸村大字上小嶋廣徳院内

創設年月日 明治四十三年十月

經營主體又ハ代表者 代表者 島 賢亮

沿革概要

明治四十三年十月本郡各宗寺院住職等相謀リ別項ノ目的ノ下ニ本會ヲ設立

昭和三年五月十二日福島縣教化團體聯合會ニ入會

目的及事業種類

目的 佛教ノ主旨ヲ體シ免囚保護及教化事業ヲ圖ルヲ以

テ目的トス

事業 一、福島縣聯合保護至道會ニ加盟相提携シテ司法

保護ノ完成

二、教化事業ノ研究調査

會員數及分布狀況

會員數 二二人

分布狀況 目下雙葉郡内二ヶ寺ノ住職ヲ以テ組織ス

主ナル役職名並其氏名

役員 會長 島 賢亮

職員

幹事 青木 英海

皆川 利成

維持方法

寄附金、補助金ノ外會員ノ豫金ニ依ル

昭和二年度豫算額 歳入 五〇、〇〇

歳出 四〇、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 二〇、〇〇  
昭和三年度豫算額 歳入 五〇、〇〇  
昭和三年度豫算額 歳出 四〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

福島縣聯合保護會ヨリ 三圓五十錢 昭和二年度  
福島縣聯合保護至道會ヨリ 三圓五十錢 昭和三年度

\*\*\*\*\*

名稱 安積佛教慈善會

事務所々在 地 福島縣郡山市善導寺内

創設年月日 明治四十三年十一月三日

經營主體又ハ代表者 代表者 會長 河野 大徹

沿革概要

明治四十三年八月當時ノ福島地方裁判所檢事正河西氏等ノ慫慂ニ依リ故善導寺住職石川大元等相謀リ十一月三日本會ヲ設立、始メ安積郡一圓ヲ以テ其ノ區域トセシモ地



理的關係上其ノ後東西各區域ニ分離シ東部ハ依前本名稱ヲ持續セリ

昭和三年五月十二日福島縣教化團體聯合會ニ加入

目的及事業種類

佛教ノ趣旨ノ下ニ左ノ事業ヲナスヲ以テ目的トス

一、釋放者間接保護

二、一般慈善事業

會員數及分布狀況

會員數 三十名

分布狀況 安積郡東部各宗寺院住職

主ナル役職名並其氏名

役員	會長	河野大徹
	副會長	保森覺圓
職員		
常務幹事	石川大順	

同 小田慶良  
保護主任 石田熊丸

維持方法

會費及特殊寄附ニ依ル

昭和二年度豫算額 歲入 一四二、三五 歲出 一四二、三五

昭和二年度決算額 歲入 一〇五、二五 歲出 一〇五、二五

昭和三年度豫算額 歲入 一四八、三五 歲出 一四八、三五

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和三年度)

釋放者保護事業獎勵金 十五圓

縣聯合保護至道會補助 三圓

\*\*\*\*\*

名稱 西白河郡佛教慈善會

事務所所在地 西白河郡白洲町字横町八六專念寺内

創設年月日 明治四十三年十一月三日

經營主體又ハ代表者 代表者會長寺西大龍  
沿革概要

本會ハ明治四十三年十一月二十日佛教ノ本旨ヲ遵守、司法保護、感化救済ヲ目的トシ郡内有志者並寺院住職等ヲ以テ創立、事務所ヲ現所在地ニ置ク

目的及事業種類

イ、目的 佛教ノ主旨ノ下ニ慈善事業ノ貢獻ヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、釋放者保護

二、同 職業紹介

三、釋放者ノ一時宿泊

四、釋放者ニ對スル金品給與

會員數及分布狀況

イ、會員數 五〇名

ロ、分布狀況 本郡内各宗寺院五十ヶ寺ノ住職ヲ以テ組織ス

主ナル役職名並其氏名

會長	寺西大龍
副會長	足立俊雄
評議員	熊倉秀詮
同	吉岡岱玄
會計係	石井宗順
保護主任	寺西大龍

資産(種目別)

基本金 四百

維持方法

基本金利子、各會員ノ離出等ニ依ル

昭和二年度豫算額 歲入 一二〇、〇〇 歲出 一二〇、〇〇

昭和二年度決算額 歲入 一二〇、〇〇 歲出 一二〇、〇〇

昭和三年度豫算額 歲入 一二〇、〇〇 歲出 一二〇、〇〇

\*\*\*\*\*

名稱 耶麻佛教慈善會

事務所所在地 耶麻郡喜多方町宇東町滿福寺内

創設年月日 明治四十三年十一月二十四日

經營主體又ハ代表者 代表者 鈴木俊學

沿革概要

明治四十三年十一月福島地方裁判所檢事正ノ主唱ニ依リ  
釋放者保護ヲ目的トシ創設

昭和三年五月十二日福島縣教化團體聯合會ニ加盟セリ

目的及事業種類

目的 佛教ノ主旨ヲ遵奉シ釋放者保護並一般感化事業ヲ  
爲スヲ以テ目的トス

事業 一、釋放者保護

二、釋放者ノ職業指導

會員數及分布狀況

會員數 五二名

分布狀況 本郡内猪苗代、慶徳ノ兩佛教慈善會區域ヲ除ク各

町村各宗寺院住職

主ナル役職名並其氏名

役員

會長 鈴木俊學  
評議員 池田法應

職員

保護主任 上野覺雄  
庶務主任 松野大鏡  
會係主任 高橋越學

維持方法

會員ノ贈金及寄附金等ニ依ル

昭和三年度豫算額 歲入 一二五、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)

司法省獎勵金 十五圓 昭和二年度

同 十五圓 同 三年度

\*\*\*\*\*

名稱 東部大沼佛教慈善會

事務所所在地 大沼郡高田町龍興寺内

創設年月日 明治四十三年十一月

經營主體又ハ代表者 代表者 寛 義海

沿革概要

明治四十三年十一月創立免囚保護事業ニ從事大正五年五  
月福島縣聯合保護會(現福島縣聯合保護至道會ノ前身)ニ

加盟シ今日ニ至ル

目的及事業種類

目的 佛教ノ主旨ヲ遵奉一般慈善事業ニ貢獻スルヲ以テ

目的トス

事業 一、感化救済

二、司法保護

會員數及分布狀況

一、會員數 三十名

口、分布狀況 本郡東部一圓

主ナル役職名並其氏名

會長 寛 義海  
副會長 小 俣 泰山  
常務幹事 鈴木 默 龍  
保護主任 寛 義海

資産(種目別)

一、基本金 六十五圓

維持方法

司法省交付金、本縣交付金、基本金利子正會員ノ贈金等ニ依ル

昭和二年度豫算額 歳入 九五、〇〇  
 歳出 八八、六四  
 昭和二年度決算額 歳入 九五、〇〇  
 歳出 八八、六四  
 昭和三年度豫算額 歳入 一〇五、〇〇  
 歳出 一〇五、〇〇  
 獎勵金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度) 毎年  
 司法省交付金 十五圓  
 福島縣同上 二圓五十錢

名稱 安達佛教慈善會

事務所々在 安達郡二本松町少林寺内  
 創設年月日 明治四十四年二月  
 經營主體又ハ代表者 代表者 會長 武田 喚 隨  
 沿革概要  
 明治四十四年二月安達郡内各宗寺院住職ヲ以テ安達佛教  
 慈善會ヲ組織後一年種々ナル事情ノ下ニ本郡ヲ二分シ一

ハ本會ノ名稱ヲ稱フルニ至レリ  
 目的及事業種類  
 佛教ノ主旨ヲ遵奉シ左ノ事業ヲ爲スヲ以テ目的トス  
 一、免囚者ノ保護  
 二、起訴猶豫及刑ノ執行猶豫者保護感化  
 三、布教傳導、感化救済ニ關スル各種社會事業  
 會員數及分布狀況  
 二町十五ヶ村各宗寺院住職及僧侶ヲ以テ組織ス  
 主ナル役職名並其氏名

役員	會長	武田 喚 隨
	副會長	漆 間 清 明
	評議員	大 内 慶 勤
	同	鈴 木 巨 舟
	同	佐 藤 視 好
職員	布教師	高 松 魁 學

名稱 猪苗代佛教慈善會

事務所々在 耶麻郡猪苗代町安穩寺内  
 創設年月日 明治四十四年五月一日  
 經營主體又ハ代表者 代表者 細川 寬 田  
 沿革概要  
 明治四十四年五月一日創設

昭和三年五月十二日福島縣教化團體聯合會ニ加盟  
 目的及事業種類  
 目的 聖訓ヲ奉體シ佛教ノ主旨ノ下ニ左ノ事業ヲナスヲ  
 以テ目的トス  
 事業 一、免囚保護  
 二、精神作興  
 三、地方教化事業

會員數及分布狀況  
 會員數 二四名  
 分布狀況 猪苗代村 六名 翁島村 三名

同 佐々木 義道  
 幹事 川名 孝顯  
 同 中島 元道  
 資産(種目別)  
 基本金 二百圓  
 維持方法  
 寄附金、獎勵金、補助金ノ外托鉢等ヨリノ收入ヲ以テ維持ス  
 昭和二年度豫算額 歳入 一〇五、〇〇  
 歳出 一〇五、〇〇  
 昭和二年度決算額 歳入 一〇五、〇〇  
 歳出 一〇五、〇〇  
 昭和三年度豫算額 歳入 一六〇、〇〇  
 歳出 一六〇、〇〇  
 獎勵金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)  
 福島縣聯合保護會ヨリ 十八圓五十錢 昭和二年度  
 福島縣聯合至道會ヨリ 十八圓五十錢 昭和三年度

月輪村 五名  
長瀬村 六名  
吾妻村 一名  
磐梯村 三名

主ナル役職名並其氏名

役員

會長 細川 寛田  
副會長 杉本 賜恩  
同 伊藤 賢興  
職員  
幹事 作永 時雄  
保護主任 西脇 宏運  
會計主任 遠藤 玄海

維持方法

寄附金、獎勵金等ニ依ル

昭和二年度豫算額 歳入 三〇〇、五七〇

昭和二年度決算額 歳入 二九五、〇二五

昭和三年度豫算額 歳入 二八七、七五〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

司法省獎勵金 十圓 昭和二年度  
同 十四 昭和三年度

\*\*\*\*\*

名稱 會津佛教慈善會

事務所所在地 若松市馬場名子屋町福證寺内

創設年月日 明治四十四年五月十三日

經營主體又ハ代表者 代表者 山口 元 瑩

沿革概要

明治四十三年十月二十日當時ノ福島地方裁判所河西檢事正、福島監獄典獄伊藤俊光氏等發起同市大町融通寺ニ會合、創立ヲ決議翌年五月十三日總會ヲ開キテ發會式舉行

目的及事業種類

目的 貧民ノ救護及釋放者ノ保護及思想善導  
事業 教北事業ノ各種團體ト聯繫提携ヲ圖リ目的達成ノ

爲必要ナル事業ヲナス

會員數及分布狀況

イ、會員總數 七十二名

口、若松市北會津郡ノ大部、河沼郡ノ一部ノ各宗寺院住職或ハ住職代理ヲ以テ組織

主ナル役職名並其氏名

會長 山口 元 瑩  
副會長 松山 良 純  
同 伊藤 泰 善

資産(種目別)

一、基本金 千圓  
一、當座預金 百五十二圓  
一、器具物品 九十五圓  
計 千二百四十七圓

維持方法

基本金ヨリ生スル利子及一般有志ノ寄附金ニヨル

昭和二年度豫算額 歳入 一、三〇九、二六  
歳出 四一〇、〇〇〇

昭和二年度決算額 歳入 一、三六九、一

昭和三年度豫算額 歳入 一、三四二、〇〇〇

\*\*\*\*\*

名稱 田村東南佛教慈善會

事務所所在地 田村郡小野新町保泉寺内

創設年月日 明治四十四年十月三日

經營主體又ハ代表者 代表者 阿部 正 明

沿革概要

明治四十四年十月三日別項目的ノ下ニ本會ヲ設立、昭和三年五月十二日福島縣教化團體聯合會ニ入會

目的及事業種類

目的 聖訓ヲ奉體シ事業ヲナスヲ以テ目的トス  
事業 一、釋放者保護

二、人事相談

三、講演會

會員數及分布狀況

會員數 二九

分布狀況 小野新町外六ヶ村各宗寺院住職

主ナル役職名並其氏名

1、役員

會長 阿部 正明  
副會長 高橋 悟山

職員

保護主任 長谷川 大仙  
同 高橋 祖明  
會計主任 會川 乾孝

2、役員

評議員 牧山 全昇 岩澤 龍嶽  
三坂 哲明 松本 文榮  
古山 廣山 梅田 快傳  
的場 良悟

資産(種目別)

基本金 百九十四圓四十五錢

維持方法

基本金收入、寄附金及各會員贈金ニ依ル

昭和二年度豫算額 歳入 一五、二九

昭和二年度決算額 歳入 一〇七、八二

昭和三年度豫算額 歳入 一一五、二九

奨勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

昭和二年度 十三圓

昭和三年度 十三圓五十錢

\*\*\*\*\*

名稱 南相佛教慈善會

事務所々在地 相馬郡原町新祥寺内

創設年月日 大正元年十月十二日

經營主體又ハ代表者 代表者 野 田 甫 先

沿革概要

別項目的ヲ遂行センカ爲メ大正元年十月十二日本會ヲ設  
立ス  
昭和三年五月十二日福島縣教北團體聯合會ニ入會

目的及事業種類

目的 聖訓ヲ奉體シ縣下各佛教慈善會、教化團體等ト提  
携シ感化救濟其ノ他慈善事業ヲ爲スヲ以テ目的ト  
ス

事業 免囚者間接保護

會員數及分布狀況

本會々員數ハ目下二十三名其ノ分布狀況左ノ如シ(町村内ノ寺  
院住職)

相馬郡原町	同	小高町	同	太田村
同 大麩村	同	石神村	同	新館村
同 飯倉村	同	石橋村		

主ナル役職名並其氏名

役員

會長 野 田 甫 先  
副會長 石 川 周 滲

職員

幹事 星 見 俊 量  
同 白 江 慶 順  
同 堀 江 章 堂  
保護主任 星 見 俊 量  
會計主任 石 川 周 滲

資産(種目別)

基本金 一、三二四、八四〇

維持方法

基本金ヨリ生スル收入、寄附金補助金、奨勵金等ニ依ル

昭和二年度豫算額 歳入 九〇、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 九八、〇〇

昭和三年度豫算額 歳入 九〇、〇〇

獎勵金並補助金下附の有無(昭和三年度)  
 司法省獎勵金 一五〇〇  
 輔成會交付金 一〇、〇〇  
 縣聯合保護至道會 三、五〇

名稱 標葉佛教慈善會

事務所所在地 雙葉郡浪江町正西寺内

創設年月日 大正五年四月一日

經營主體又ハ代表者 一、經營主體 會員組織

口、代表者 小丸善雄

沿革概要

大正五年四月社會教化上特ニ免囚保護ノ必要ナルヲ認メ  
 本會ヲ創立直ニ福島縣聯合保護會ニ加盟、昭和三年七月  
 福島縣聯合保護至道會ノ生ル、ニ及ビ之ニ加盟現在ニ至  
 ル

目的及事業種類

目的 佛教ノ主旨ヲ遵奉シ免囚保護事業慈善事業等ノ感  
 化事業ヲナスヲ目的トス

事業 一、免囚保護事業

二、其他社會教化事業

會員數及分布狀況

雙葉郡北部二町七ヶ村ニ於ケル佛教各宗寺十二ヶ寺ノ住職ヲ以  
 テ正會員トス

主ナル役職名並其氏名

役員

會長 小丸善雄

副會長 廣畑惠教

職員

會計主任 遠藤宥喜

資産(種目別)

現金 三五〇、〇〇

維持方法

寄附金、補助金及會員獻金ニ依ル

昭和二年度決算額 歳入 一〇二、〇〇  
 歳出 一〇二、〇〇  
 昭和二年度決算額 歳入 一三〇、〇〇  
 歳出 一三〇、〇〇  
 昭和三年度決算額 歳入 一〇二、〇〇  
 歳出 一〇二、〇〇  
 獎勵金補助金下附の有無(昭和二、三年度)  
 輔成會補助金 十圓 昭和二年度  
 司法省補助金 十五圓 昭和三年度

名稱 福島市各宗聯合和光會

事務所所在地 福島市大字福島字五月町九番地

創設年月日 大正六年四月八日

經營主體又ハ代表者 松岡白欣

沿革概要

大正二年四月福島市内各宗寺院ノ親睦ヲ圖ル目的ノ下ニ  
 親和會ヲ組織毎月一回會員集合時事問題ヲ協議シ來リシ

モ大正六年四月八日和光會ト改稱免囚保護事業並教化事  
 業ノ達成ヲ圖ルヲ以テ目的ト改ム

目的及事業種類

一、目的 市内各宗寺院ト聯絡、諸ノ教化事業ノ完成ヲ  
 圖ルヲ以テ目的トス

口、事業 一、貧困者救済

二、免囚保護

三、講演會ノ開催

會員數及分布狀況

一、會員數 二十六人

口、分布狀況 福島市内ノ各寺院

主ナル役職名並其氏名

一、役員

會長 松岡白欣

口、職員

幹事 鈴木秀應

同 柳本俊海  
同 網代智高

資産(種目別)

一、基本金 七五〇.〇〇

維持方法

寄附金、基本金利子、會員ノ離出等ニ依ル

昭和二年度決算額 歳入 八六〇.〇〇

昭和二年度決算額 歳出 八九五.六〇

昭和三年度決算額 歳入 八〇〇.八九

昭和三年度決算額 歳出 八六〇.〇〇

\*\*\*\*\*

名稱 日本弘道會中村支會

事務所所在地 相馬郡中村町福島縣立相馬中學校内

創設年月日 大正七年二月六日

經營主體又ハ代表者 代表者 千秋穗三郎

沿革概要

大正七年一月本支會ヲ設立スヘク準備會ヲ開キ二月六日  
之カ創設ヲ見タリ

昭和三年五月十二日福島縣教化團體聯合會ニ加盟

目的及事業種類

目的 日本弘道會ノ主旨ニ遵ヒ道德ヲ高メ善良ナル風俗  
ヲ造ルヲ以テ目的トス

事業 一、名士ノ講演會ノ開催

二、道德上ノ研究、實行

會員數及分布狀況

會員數 六〇名

主ナル役職名並其氏名

役員

支會長 千秋穗三郎

副支會長 天野泰

職員

設立ス

昭和三年五月十二日福島縣教化團體聯合會ニ入會

目的及事業種類

目的 教育ニ關スル勸語、成申詔書ノ聖旨及佛祖ノ教訓  
ヲ奉體シ婦德ノ修養勤儉貯蓄ノ弊風ヲ振起シ延テ  
國利民福ヲ増進スルヲ以テ目的トス

事業 一般慈善事業

會員數及分布狀況

會員數 一六五人

分布狀況 村内一圓

主ナル役職名並其氏名

役員

會長 栗林良海

副會長 村上秀尊

顧問 藤原宇吉

職員

幹事 新田藤三郎  
同 福田秀雄  
同 刈宿論  
同 宗像孝三  
同 八幡義教  
同 佐藤俊輔

維持方法

會合毎ニ會員ノ離出ニ依ル

\*\*\*\*\*

名稱 立子山村佛教婦人會

事務所所在地 伊達郡立子村天正寺内

創設年月日 大正七年四月十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 栗林良海

沿革概要

大正七年四月十五日婦德ノ修養ノ要急ナルヲ痛感本會ヲ

幹事 朝倉道子  
 同 大河内コク  
 同 栗林サトイ  
 同 岩槻チウ  
 同 村上キチ子

資産(種目別)

基本金 六七、八五〇

維持方法

基本金利子寄附金等ニ依ル

\*\*\*\*\*

名稱 大元禁酒會

事務所所在地 岩瀬郡須賀川町大字須賀川字西七丁目一九番地

番地

創設年月日 大正十年十月

經營主體又ハ代表者 一、經營主體 會員組織

口、代表者 根元大助

沿革概要

同胞保健ト國民經濟トヲ考慮シ第一義禁酒ノ必要ヲ痛感シ大正十年十月共鳴者等ト相謀リ本會ヲ設立ス

目的及事業種類

目的 同胞愛ヲ基礎トスル禁酒ノ宣傳普及

事業 一、禁酒ノ宣傳

二、貯金獎勵

三、風紀改善

會員數及分布狀況

會員數 三七名

分布狀況 本町在住同志者ヲ以テ組織

主ナル役職名並其氏名

役員

會長 根元大助

維持方法

一般寄附金ヲ以テ維持ス

昭和三年年度豫算額 歳入 一三、〇〇〇  
 歳出 一三、〇〇〇

\*\*\*\*\*

名稱 修養園若松支部

事務所所在地 若松市若松第五尋常高等小學校内

創設年月日 大正十年十一月十日

經營主體又ハ代表者 代表者 松江豊壽

沿革概要

修養園ノ二大主張同胞相愛流汗鍛鍊ニ共鳴大正十年十一月十日創立爾來銳意團勢ノ擴張ヲ圖リ關東北聯盟及福島縣教化團體聯合會ニ加盟昭和三年四月二十九日天長節ノ佳辰ヲトシテ修養園會津聯合會ヲ組織シ同年十月十四日婦人部ヲ設ケ今日ニ至ル

目的及事業種類

一、目的 同胞相愛流汗鍛鍊献身報國ノ修養園精神ノ實

現普及ヲ圖リ延テ社會人心ノ善導ヲ圖ルヲ以テ目的トス

口、事業 一、團體訓練

二、講習會講演會開催

三、優良圖書ノ蒐集、貸與並推獎

四、團員運動獎勵

五、家庭改良職業改善、地方振興等ニ關スル

研究調査

六、圖書發行

七、公共事業ニ對スル奉仕

會員數及分布狀況

一、會員數(男子部 一二〇名  
 婦人部 八〇名)

口、分布狀況 若松市一團

主ナル役職名並其氏名

支部長 松江豊壽

理事長 本間力三郎 婦人部 穴澤たけの



常任理事	男子部	渡部祐佐久	婦人部	渡邊祐佐久
同		松川富保		松川富保
同		大平善祐		大平善祐
同		五十嵐竹雄		五十嵐竹雄
同		大關榮二		大關榮二
同		關正平		關正平
同		宇田川岩吉		穴澤ミツ
同		羽金與四郎		白井淑子
同		谷津力		古川キン

資産(種目別)

- 一、基本金 一、八八四、〇五
- 一、器具物品 一一八、〇〇

計 二、〇〇二、〇五

維持方法

團員ノ離出、基本金利子、寄附金等ニヨル

昭和二年度決算額 歳入 二二、三六、八〇  
歳出 二二、三六、八〇

昭和二年度決算額 歳入 二五五、五六  
歳出 一八二、三四

昭和三年度決算額 歳入 二七九、四二  
歳出 二七九、四二

備考

修養園會津聯合會ハ當支部ヲ中心トシ會津各郡内ノ支部ト聯絡ヲ圖リ以テ會津全土ニ亘リ教北善導ノ網ヲ整カントス

\*\*\*\*\*

名 稱 慶徳村風俗矯正會

事務所々在地 耶麻郡慶徳村大字豊岡字今町三一一番地  
創設年月日 大正十一年十一月二十日  
經營主體又ハ代表者

代表者 福島縣耶麻郡慶徳村長 小山與祖次郎

沿革概要

歐洲戰亂ノ影響ニ依リ我國ノ物價ハ異常ニ暴騰シ從テ國民生活ハ安定ヲ得ルニ至ラス、餘弊ノ及フ處甚大ニシテ財界ノ不振ニ伴ヒ思想ノ動搖産業ノ衰退ヲ來シ洵ニ憂慮

ニ不堪モノアリ其ノ原因タル一ニシテ足ラスト雖要ハ戰時ノ好況ニ馴致セラレ一般驕奢ニ走り浪費ヲ意トセス生産消費ノ經濟的關係ヲ閉却シタル結果ナリト言ハサルヘカラス、故ニ需給兩者ノ自覺ヲ促シ物價ノ低落ヲ圖ルハ喫緊ナリトシ政府ハ物價ノ調節ヲ主唱シ十九ヶ項目ヲ擧ケテ施設事項ヲ決定シ消費ニ關シ特ニ一般ニ注意ヲ喚起スル所アリ茲ニ於テ本村ハ直ニ村民大會ヲ開キ消費節約生活改善ノ方途ヲ協議シ大正十一年十一月二十日本會ヲ創設セリ

目的及事業種類

目的 本村ニ居住スル者ハ質朴ヲ旨トシ各自克ク分度ニ鑑ミ奢侈ヲ誠メ勤儉力行矯正スルヲ目的トス

- 事業 一、勤勞ヲ尙ヒ業務ヲ樂ムノ氣風ヲ養フコト
- 二、各自業務ニ精勵シ能率増進ニ努ムルコト
- 三、社會公共ノ事業ニ貢獻スルコト
- 四、奢侈ヲ誠メ冗費ヲ省キ生活上ノ弊風ヲ矯正ス

ルコト

五、國產愛用ノ念ヲ涵養スルコト  
六、應分ノ貯金ヲ實行スルコト

會員數及分布狀況

會員數 三九六名  
本村在住者全部ヲ以テ會員トス

主ナル役職名並其氏名

役員	會長	慶徳村長	小山與祖次郎
	副會長	慶徳小學校長	小野寺幸喜
	委員		猪俣傳八
			山口千代八
			小波耕喜
			加藤信平
			荒川利八
			武藤竹次
			山崎啓一

維持方法  
寄附金ノ收入ニ依ル

\*\*\*\*\*

### 名稱 不染會

事務所所在地 安達郡二本松町宇鳥谷二ノ七長泉寺内

創設年月日 大正十二年一月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 鈴木 巨舟

#### 沿革概要

大正十一年十二月現在會員相會シ現時ノ思想國難ヲ救済スルニハ佛教信奉家ニアルヲ痛感翌大正十二年一月一日本會ヲ創設セリ

昭和三年十月福島縣聯合ノ教化團體タル福島縣教化團體聯合會ニ加盟セリ

#### 目的及事業種類

目的 聖訓ヲ奉體シ佛教ノ主旨ヲ普及スルヲ以テ目的トス  
事業 一、講演會ノ開催  
二、救貧防貧  
三、浮浪者救済

#### 會員數及分布狀況

會員數 八名

現在會員ハ總テ寺院住職ニシテ其ノ宗派別次ノ如シ

天臺宗 四 曹洞宗 二 眞言宗 一 法華宗 一

#### 主ナル役職名並其氏名

##### 役員

現在會長ナシ

##### 職員

幹事 平田 信讓

同 渡邊 道眠

#### 資産(種目別)

一、基本金 三二八、七三〇

二、器具 二二、〇〇〇  
三、書籍印刷物 一六、〇八〇  
合計 三六六、八一〇

#### 維持方法

基本金利子、寄附金、助成金及其ノ他ノ收入ニ依ル

昭和二年度豫算額 歳入 一三〇、五二

昭和二年度決算額 歳入 一二八、一七

昭和三年度豫算額 歳入 一四二、〇三

\*\*\*\*\*

### 名稱 禁酒同盟會

事務所所在地 安達郡大山村大字大江字谷地七三番地

創設年月日 大正十二年一月四日

經營主體又ハ代表者 代表者 郡 政治郎

#### 沿革概要

大正十一年四月一日未成年者飲酒禁止法ノ施行ヲ見ルヤ

飲酒ノ害ヲ切實ニ痛感シ大正十二年一月四日本會ヲ創設セリ  
昭和三年五月十二日福島縣教化團體聯合會創設ヲ見ルニ及ヒ直ニ加盟セリ

#### 目的及事業種類

目的 聖訓ヲ奉體シ禁止ヲ實行スルヲ以テ目的トス

事業 一、禁酒ヲ確守シ之カ宣傳ニ努ムルコト

二、日本精神ノ發揮ニ努ムルコト

三、禁酒部落ヲ作り禁酒村ノ建設ニ努力スルコト

四、禁酒、教化ニ關スル印刷物ノ配付

#### 會員數及分布狀況

會員數 二〇一名

分布狀況 本村一四

#### 主ナル役職名並其氏名

##### 役員

會長 郡 政治郎

名稱 修養團富野支部

事務所所在地 伊達郡富野村大字舟生字清水六三三

創設年月日 大正十二年十一月二十六日

經營全體又ハ代表者 代表者 氏 家 正 直

沿革概要

大正十年九月十一日現支部長主唱ノ下ニ富野修養團ヲ組織大正十二年十一月二十六日財團法人修養團規定ニ依リ本支部ヲ創設シ同十三年一月六日支部設立承認ヲ得發會式ヲ舉行セリ

目的及事業種類

目的 修養團精神即チ流汗鍛鍊、同胞相愛ノ實現並ニ普及

- 一、修養會、講演會、講習會ノ開催
- 二、早起修養會、國民體操會ノ實施
- 三、月報ノ發刊並俗謡ノ改善
- 四、優良團員ノ表彰

副會長 菊地 傳

同 安田市之助

同 鈴木 修

職員

幹事 菊地 平重 鈴木 兵法

伊藤 彌太郎 大内 傳造

安田市之助 國分 米藏

佐藤 榮治 角田 寅松

佐々木 平一

維持方法

特志家ノ寄附及會費ニ依ル

昭和二年度決算額 歲入 一六、七七

昭和二年度決算額 歲出 一六、五一

昭和三年度決算額 歲入 一八、八六

\*\*\*\*\*

會員數及分布狀況

團員 三〇

准團員 一三〇

分布狀況 富野村一圓

主ナル役職名並其氏名

役員

支部長 氏 家 正 直

幹事長 氏 家 弘 善

幹事 鶴 卷 元 治

齋 藤 幸 助

齋 藤 要

阿 部 一 男

佐々木 儀 平

維持方法

團費徴收及寄附金等ニ依ル

昭和二年度決算額 歲入 六一、一九五

昭和二年度決算額 歲出 六二、五九五

昭和二年度決算額 歲入 五九、八五五

昭和三年度決算額 歲入 一四八、二七〇

\*\*\*\*\*

名稱 郡山生活改善實行會

事務所所在地 郡山市字堂前如寶寺内

創設年月日 大正十三年六月

經營全體又ハ代表者 代表者 保 森 覺 圓

沿革概要

戊申詔書、國民精神作興ニ關スル詔書ヲ奉戴シ冠婚葬祭ニ付虚禮虚飾ヲ避ケ質素ヲ旨トシ堅實ヲ崇ヒ從來ノ陋習ヲ改善スルヲ以テ目的トシテ大正十三年六月本會ヲ設立昭和三年五月十二日福島縣教化團體聯合會ニ入會

目的及事業種類

目的 聖訓ヲ奉戴シ冠婚、葬祭ノ虚禮虚飾ヲ廢シ從來ノ陋習ヲ改善スルヲ以テ目的トス

事業 一、冠婚葬祭ノ虚禮、虚飾ヲ廢シ從來ノ陋習ヲ改  
善ニ努ムルコト

一、日常生活ノ改善ヲ計リ質實剛堅ノ良風馴致ニ  
努ムルコト

會員數及分布狀況

會員數 五〇一名  
郡山市内一團ニ分布

主ナル役職名並其氏名

主事 保 森 覺 圓  
同 河 野 大 徹

維持方法

會員ノ豫出金ニ依ル

\*\*\*\*\*

名稱 大 沼 文 化 會

事務所所在地 國幣中社伊須美神社々務所内

創設年月日 大正十四年四月二十六日

經營主體又ハ代表者 代表者 寺田密次郎

沿革概要

由來本郡ハ地勢ノ關係上他地方ニ比較シ文化ノ程度遅々  
タルノ状態ニシテ教化の方面ニ至ツテハ何等統一的组织  
アラス、夙ニ地方有志ノ深慮シ來レル所ナリ然ル所大正  
十四年二月二十二日時到リ機熟シ郡内有志會合協議ノ結  
果現代文化ノ向上ヲ圖リ延テハ地方開發ニ貢獻スル爲メ  
會ヲ組織スルコトニ決定同年四月二十六日本會ヲ創立セ  
リ本會々員ハ郡内各種團體ノ幹部又ハ地方ノ有力者ナル  
ヲ以テ事業遂行上頗ル便宜ニシテ逐年所期ノ事業ヲ遂行  
隆盛ニ向ヒツツアリ

昭和三年五月十二日福島縣教化團體聯合會ニ加盟

目的及事業種類

目的 會津一市五郡ノ總鎮守國幣中社伊須美神社ヲ中  
心トシ會員相互ノ親睦ヲ圖ルト共ニ現代社會ニ貢

献スルヲ以テ目的トス

事業 一、國體ノ闡明、敬神崇祖ノ普及並思想善導及勤

儉獎勵普及ノ爲メ年數回各所ニ於テ巡回講演

會ヲ開催ス

二、地方衛生思想ノ普及

三、現代文化、思想ノ研究

四、青年子女ノ指導

五、圖書館ノ設置

六、風教ノ進歩改良

七、體育並武道獎勵

八、各種團體ト連繫、地方開發

會員數及分布狀況

一、會員數 百三十名  
口、分布狀態 大沼郡一團

主ナル役職名並其氏名

會長 寺田密次郎

副會長 長 峯 丹 治

同 白 井 榮 一

顧問 田 口 喜 孝

同 前 田 寅 三 郎

贊助員 大沼郡各町村長

幹事 岡 田 恒 吾

同 佐 治 虎 雄

維持方法

會費、寄附金其他ノ收入ニ依ル

昭和二年度豫算額 歲入 六二〇、〇〇〇

昭和二年度決算額 諒開中ニ付會合ヲナサス昭和三年度ニ繰入

昭和三年度豫算額 歲入 五三二、〇〇〇

歲出 五三二、〇〇〇

\*\*\*\*\*

名稱 平 禁 酒 會

事務所所在地 石城郡平町字四軒町二十番地  
創設年月日 大正十五年一月二十四日

經營主體又ハ代表者 **イ、經營主體 會員組織**

**ロ、代表者 缺 員**

沿革概要

經濟、道德、衛生、風紀等ノ點ヨリ觀察シテ禁酒ハ國家ニ對スル最大急務ナルヲ痛感大正十五年一月二十四日同志者相會シテ本會ヲ組織シ以テ今日ニ及フ

目的及事業種類

目的 禁酒勵行

事業 **イ、禁酒宣傳普及**

**ロ、教化事業團體ト提携**

**ハ、禁酒ニ關スル印刷物ノ刊行**

**ニ、禁酒ニ關スル講演、活寫眞會開催**

**ホ、其他目的達成ニ必要ナル事項**

會員數及分布狀況

會員數 二三五名

事務所々在地ヲ中心トシ石城郡一圓ニ最モ多シ

主ナル役職名並其氏名

會長、副會長共ニ死亡缺員

理事 馬場 豊次郎

同 鈴木 積善

同 穴戸 正勝

同 新田 目春松

維持方法

特志者ノ寄附ニ依ル

昭和二年度豫算額 歲入 八二、九五〇

昭和二年度決算額 同 八二、九五〇

昭和三年度豫算額 同 九六、〇〇〇

\*\*\*\*\*

名稱 自覺禁酒會

事務所々在地 石川郡淺川村大字根岸字明神畑七六

創設年月日 大正十五年二月十一日

經營主體又ハ代表者 代表者 江 田 勇

沿革概要

大正十五年二月十一日世人ノ多數飲酒ノ弊風ニ陥リツツアルヲ自覺其ノ害ニ依リ社會人ノ困窮益々甚シキヲ知り現代表者等相謀リ本會ヲ創立スルニ至レリ

目的及事業種類

**イ、目的 四海同胞ヨリ酒類ノ排除ヲ以テ目的トス**

**ロ、事業 一、酒害ノ宣傳**

**二、講演會開催**

**三、機關紙ノ發行**

會員數及分布狀況

**イ、會員數 三〇〇名**

**ロ、分布狀況**

石川郡淺川村、山橋村ノ一圓  
石川郡母畑村、山白石村、小鹽井村ノ一部  
東日川郡鮫川村、社川村、棚倉町ノ一部  
西白河郡小野田村、吉子川村ノ一部

主ナル役職名並其氏名

役員

會長 江 田 勇

副會長 江 田 國 治

同 須 藤 儀 助

同 小 針 啓 太 郎

同 矢 吹 勝 之 助

同 安 藤 保 造

同 佐 藤 清

同 水 野 助 治

同 江 田 龜 太 郎

資産(種目別)

一、基本金 三十四

一、器具物品 三十圓

昭和二年度決算額	歳入	一五〇、〇〇
	歳出	一五〇、〇〇
昭和二年度決算額	歳入	一五〇、〇〇
	歳出	一五〇、〇〇
昭和三年度決算額	歳入	一〇〇、〇〇
	歳出	一〇〇、〇〇

名稱 田村郡禁酒同盟三春禁酒會

事務所所在地 田村郡三春町字北町九番地

創設年月日 大正十五年六月二十日

經營主體又ハ代表者 代表者 佐藤利四郎

沿革概要

創立發起人橋本正夫ハ酒害ノ恐ルヘキヲ痛感シ大正十五年  
年初メヨリ禁酒會ノ創立ヲ企テ同志ノ糾合ニ努メ、二十  
名ヲ得ルニ及ヒ同年六月二十日設立ヲ見タリ  
昭和二年總會ノ決議ニ依リ婦人部、少年部ヲ設置ス

目的及事業種類

目的 會員ハ禁酒ヲ嚴守シ一般ニ其ノ要急ナルヲ宣傳普

及ヲ圖ルヲ以テ目的トス

事業 一、禁酒ニ關スル講演會ノ開催活動寫眞會開催

二、宣傳ビラ、ポスター等ヲ以テ宣傳ニ努ム

三、毎月禁酒貯金ノ勵行

四、禁酒ニ關スル書籍雜誌ノ購讀

五、其他目的達成ニ關スル事項

會員數及分布狀況

會員數 一二〇名

會員(男)六〇名 婦人部四〇名 少年部二〇名

分布狀況 會員ノ大部分ハ本町在住者ナリ

主ナル役職名並其氏名

役員

會長 佐藤利四郎

副會長 橋本正夫

同 佐藤良齊

名稱 湯野禁酒會

事務所所在地 伊達郡湯野村字導專十六番地

創設年月日 大正十五年十月三十一日

經營主體又ハ代表者 長谷部 喜八郎

沿革概要

大正十四年來本村ニ於ケル眞面目ナル青年等村内不動寺  
ニ會合シ毎月一回乃至二回修養座談會ヲ催シ來リシカ之  
ヲ擴張シテ一面會員各自修養ニ資スルト共ニ社會一般ノ  
教化ノ目的ヲ以テ本會ヲ設立シ現在ニ及フ

目的及事業種類

目的 酒飲ノ弊風ヲ矯正シ會員相互ノ克己修養ヲ圖リ社

會ノ健全ナル發達ヲ期スルヲ以テ目的トス

事業 書籍雜誌講讀、修養講演會、印刷物配布宣傳、活

動寫眞會開催等

理事	森田 信一
同	渡邊 喜一郎
同	阿部 久太郎
同	平田 善一郎
同	郡 司 明
職員	
事務員	橋本 正夫

資産(種目別)

一、基本金	三十五圓
二、書籍及印刷物	三十圓
三、娛樂機關	十圓
合計	七十五圓

維持方法

寄附金、會費等ニ依ル

昭和二年度決算額	歳入	三〇、〇〇
	歳出	三〇、〇〇
昭和二年度決算額	歳入	二六、五〇
	歳出	二五、〇〇
昭和三年度決算額	歳入	三〇、〇〇
	歳出	三〇、〇〇

會員數及分布狀況

會員數 一八名

村内一圓ニ分布

主ナル役職名並其氏名

會長 長谷部喜八郎  
 副會長 櫻井一郎  
 幹事 古山金作  
 同 長谷部傳

維持方法

會費、寄附金

昭和二年度豫算額 歲入 一六、八〇

昭和二年度決算額 歲入 二四、五六

昭和三年度豫算額 歲入 一九、二〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

村費補助 十四(二年度)

\*\*\*\*\*

名稱 修養團神谷村支部

事務所々在地 石城郡神谷尋常高等小學校内

創設年月日 大正十五年十一月二十四日

經營主體又ハ代表者 會員組織 代表者 芳賀正義

沿革概要

大正十五年十一月二十四日本村教化事業ノ一端トシテ郡山市修養團支部長ヲ招聘講演會ヲ開ク

目的及事業種類

目的 流汗鍛鍊、同胞相愛ノ二大主義ヲ本領トシ質實剛健總努力、總親和ヲ以テ國民精神ノ作興ヲ圖リ理想郷建設ヲ以テ目的トス

事業 一、精神修養一夜講習會開催

二、思想善導講演會開催

三、社會奉仕作業ノ實踐

四、地方風教ノ改善向上ヲ企圖スルコト

五、教化印刷物ノ發行

會員數及分布狀況

會員數 四五名

分布狀況 本村一圓

主ナル役職名並其氏名

役員

顧問 佐藤久三郎  
 澤田榮  
 支部長 芳賀正義  
 評議員 酒井漣 松本喜作  
 片寄保 草野眞三  
 幹事 山口市作 志賀莊一 長保高  
 箱崎惣治 國井貢 高木清志  
 今川利一 志賀兼太郎 中野四郎

維持方法

團員相互ノ負擔ニシテ其ノ都度平等額ヲ徴收ス

昭和二年度豫算額 歲入 五三、〇〇〇

昭和二年度決算額 歲入 四六、一〇〇

昭和三年度豫算額 歲入 四五、〇〇〇

\*\*\*\*\*

名稱 國本社郡山支部

事務所々在地 郡山市字堂ノ前如寶寺内

創設年月日 大正十五年十二月

經營主體又ハ代表者 代表者 支部長 大森吉彌

沿革概要

國民精神作興ニ關スル詔書ヲ奉戴シ國民精神ヲ涵養振作シ國本ヲ固クシ智徳ノ並進ニ努メ國體ノ精華ヲ顯揚スルヲ目的トスル國本社ノ趣旨ニ共鳴シ郡山支部ヲ設立セリ

目的及事業種類

目的 國民精神作興ニ關スル詔書ヲ奉戴シ國民精神作興

ヲ圖ルヲ以テ目的トス

事業 一、國家並國民生活ニ關スル諸般ノ研究

二、德行ノ獎勵

三、講演會開催

會員數及分布狀況

會員數 二六〇名

分布狀況 郡山市、安積郡、安達郡、田村郡ノ一市三郡ニ及フ

主ナル役職名並其氏名

役員

支部長 大森 吉彌

評議員 橋本 萬右衛門

外五十一名

職員

幹事 大方 倫助 上條 元藏

津田 達造 日下 猛

保森 覺圓 松山 政治

幹事 天野 助治 鈴木 春治

橋本 鐵吉 津野 喜七

小口 伸治 根本 貞治

高瀬 助三郎 佐藤 千代吉

維持方法

經費ハ本社ノ補助ト會員ノ離出金ニ依ル

\*\*\*\*\*

名稱 華 鬘 會

事務所々在在 石城郡夏井村大字山崎如來寺内

創設年月日 昭和二年一月二十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 鈴木 積善

沿革概要

昭和二年一月二十五日本會ヲ設立

昭和三年五月十二日福島縣教化團體聯合會ニ加盟

目的及事業種類

同 二〇圓 昭和三年度

\*\*\*\*\*

名稱 善性寺日曜學校

事務所々在在 安達郡二本松字烏谷二ノ十一番地

創設年月日 昭和二年一月三十日

經營主體又ハ代表者 代表者 漆 間 清明

沿革概要

經營者ハ教育ニ從事スルコト多年其間年少者ノ敬神崇祖

觀念ノ日ニ月ニ薄ラクヲ見教員退職ト同時ニ佛教徒ノ一

員トシテ此等無垢ノ兒童ニ敬虔ナル宗教心ヲ培ヒ圓滿ナ

ル人格ヲ完成セントシ昭和二年一月三十日學校ヲ開設セ

リ

目的及事業種類

目的 本校ハ佛陀ノ聖訓ニ從ヒ兒童ノ靈的發展並德性涵

養ヲ目的トシ宗教的教育的保護的ノ教化機關ナリ

目的 社會教化並社會事業ヲナスヲ以テ目的トス

事業 一、講演會ノ開催

二、夏期學校ヲ開催シ兒童教育

三、一般教化、社會事業

會員數及分布狀況

會員數 四名

主ナル役職名並其氏名

理事 阿部 崇順

同 間野 尊如

同 久野 顯榮

同 鈴木 積善

昭和二年度決算額 歳入 一五〇、〇〇

昭和二年度決算額 歳出 一五〇、〇〇

昭和三年度決算額 歳入 一五〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

夏井村ヨリ補助金 二〇圓 昭和二年度



事業 一、日曜定期講演

二、國民體操ノ實行

三、主ナル臨時集會左ノ如シ

- A 花 祭
- B 夏期學校
- C 近郊遠足
- D 音樂會

會員數及分布狀況

在籍兒童 二五二名

男 一五五名

女 九七名

主トシテ小學兒童

主ナル役職名並其氏名

主任 漆 間 清 明

補助員 漆 間 芳 枝

同 漆 間 慶 雄

資産(種目別)

一、器具 三七六、四〇〇

維持方法

經營者自辨ニ依ル

的トス

事業 一、隔月一回懇談會ヲ開催シ相互ノ聯絡ヲ圖ル

二、社會事業ニ關スル各種ノ調査研究ヲナス

三、社會事業ニ關スル必要事項ヲ考究實施ス

會員數及分布狀況

會員數 九團體

目下加盟團體左ノ如シ

郡山職業紹介所

郡山人事相談所

國本社郡山支部

安積佛教慈善會

郡山生活改善實行會

郡山共濟事業助成會

郡山婦人會幼兒保育所

郡山子守學校

郡山調育學校

主ナル役職名並其氏名

會長 根 本 貞 治

職員 幹 事 松 山 政 治

同 長 久 介

維持方法

會員負擔金寄附金等ニ依ル

昭和二年度決算額 歲出 四四一、三五〇

昭和三年度決算額 歲入 五二、二五〇

\*\*\*\*\*

名 稱 郡山社會事業懇談會

事務所々在地 郡山市字堂前如寶寺内

創設年月日 昭和二年六月二十四日

經營主體又ハ代表者 代表者 根 本 貞 治

沿革概要

昭和二年六月二十四日市内社會事業關係者如寶寺ニ會シ

本會ヲ創立

昭和三年五月十二日福島縣教化團體聯合會ニ入會

目的及事業種類

目的 本市内社會事業關係者ノ協力提携ヲ俟テ社會事業

並社會教化事業ノ健全ナル發達ヲ期スルヲ以テ目

昭和二年度豫算額 歲入 二四〇

昭和二年度決算額 歲出 二四〇

昭和三年度豫算額 歲入 二四〇

歲出 二四〇

\*\*\*\*\*

名 稱 福島縣禁酒同盟

事務所々在地 石城郡平町字四軒町二十番地

創設年月日 昭和三年四月九日

沿革概要

禁酒運動ノ必要上豫テヨリ計畫セシニ昭和三年四月九日

ヲ以テ東京ニ於テ全國禁酒大會開創ノ機ニ際シテ同盟設

立ヲ爲シタリ

目的及事業種類

イ、目的 禁酒ノ普及宣傳ヲ圖ルヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、教化事業ノ聯合提携ヲ圖ルコト

二、禁酒ノ宣傳普及ニ努ムルコト

三、其他目的達成上必要ナル事項

會員數及分布狀況

本同盟團體數ハ目下 四一  
分布狀況左ノ如シ

信夫郡	一	安達郡	二	伊達郡	一
大沼郡	一	南會津郡	四	北會津郡	六
河沼郡	一	耶麻郡	七	石川郡	四
田村郡	五	相馬郡	四	東白川郡	一
岩瀬郡	一	石城郡	一	郡山市	一

主ナル役職名並其氏名

副會長 渡邊 一雄  
同 菱田 峯次郎

維持方法

特志者ノ寄附ニ依ル

\*\*\*\*\*

名稱 慶徳佛教慈善會

事務所所在地 耶麻郡慶徳村大字豊岡字今町二八八番地

創設年月日 昭和三年七月九日

經營主體又ハ代表者 代表者 伊藤 棊心

沿革概要

明治四十三年十一月組織耶麻郡佛教慈善會ハ其ノ經營甚  
 タ不振ナリシカ大正七年五月支部設置ニ伴ヒ本會ハ第八  
 支部ニ囑シ午後同會ハ有名無實ノ狀況ナリキ  
 昭和三年七月同會ノ會則ヲ變更スルニ及ヒ全然分離本會  
 ヲ創設スルニ至レリ

目的及事業種類  
 目的 詔書、勅語ノ彙訓ヲ奉體シ人心ノ健全淨化ヲ目的  
 トス

事業 一、釋放者保護  
 二、一般教化事業

會員數及分布狀況

目下會員募集中

主ナル役職名並其氏名

役員

臨時會長 伊藤 棊心

職員 會計主任 土田 仙乘

資産(種目別)  
 基本金 五五一、四三〇

維持方法  
 基本金利子、寄附金等ニ依ル

北 陸

富山縣佛教教化團體聯盟 (外一團體)  
 石川縣教化事業聯合會 (外一〇團體)

名稱 富山縣佛教教化團體聯盟

事務所所在地 富山縣社會課

創設年月日 大正十三年六月十三日

經營主體又ハ代表者 代表者 中村 寬澄

沿革概要

富山縣下ニ於ケル佛教寺院ノ經營ニ係ル教化事業ノ統一促進ヲ期センタメ大正十三年伊藤喜八郎知事タリシトキ縣下佛教教化ノ調査ヲ遂ケ其ノ經營者ノ集會ヲ縣會議事堂ニ求メ右合同ノ決議トシテ佛教教化團體聯盟ノ結成ヲ要望シタルニヨリ大正十三年六月十三日縣下佛教教化事業關係者ヲ以テ之ヲ創立セリ

目的及事業種類

本聯盟ハ佛教ノ本旨ニ基キ縣下各都市ニ於ケル佛教聯合會ノ經營ニ係ル各種教化事業ノ連絡統一並ニ其ノ發達ヲ促進スルヲ以テ目的トス

一、各都市佛教聯合會相互ノ連絡統一並ニ其經營スル教

化事業ノ促進ニ關スル事項

- 二、教化事業ニ關スル講習會又ハ講演會ノ開催
- 三、教化事業ニ關スル行政翼賛
- 四、其他理事會ニ於テ必要ト認ムル事項

會員數及分布狀況 富山縣下一圓

上 新 川 郡	一 二 四	中 新 川 郡	一 五 七
下 新 川 郡	一 八 三	婦 負 郡	一 四 五
射 水 郡	三 〇	氷 見 郡	三 五
東 礪 波 郡	一 四 四	西 礪 波 郡	一 六 九
富 山 市	一 〇 八	高 岡 市	八 二
合 計	一、一〇五		

主ナル役職名並其氏名

常務理事	中 村 寬 澄
同	廣 橋 了 以
同	細 川 憲 壽
同	飛 鳥 寬 徹
同	惠 美 安 靈

理事 山口 德乘  
 同 小柳 三雄  
 同 昇塚 本夏  
 同 安藤 專哲  
 外 十二名

維持方法

各都市教化團體ノ負擔金ニ依ル

昭和二年度決算額 一、一九七、一五

昭和二年度決算額 二六九、〇九

昭和三年度決算額 一、一五四、八八

獎勵金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)

金一百圓 内務省ヨリ

金一百圓 富山縣ヨリ

金一百圓 中央教化團體聯合會ヨリ

金一百圓 富山縣ヨリ

\*\*\*\*\*

名稱 富山縣神道教化聯合會

事務所所在地 富山縣社會課内

創設年月日 昭和三年八月二十六日

經營主體又ハ代表者 代表者 井上 勘吉

沿革概要

昭和三年六月二十日富山縣社會課長富山市内各教派教會所ヲ巡視セラレ聯合會組織ニ付テ懇談セラルル處アリ結果七月十日富山市内金光教々會所ニ縣下各教々師集合具體案ヲ協議ス

爾來會員募集ニ着手シ八月二十六日設立ス

十二月二十二日役員會ヲ開キ會員倍加ノ決議ヲナシ基本

金募集ノ件ヲ附議ス

目的及事業種類

イ、目的 惟神ノ大道ニ基キ國民道德ヲ涵養シ社會風教

ノ改善ニ資シ併セテ縣下ニ於ケル斯業ノ連絡統一並

ニ其發達ヲ促進スルヲ目的トス

ロ、事業

一、社會教化事業ニ關スル講習講演會等ヲ開催スルコト

二、其他目的ヲ達成スルニ必要ト認ムル事項

會員數及分布狀況

本會々員數 百五十三名

其分布狀況ハ左ノ如シ

富山 市	五十八名	婦 負 郡	三名
高 岡 市	三十二名	射 水 郡	二十八名
上 新 川 郡	九名	水 見 郡	六名
中 新 川 郡	九名	西 礪 波 郡	四名
下 新 川 郡	四名	東 礪 波 郡	〇名

主ナル役員名並其氏名

常任理事 井上 勘吉  
 同 松原 政次郎  
 理事 戸田 政義  
 同 佐伯 行道  
 同 齋藤 英二  
 同 植野 松太郎

維持方法

會員ヨリ騰出スル會費及寄附金ニヨル

獎勵金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)

富山縣知事ヨリ獎勵金トシテ下付

金五十圓也 (昭和四年三月)

\*\*\*\*\*

名稱 石川縣教化事業聯合會

事務所所在地 石川縣廳社會課

創設年月日 昭和二年六月

經營主體又ハ代表者 一、經營主體 會員 組織

ロ、代表者 知事 中山佐之助

沿革概要

昭和二年六月財團法人中央教化團體聯合會長山川健次郎一行來縣セラレタルニ際シ縣下教化事業關係者ヲ召集シテ協議會ヲ開催シタルニ縣聯合會設立ノ必要ヲ認メ茲ニ

本會ヲ設立スルニ至レリ、同時ニ會則ヲ制定シ爾來教化事業ニ關係アルモノノ連絡提携ヲ圖レリ

目的及事業種類

イ、目的 縣下ニ於ケル教化事業ニ關係アル團體又ハ個人ノ連絡提携ヲ圖リ以テ教化事業ノ發達普及ヲ促進スルニアリ

ロ、事業 一、教化事業ノ聯合提携ヲ圖ルコト

二、教化事業ノ獎勵助成ヲナスコト

三、教化ニ關スル講演會活動寫眞會ヲ開催スルコト

四、教化ニ關スル印刷物ヲ發行スルコト

會員數及分布狀況

會員數

郡佛教會、教職員、神職、町村長等約百名

分布狀況

縣下全圖

主ナル役職名並其氏名

役員	會長	中山 佐之助
	副會長	猪俣 喜藤
	幹事長	城 森 省 三
	幹事	中 田 邦 造
		打 尾 忠 治
		杉 森 廣 吉
		東 重 知
		去 田 佐 六
		福 田 喜 作

資産(種目別)

特別ノ資産ヲ有セズ

維持方法

寄附金、補助金ニヨル、

昭和二年度豫算額 豫算編成セズ

昭和三年度豫算額 金三百圓

獎勵金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)

昭和三年度

中央教化團體聯合會

二百圓

石川縣

百圓

備考

事業ヲ計畫ノ都度縣費ヨリノ補助ヲ受ケテ遂行セルヲ以テ本會ノ經費ヲ用キサル場合多シ

尙事業ハ主トシテ縣ト聯合シ又ハ郡下ノ團體ト聯合主催ヲナスヲ以テ經費モ少額ニシテ事業ヲ相當遂行シ得ルナリ

\*\*\*\*\*

名稱 石川縣河北郡佛教會

事務所所在地 河北郡津幡町德願寺内

創設年月日 大正九年十月二十二日

經營主體又ハ代表者 會長 糺 地 智 覺

沿革概要

大正九年九月十八日歐州戰後ノ思想界ハ急激ニ惡化シ社

會民心ノ動搖ヲ來サムトシツアルニ鑑ミ教育勸語並戊申詔書ノ趣旨徹底ニ努メ其方法ヲ協議シタル結果其ノ具體的方法トシテ河北郡佛教會ヲ組織スルコトニ決シ同年十月二十二日之ヲ設立セリ

目的及事業種類

本會ハ佛教ノ教義ニヨリ國民道德ヲ鼓吹シ思想善導ニ努ムルヲ以テ目的トス

イ、教化事業

ロ、社會事業

ハ、其他必要ト認ムル事業並ニ研究調査

會員數及分布狀況

會員數 百二十三名

郡内寺院住職

主ナル役職名並其氏名

會長	糺 地 智 覺
理事	武 田 連 證
	樋 口 得 圓
	洞 庭 清 次 郎

維持方法

會費、寄附金補助金ノ收入ニヨル

昭和二年年度豫算額 四五〇、〇〇

昭和二年年度決算額 三二七、〇〇

昭和三年年度豫算額 四〇〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)

補助金昭和三年度大谷派金澤教務所ヨリ金一百圓

\*\*\*\*\*

名稱 石川郡佛教會

事務所所在地 石川縣石川郡松住町字古城町二十四番二地

創設年月日 大正十二年七月三十日

經營主體又ハ代表者 石川郡佛教會

沿革概要

大正十二年七月組織シ郡内各宗派寺院僧侶ヲ會員トシ國

民精神作興ニ關スル詔書ノ御趣旨ヲ普及徹底ニ努メ専ラ宗教的理知ヲ體得セシメ以テ民衆教化ノ善導ニ努ムル目的ヲ以テ組織セリ

大正十五年六月會則一部ヲ改正シ各町村ニ支部ヲ置キ一般民衆ヲ會員トシ自發的活動ヲ促シ其ノ成果ヲ舉クルニ努メツツアリ

目的及事業種類

イ、目的 民衆教化ノ善導ニ努ムル目的トス

ロ、事業 講習、講演會ヲ開催シ他事業ニ關スル施設等ヲ援助スル事

會員數及分布狀況

維持會員 (寺院僧侶) 百名

通常會員 (郡内各町村) 現住 千五百名

主ナル役職名並其氏名

會長 海野秋千代

副會長 林與三郎

創設年月日 大正十三年一月九日

經營主體又ハ代表者 代表者 橋田乙治郎

沿革概要

大正十二年十一月國民精神作興ニ關スル詔書ノ御煥發アラセラルルヤ、日常尊崇惜カサル日吉神社ヲ中心トシテ國民道德ノ根底タル尊皇敬神ノ大精神ヲ涵養シ以テ實質剛健ナル氣風ヲ馴致シ上ハ洪大ナル御聖旨ニ副ヒ奉リ下赤子ノ誠ヲ致サンカタメ、氏子内各町ノ代表者協議シ本會ヲ設立セリ

目的及事業種類

イ、目的 聖訓ヲ奉體シ國民精神ノ作興ヲ圖ルヲ以テ目的トス

ロ、事業

- 一、教育勅語戊申詔書並ニ國民精神作興ニ關スル詔書ノ奉讀會ヲ開催スル事
- 二、伊勢神宮權原神宮桃山御陵等ノ參拜團ヲ組織スル

理事 宮本義方

中村法順

英圓爾

春秋庵

德野俊

維持方法

會員負擔金寄附金獎勵金ノ收入ニ依ル

昭和二年年度豫算額	歳入	二、四一八、〇〇
	歳出	二、四一八、〇〇
昭和二年年度決算額	歳入	三六六、五五
	歳出	三〇二、六五
昭和三年年度豫算額	歳入	二、三六六、〇〇
	歳出	二、三六六、〇〇
獎勵金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)		
石川縣補助金		八十圓

名稱 日吉會

事務所所在地 石川縣小松町字本折町二十一番地

\*\*\*\*\*

コト

- 三、朝詣テヲ行フコト
- 四、國民精神作興ニ關スル講演會ヲ開催スルコト
- 五、思想善導ニ關スル映畫ヲ公開スルコト
- 六、其ノ他前條ノ目的達成上、必要ト認メラルル事項

會員數及分布狀況

一、會員數	千五百五十八名
二、分布狀況	
西町	百五十名
寺町	百三十六名
本銀治町	五十名
塗師屋町	五十三名
本大工町	二十二名
大文字町	百九十九名
龍助町	百五十七名
八日市町	百三名
東町	百七十九名
土居原町	二百十四名
本折町	百九十一名

八日市町地方 百四名

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

總裁	小松町長	高橋秀
會長	橋田乙治郎	
副會長	金見茂	
理事(會計)	堀川理吉	
理事(庶務)	笠永次吉	
同	小泉榮作	
同	筒井三昭	
同	吉川浩七	
同	太田與一	
同	大島竹次郎	
同	高橋長平	
同	安達友亮	

ロ、職員

評議員

岩谷源二

外四十九名

資産(種目別)

一、基本金	百五十圓
二、器具其ノ他物品	五百二十八圓
三、印刷物	百五圓
合計	七百八十三圓

維持方法

會費氏子離出金寄附金及其他ノ收入ニヨル

昭和二年度決算額	歳入	四六七、四〇
	歳出	四四七、九二
昭和二年度決算額	歳入	四一三、八三
	歳出	四一三、八三
昭和三年度決算額	歳入	四八二、〇〇
	歳出	四八二、〇〇

\*\*\*\*\*

名稱 石川縣能美郡佛教會

事務所々在 能美郡小松町字丸ノ内町一番地

創設年月日 大正十三年三月十五日

經營主體又ハ代表者

イ、經營主體 會員組織

ロ、代表者 理事長 多田豊壽

沿革概要

大正十二年十一月十日畏クモ國民精神作興ニ關スル詔書ノ煥發セラルルヤ、之カ御趣旨ノ徹底ヲ圖ルヘク其ノ方法ニツキ時ノ郡長郡内各町村長ヲ會シテ諮問セラレタルニ郡民ニ質實剛健ノ風ヲ馴致スルニハ此等ヲシテ今一層確固タル宗教的の信念ヲ持セシメルニアリトノ意見期セスシテ合致シ此處ニ一同宗教家ノ活動ニ待タンコトヲ所希シタリ偶々之ト時ヲ同ウシテ郡内眞宗大谷派各寺院住職モ亦入會シテ之カ御趣旨ノ徹底方法ヲ講セシニ由リ此ノ際更ニ佛教ノ教義ニ依リテ思想ノ善導ニ努メ國民道德ヲ

鼓吹シ以テ御趣旨ニ答ヘ奉ランコト最モ緊要ノコトタリ  
ト衆議一決シ茲ニ官民僧俗相提携シテ大正十三年三月十  
五日本會ヲ創立セリ爾來年々遂フテ其ノ趣旨ニ共鳴シ入  
會スルモノ多キヲ加ヘ施設事業亦着々進捗シテ効果ヲ上  
ケ以テ今日ニ至レリ設立當初即チ大正十三年三月十五日  
能美郡長松本源祐會長ノ任ニツキ同年八月他ニ轉セラ  
ルヤ後任井村貞吉其ノ後ヲ受ケ大正十五年三月十五理事  
制度ト改メテ多田豊壽理事理事長トナリ本會ヲ代表シテ  
現在ニ及ヘリ

目的及事業種類

- イ、目的 佛教ノ教義ニ依リ國民道德ヲ鼓吹シ思想善導  
ニ努ムルヲ以テ目的トス
- ロ、事業 一、思想善導上重要ナル問題ヲ審議シ其ノ決  
議ノ實行ニ努ムルコト  
二、講演會及講習會ヲ開催スルコト  
三、社會教化ニ關スル施設並ニ社會事業ヲ經

營又ハ援助スルコト

四、其ノ他必要ト認メタル事項

會員數及分布狀況

會員ノ種類ヲ分チテ四トシ其ノ總數

普通會員	一〇、八六九名
維持會員	一一六名
特別會員	二九五名
名譽會員	三八名
合計	一一、三一八名

ニシテ其ノ分布ハ郡内二十五ヶ町村一四ニ及フ即チ一町村最少  
七十名ヨリ最多千五百餘名ニ及ヒ平均一町村四百五十餘名ナリ  
尙各町村ニハ夫々支部ヲ置ク

主ナル役職名並其氏名

- イ、役員
- 理事長 多田 豊壽
- 専務理事 北村 與三吉
- 理事 橋 惠澄 同 渥美 芳啓

會員ノ會費、寄附金、獎勵金及ヒ其ノ他ノ收入ニヨル

昭和二年度豫算額	歳入	六、三〇五、〇〇
	歳出	五、一三二、二八
昭和二年度決算額	歳入	四、九一九、六四
	歳出	七、二七五、〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	七、二七五、〇〇
	歳出	七、二七五、〇〇
獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)		
昭和二年度	東本願寺獎勵金	二百圓
	内務省助成金	一百圓
同	東本願寺獎勵金	二百圓

\*\*\*\*\*

名稱 江沼郡佛教會

事務所所在地 江沼郡大聖寺町字馬場

創設年月日 大正十四年八月二十九日

經營主體又ハ代表者 會長 出雲路現祐

沿革概要

國民精神作興ニ關スル詔書ヲ奉體シ國民道德ヲ鼓吹シ思

資産(種目別)

一、積立金	八百圓
二、婦人教化事業基金	七百圓
三、印刷物	二百圓
合計	千七百圓

維持方法

理事	能部 俊英	理事	滋野 行圓
同	既 巧	同	押野 了雄
同	高橋 秀	同	柳田 岩松
同	小林 脩藏		
監事	大垣 圓了	監事	永井 伊助
顧問	渥美 契芳	顧問	上杉 文秀
同	高木 勇	同	神田 重義
評議員	四十五名		
書記	石田 利吉	書記	中田 伊三郎
同	國田 清松		



想善導ニ努ムルノ目的ヲ以テ郡内各宗派ノ寺院住職町村長ト協議ヲ遂ケ大正十四年八月會則ヲ協定シ本會ヲ創設スルニ至レリ

目的及事業種類

- 一、目的
  - イ、思想善導上重ナル問題ヲ審議シ其ノ實行ニ努ムルコト
  - ロ、講演會及講習會ヲ開スルコト
  - ハ、社會教化ニ關スル施設並社會事業ヲ經營又ハ援助スルコト
  - ニ、其ノ他必要ト認メタル事項
- 二、事業ノ種類
 

夏期大學、講演會、活動寫眞會、會報發刊、郡内各町村ノ支部總會、自治會、男女青年團、其ノ他各種團體主催ノ會合ニ講師ヲ無償派遣スルコト、總會ニ於テ死亡會員ノ追弔法會ヲ行フコト、日曜學校ヲ援助スルコト

會員數分布狀況

一、會員數  
 特別維持 三五五人  
 通常 六、四〇〇人

主ナル役職名並其氏名

會長	專光寺住職	出雲路現祐
副會長	大聖寺町々長	西村友幾
顧問	專稱寺住職	河崎宗良
顧問	願成寺住職	龍山嚴雄
同	願成寺住職	萩生瑞智
主事		平田庄八

其ノ他評議員ハ町村長七名僧侶十名理事ハ各町村長、各寺院住職トス

資産(種目別)

郵便貯金六百七十六圓五十八錢  
 (基金造成ノ目的ヲ以テ目下寄付金五千圓募集中)

維持方法

會員ノ會費及資産ヨリ生スル收入  
 昭和二年度豫算額 三、三二四、〇〇  
 昭和二年度決算額 二、八八五、九〇  
 昭和三年度豫算額 八、〇三〇、〇〇(内寄附金五千圓ヲ含ム)  
 獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)  
 昭和二年度  
 内務省助成金 一百圓  
 大谷派本願寺助成 金二百圓

名稱 鳳至郡佛教會

事務所所在地 鳳至郡輪島町宇河井町財團法人鳳至郡自治會内

創設年月日 大正十五年四月二十七日

經營主體又ハ代表者 代表者 高柳恒榮

沿革概要

大正十五年一月十三日當時ノ鳳至郡長小石喜代造ハ佛教會ヲ創設シテ郡内各宗各寺共力提携シ團體ノ結力ニヨリ思想ノ善導ニ努ムヘク輪島町並附近村落寺院ヲ招致シテ此旨話セル處皆同感ノ事トテ直チニ衆議一致シ發起人ヲ承諾セルニ因リ諸準備ヲ了ヘ四月二十七日輪島男兒校ニ於テ發會式ヲ舉ケ同時ニ役員ヲ選舉シテ組織全ク成リシモ同六月三十日郡役所ノ廢止ニ因リ會則第六條ニ基ク即チ會長ハ鳳至郡長ニ囑託スノ條項消滅シ副會長、旭寬會長ヲ代理シ會務ヲ處理ス又翌昭和二年四月十二日評議員ニ議決セラレ同時ニ河原田村高柳恒榮氏同日理事ニ選任尙ホ理事長ニ互選セラレ就任現今ニ及フ

目的及事業種類

一、目的 本會ハ佛教ノ教義ニ依リ國民道德ヲ鼓吹シ思想善導ニ努ムルヲ目的トス

口、事業 一、思想善導上重要ナル問題ヲ審議シ其決議ノ實行ニ努ムルコト

二、講演會及講習會ヲ開催スルコト

三、社會教化ニ關スル施設並ニ社會事業ヲ經營又ハ援助スルコト

四、其ノ他必要ト認メタル事項

會員數及分布狀況

一、會員數

維持會員 五三

通常會員 五六三

特別會員 三五

總計 六五一

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

理事 高柳恒榮 山吹彰憲

竹内金勇 盛一英

日吉宗能 阿岸峯照

稻垣禪戒 烏毛祐信

泉口竟了 松岡謙讓

理事 廣澤隆雄 小西隨明

囑託書記 多端政喜 中谷治八

維持方法

會員ノ離金、寄附金、補助金、獎勵金及其他ノ收入ニ因ル

昭和二年度豫算額 歲入 一、一八七、〇〇

昭和二年度決算額 歲入 三、八三、六五

昭和三年度豫算額 歲出 四、六八、六六

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

昭和二年八月六日事業獎勵金トシテ金一百圓鳳至郡自治會ヨリ

同年十月十八日夏季大學補助金トシテ金八十圓石川縣聯合佛教會ヨリ

會ヨリ

\*\*\*\*\*

名稱 鹿島郡佛教會

事務所所在地 鹿島郡七尾町字所口元郡役所官舎内

創設年月日 大正十五年五月十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 富樫瑞昭

沿革概要

大正十五年五月十五日七尾町光徳寺ニ於テ發會式ヲ舉行シ本會ヲ創立シテヨリ以來毎年名士ヲ招聘シテ講演會講習會又ハ活動寫眞會ヲ開催スルコト枚舉ニ遑アラス思想善導ニ關シ多大ノ効果ヲ擧ケ今日ニ至ル、

目的及事業種類

イ、目的 佛教ノ教義ニ依リ國民道德ヲ鼓吹シ思想善導ニ努ムルヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、思想善導上重要ナル問題ヲ審議シ其ノ決議ノ實行ニ努ムルコト

二、講演會及講習會ヲ開催スルコト

三、社會教化ニ關スル施設並社會事業ヲ經營又ハ援助スルコト

又ハ援助スルコト

會員數及分布狀況

特別會員 甲 百十三名

維持會員 百五十名

普通會員 四千二百六十六名

主ナル役職名並其氏名

會長 富樫瑞昭

副會長 白藤定祐

理事 高僧光麟

能登海解

杉原宗英

中畠心學

須原文吉

三宅雄次郎

瀧澤淨雲

豊原智洞

藤澤篤

戸島鐵夫

澤村住太郎

維持方法

會員ノ會費又ハ篤志者ノ寄附金ヲ以テス

昭和二年度豫算額 歲入 二、七七八、〇〇

昭和三年度豫算額 歲入 二、七五一、〇〇

\*\*\*\*\*

名稱 金澤市佛教會

事務所所在地 金澤市廣坂通 金澤市役所

創設年月日 大正十五年七月二十六日

經營主體又ハ代表者 會長 金澤市助役 吉川 一太郎

沿革概要

時局ニ鑑ミ市内各宗派住職相寄り大正十五年七月二十六日創立ス

目的及事業種類

イ、目的 佛教ノ教義ニ依リ國民道德ヲ鼓吹シ社會共存

ノ實ヲ舉クルヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、教化事業

一、社會事業

會員數及分布狀況

一、維持會員(寺院) 一四六

一、特別會員 四二

一、通常會員 五〇四

會員ハ金澤市一圓

主ナル役職名並其氏名

總 裁	金澤市長	相 良 步
會 長	金澤市助役	吉川 一太郎
常務理事	金澤市主事	村上 貞一
理事	三輪谷現隨	同 泉 城澄
同	上野興仁	同 伊井野天眞
同	増田雪巖	同 刑部榮學
同	吉田善堂	同 内田倫堂
同	飯田惠音	同 三原本董
同	河合智晃	同 吉川俊岳
同	石原堅正	

維持方法

會費、補助金、寄附金其他ノ收入ニ依ル

昭和二年度豫算額 歳入 三、二六〇、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 一、〇三六、五三

昭和三年度豫算額 歳入 八〇二、三三

歳出 一、四七七、〇〇

奨励金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

市補助 昭和二年度 一三〇、〇〇〇

市補助 昭和三年度 二〇〇、〇〇〇

\*\*\*\*\*

名稱 珠洲郡佛教會

事務所所在地 珠洲郡飯田町(珠洲支廳内)

創設年月日 大正十五年八月三日

經營主體又ハ代表者 會長 梶 北 涯

沿革概要

宗教ハ深ク國民ノ内的生活ヲ支配シ宗教家ノ活動ハ國民

精神ノ上ニ重大ナル影響ヲ及ホスコトハ屢々ヲ要セルカ

各郡市ニ於テハ教化事業、社會事業ヲ目的トスル郡佛教

會カ設立セラレ其ノ基礎漸ク固ク實施ノ事業モ相當數フ

ルモノアルニ至レルカ本郡ニハ未ク之カ設立ナキヲ遺憾

トシ珠洲支廳長小石喜代造氏ハ之カ設立ニ關シ各寺院代

表者ニ書翰ヲ致シ出席ヲ求メ設立ヲ懇懇シ大正十五年八

月三日組織シ會則ヲ議定設立シ各町村ニ支部ヲ設ケ同年

十一月十九日發會式ヲ舉ケ今日ニ至ル

目的及事業種類

イ、目的 佛教ノ教義ニ依リ國民道德ヲ鼓吹シ思想善導

ニ努ムルヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、思想善導上必要ナル問題ヲ審議シ決議ノ

實行ニ努ムルコト

二、講演會及講習會ヲ開催スルコト

三、社會教化ニ關スル施設並社會事業ヲ經營

シ又ハ之ヲ援助スルコト

四、各教化團體ト聯絡提携シ事業ノ達成ニ努

ムルコト

五、教化ニ關スル機關誌ノ發行

會員數及分布狀況

維持會員 會員數

特別會員

通常會員

分布状況 郡内全町村長ヲ支部長ニ依頼シ支部ヲ設立セリ

主ナル役職名並其氏名

役員

總裁	珠洲支廳長	小石喜代造
會長	勝安寺住職	梧北涯
副會長	萬福寺住職	小野田梅芳
理事		信樂菊丸
同		墨江義賢
同		佐伯映釜
同		中田覺重
同		米村爲八郎
職員		城崎直五郎
幹事(常務)		井田修平
同		

維持方法

會員會費、寄附金

昭和二年度豫算額 歳入 一、四四三、〇〇〇  
歳出 一、四四三、〇〇〇

昭和二年度決算額 歳入 一、五一五、〇〇〇  
歳出 一、五一五、〇〇〇

昭和三年度豫算額 歳入 一、五一五、〇〇〇  
歳出 一、五一五、〇〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

財團法人珠洲郡自治會ヨリ獎勵金ヲ交付セラレツ、アリ

\*\*\*\*\*

名稱 石川縣聯合佛教會

事務所々在在 石川縣社會課

創設年月日 大正十五年十月二十日

經營主體又ハ代表者 代表者 知事 中山佐之助

沿革概要

大正九年河北郡佛教會ノ創立以來ニ漸次教化事業、社會事業ヲ目的トスル郡市佛教會カ設立セラレ、大正十五年五月迄ニハ縣下一市八郡中珠洲郡、金澤市ヲ除ク七郡ニカ組織ヲ見、其ノ基礎漸ク固ク實施ノ事業モ亦相當多數スルニ至レリ、此ノ秋ニ當リ二三ノ郡佛教會ヨリ各會

相互ノ連絡提携ヲ圖リ、其ノ向上及發展ヲ促スヘク聯合會ヲ組織スルノ議起リ之カ斡旋方ヲ縣當局ニ依頼セララル所カアツタ、依テ各郡市佛教會聯合ニ關スル協議會ヲ大正十五年六月十七日開催シ之レカ組織ノ議纏マリ次ニ十月二十日組織會ヲナセリ

目的及事業種類

イ、目的 縣内各郡市佛教會ノ連絡統一ヲ圖リ社會共存

ノ實ヲ舉クルヲ以テ目的トス

ロ、事業 一、郡市佛教會ノ聯絡提携

二、講演會講習會活動寫眞會開催

三、日曜學校託兒所ノ設置獎勵

四、教化事業ニ關スル研究調査

五、教化事業社會事業ノ獎勵助成

六、會報パンフレットノ刊行

會員數及分布狀況

會員數 (九團體)

金澤市佛教會	石川郡佛教會	能美郡佛教會
江沼郡 "	河北郡 "	羽咋郡 "
鹿島郡 "	鳳至郡 "	珠洲郡 "
會長	中山佐之助	
副會長	猪俣喜藤	
理事長	城森省三	
理事	中田邦造	
同	打尾忠治	
同	杉森廣吉	
評議員		
金澤市	三輪谷現隨	外四名
江沼郡	出雲路現祐	外四名
能美郡	多田豊壽	外四名
石川郡	海野秋千代	外四名
河北郡	糺地智覺	外四名

羽咋郡	椿	江	聖	了	外四名
鹿島郡	龍	澤	淨	雲	外四名
鳳至郡	旭			寬	外四名
珠洲郡	梧	北	涯	外四名	外四名

維持方法

會員會費繰出補助金

和昭二年度豫算額 歳入 歳出 二、一〇、〇〇〇

昭和二年度決算額 歳入 歳出 一、六六五、〇〇〇

昭和三年度豫算額 歳入 歳出 一、六五一、〇〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無 (昭和二、三年度)  
縣ヨリノ補助金三百圓 昭和二年度  
同 昭和三年度

關 東

- 栃木縣教化事業聯合會 (加盟團體 一〇四)
- 群馬縣教化事業聯合會 (加盟團體 一二二)
- 埼玉縣教化團體聯合會 (加盟團體 七八一)
- 東京府教化團體聯合會 (加盟團體 五六八)

名稱 栃木縣教化事業聯合會

事務所所在地 栃木縣廳社會課內

創設年月日 昭和三年十月二十六日

經營主體又ハ代表者 代表者 會長 藤山竹一

沿革概要

本會ノ設立ハ久シク縣當局ノ懸案タリシカ御大典記念事業トシテ設置スルコトニ決シ昭和三年十月二十六日縣下各地ノ關係者ノ會同ヲ求メ會則、役員、豫算等ヲ議定シ直チニ會員募集ニ着手一八〇名、十四團體ノ加盟ヲ見、昭和四年二月二十二日發會式ヲ舉行今日ニ及フ

目的及事業種類

イ、目的 栃木縣内ニ於ケル教化事業ノ聯絡及調査研究實施

ロ、事業 一、協議會開催

二、教化事業各般ノ研究

三、講習會、講演會開催

四、其他目的達成上必要ナル事項

會員數及分布狀況

イ、普通會員 一八〇名

ロ、團體會員 縣下各地ニ亙リ名稱左ノ如シ

- 下都賀保護會 財團法人富永奉仕會
- 財團法人下野尙德會 足利郡市神職會
- 日光婦人會 天理教栃木縣理生會
- 財團法人下野三樂園 上都賀郡四恩會
- 栃木婦人協會 宇都宮安國會
- 大田原町双葉會 日光救護會
- 那須佛教慈恩會 眞岡禁酒會

主ナル役職名並其氏名

イ、役員

- 會長 藤山竹一 副會長 中井久三
- 常任理事 見戸浩純
- 理事 大給新 同 今井德順
- 同 伴君保 同 樋口柳吉

口、職員

專任幹事 福島善壽 同 佐取明吉 外四名

資産(種目別)

一、基本金 二百圓

維持方法

寄附金、補助金、會員贈金其他ノ收入ニヨル

昭和三年度豫算額 歳入 二、七〇〇、〇〇〇 歳出 二、七〇〇、〇〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

昭和三年度

中央教化團體聯合會 二百圓

栃木縣 二百圓

\*\*\*\*\*

名稱 栃木縣神職會

事務所所在地 宇都宮市馬場町一番地

創設年月日 明治二十五年二月十五日

經營全體又ハ代表者 會長 鈴木松太郎

沿革概要

神職會ノ起因ハ明治二十四年八月栃木縣令第六十五號ヲ以テ縣鄉村社ノ神官奉務規則ヲ定メラレ其主旨ニ由リ神官取締所ノ設置トナリ四十一年二月縣下官國幣社ト合同成リシ結果神職會ト改稱セシモノナリ

目的及事業種類

目的 本會ハ神職奉務規則ノ趣旨ニ基キ神社尊嚴ト斯道ノ發展トヲ企圖シ學術德行ヲ獎勵シ神職ノ品位ヲ保持シ縣内神職ノ統一ヲ圖リ進テ市町村吏員學校教員在郷軍人會地方青年團婦人會處女會ト氣脈ヲ通シ社會民心ノ指導及團體擁護ニ勤ムルヲ以テ目的トス

事業 講習會、思想善導、活動寫眞會、講演會、印刷物宣

傳其他

會員數及分布狀況

會員數ハ二百八十餘名ニシテ官國幣社及各郡市町村大字ニ分布在住セリ

主ナル役職名並其氏名

總裁	藤山竹一	顧問	中井久三
顧問	平出誠三郎	同	松永和一郎
同	大給新	會長	鈴木松太郎
副會長	加藤直久	同	秋元視之
議長	額賀大直	副議長	齋藤義丸
專務理事	黒川發	同	荒川辰之進
理事	稻盛三郎	同	鈴木虎男
同	小林安平	同	中島貞一
同	小野九平	同	河島勳
同	大島乙丸	同	宮田功雄
同	横瀬武三郎	同	池澤金太郎
同	高鹽數磨	同	野中猪三郎
同	萩野矢信慶	同	大坪新一郎

理事 林 守善 同 新井豊磨

庶務會計 佐藤 正

支會長 河内 葭田眞喜雄 芳賀 櫻井 沖

同 巖谷 高橋 數磨 那須 齋藤 義丸

同 上都賀 横瀬 武三郎 下都賀 小林 公仁磨

同 安尾 早乙女三郎 足利 小野寺 重石

資産(種目別)

基本財産金一萬七千圓餘(栃木縣農工銀行債券)

維持方法

基本財産ノ利子ヲ事業費ニ繰入レ他ノ經費ハ毎年各神職及有力神社ヨリ贈出スルト神宮大麻頒布費ノ一部ヲ之レニ充ツ

昭和二年度豫算額 五、五一四、七〇〇

昭和二年度決算額 目下計算中

昭和三年度豫算額 一一、二三九、二五〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

毎年神職講習會費中ニ金百圓ツツノ縣費補助ヲ受ク

\*\*\*\*\*

名稱 下都賀保護會

事務所所在地 下都賀郡柘木町旭町一九

創設年月日 明治四十三年四月

經營主體又ハ代表者 代表者 柘木區裁判所檢事 内田正二  
沿革概要

明治四十一年十一月中柘木町各宗寺院住職一同協議ノ上  
柘木保護會創立ノ準備トシテ托鉢修行ヲ爲シ其ノ收益ニ  
依リ免囚保護事業ニ着手ス  
明治四十三年四月柘木保護會ヲ完成シ托鉢修行會員ノ職  
金慈善家ノ寄附金品ヲ其費用ニ充當スルコトト爲シタリ  
同年七月八日下野保護會ニ合同シ下野保護會柘木女子部  
ト改稱シ主トシテ婦女ノ收容保護ニ従事ス  
大正三年四月七日女子部ノ事業ヲ擴張シ婦女收容保護ノ  
外當郡下ノ町村在住ノ釋放者ニ對シ間接保護ヲ爲スコト  
トナリ下野保護會柘木支部ト改稱ス其後時勢ノ推移ハ倍  
事業ノ擴張ヲ促進シ勢ヒ獨立ノ機關トセサルヲ得サルニ

至リ大正十年八月一日下野保護會ヨリ分離シ下都賀保護  
會ト改稱今日ニ至ル

目的及事業種類

釋放者ニシテ保護ノ必要アリト認メタルモノヲ誘導扶掖  
シ之ニ獨立自營ノ途ヲ與ヘ一面間接保護ヲ加ヘ再犯防遏  
スルヲ以テ目的トス

會員數並分布狀況

名譽會員	八二名	特別會員	二八九名
賛助會員	一、二二三名	正會員	五一一名
計	一、六四五名		

主ナル役職名並其氏名

會長	柘木區裁判所檢事	内田正二
副會長	柘木支部豫審判事	粕谷俊介
主事	宇都宮刑務所柘木支所長	西岡三郎
保護主任	宇都宮刑務所教誨師	長澤やゑ

資産(種目別)

一、基本金 一萬四千二百三十二圓

創設年月日 大正元年十一月一日

經營主體又ハ代表者

イ、經營主體 財團法人下野三樂園

ロ、代表者 人 見 貞 開

沿革概要

本國ハ大正元年十一月一日ノ創立ニシテ専ラ世ノ薄幸悲  
慘ナル孤貧兒教育ノ爲メニ、日光山前門跡故彦坂謹照主  
唱トナリ現門跡今井德順實際經營ノ任ニ當リ外ハ以テ資  
金増成ノ勸誘ニ力ヲ注キ、内ハ以テ園兒ノ黨育ニ慈教ヲ  
施ス時世ノ進運ト共ニ、收容兒童モ年ヲ逐フテ増加シ、  
其ノ基礎モ稍々堅實ノ域ニ達セシヲ以テ大正九年二月組  
織ヲ變更シテ財團法人ト爲シ、大正十年十一月今井德順  
輪王寺門跡就職ニ依リ日光山南照院住職人見貞開今井德  
順ノ後ヲ襲フテ理事長トナリ、以テ今日ニ及フ。

目的及事業種類

イ、目的 本國ハ社會ノ福祉ヲ増進スルカ爲メ佛祖ノ慈

維持方法

基本金ヨリ生スル利子、獎勵金、補助金、助成金、會費、寄附  
金

昭和二年年度豫算額	二、二七〇、三五〇
昭和二年年度決算額	歳入 四、九七〇、八三〇
	歳出 九八三、三七〇
昭和三年年度豫算額	二、四一〇、四六〇
獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)	
昭和二年年度	昭和三年年度
御下賜金 三百圓	三百圓
補助金 二百七十圓	二百七十圓

名稱 財團法人下野三樂園

事務所所在地 宇都宮市戸祭町一五五〇番地



訓ニ基キ、無告ノ孤兒、棄兒、遺兒、迷兒、及窮狀之レト等シキ幼兒ヲ收容教育シ尙幼兒ノ受託保育ヲ爲スヲ以テ目的トス。

口、事業 農業及ヒ防水加工事業ヲ設ケ園兒ヲシテ其ノ實務ニ慣レシメ、一方社會事業思想普及ノ爲メ時々講演會ヲ開催ス。

會員數並分布狀況

本園ノ會員ハ専ラ本園經營ニ對スル贊助者ニシテ之レヲ贊助會員ト稱ス、而シテ其ノ數ハ市内五百名日光町百名合セテ六百名ノ會員ヲ有ス。

主ナル役職名並其氏名

イ、役員  
 總裁 今井 德 順 理事長 人見 貞 開  
 理事 上野 松 次郎 同 久保 市 三郎  
 同 齋藤 太兵衛 同 田中 勝 次郎  
 同 手塚 五郎平 同 福田 富 次郎

監事 河合 長 藏 同 村山 金 平  
 同 瀧澤 佐 市

口、職員

書記 關野 祐 次 外三名

資産(種目別)

一、基本金 三萬六千八百五十一錢  
 二、土地(一丁三反十 七千四百四十四圓五十四錢  
 八步)  
 三、建物(事務所、園) 五千五百六十四圓六十錢  
 三、機械器具 一千五百圓

維持方法

基本金利子、寄附金、補助金獎勵金、事業部收益金及ヒ其他ノ收入金ニ依ル。

昭和二年度豫算額 歲入 六、四七七、〇〇〇  
 歲出 五、三二二、二二〇  
 昭和二年度決算額 歲入 五、三一五、三三〇  
 歲出 五、三一五、三三〇  
 昭和三年度豫算額 歲入 六、四五〇、〇〇〇  
 歲出 六、四五〇、〇〇〇  
 獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)  
 宮内省御下賜金 三百圓(昭和三年度)

内務省補助金 二百圓(昭和三年度)

\*\*\*\*\*

名稱 足利郡市慈濟會

事務所々在 地 足利市本城町三丁目足利市役所内

創設年月日 大正二年四月二十二日

經營主體又ハ代表者 代表者 大 給 新

沿革概要

初メ足利郡慈濟會ト稱シ足利郡一帯ヲ區域トシタルモ大正十年足利市制施行ノ結果同年七月ヨリ足利郡市慈濟會ト改稱シテ今ニ至ル

目的及事業種類

イ、各刑務所釋放者間接保護事業  
 ロ、釋放者ノ家族保護及救濟  
 ハ、釋放者ノ職業紹介事業資金貸與  
 ニ、國民思想善導、講演會、活動寫眞ポスター宣傳等

ホ、貧兒孤兒ノ保育

ハ、其他社會救施設ニ關スル件

會員數並分布狀況

足利郡市一帯  
 正會員 百二十四名  
 名譽會員 十五名  
 特別會員 四十五名  
 贊助會員 八百五十名  
 計 一、〇三四名

主ナル役職名並其氏名

役員  
 會長 足利市長 大 給 新  
 副會長 足利警察署長 高山 仙 七  
 同 足利市助役 大貫 權 一郎  
 顧問 足利區裁判所檢事 澤 登 定 雄  
 同 同 判事 角屋 小 三郎

職員

主事 大橋 傳尊  
幹事 上原猪一郎  
會計 丸山昇平

資産(種目別)

一金三千圓 基本金  
一金五百圓 足利銀行株券  
一金六百圓 活動寫眞器  
合計 四千百圓也

維持方法

栃木縣 社會事業獎勵金  
正會員 (足利郡市寺院僧侶) 托鉢  
財産收入 特志家寄附金  
昭和二年度決算額 八二五、五九〇  
昭和二年度決算額 七五六、一六〇  
昭和三年度決算額 一、〇三〇、〇〇〇  
獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)  
一金二十圓 下野尙德會補助 昭和二、三年同額

一金六十圓 栃木縣社會事業獎勵費 二、三年同額

名稱 栃木縣上都賀郡四恩會

事務所々在 上都賀郡鹿沼町松原寺内  
創設年月日 大正二年五月三十一日  
經營全體又ハ代表者 今井 德順  
沿革概要

大正元年九月栃木訓令第三號並ニ同年一月栃木縣通牒ノ趣旨ニ則リ郡内各宗寺院及説教所主任篤志者ヲ以テ大正二年五月三十一日創立シ日光輪王寺門跡彦坂謙照氏ヲ會長トセシカ大正十年六月上都賀郡郡長ヲ會長ニ推スコトニ改ム大正十五年五月十五日會長相馬三太郎氏退職ニ付輪王寺門跡今井德順氏會長ニ就任今日ニ至ル  
目的及事業種類  
一、出獄人又ハ落伍者ニシテ居住所若クハ引受人ナク世

資産(種目別)

金四千圓也銀行預金  
維持方法  
寄附金、助成金、其他ノ收入ニヨル  
昭和二年度決算額 歳入 一、四三一、〇〇〇  
昭和二年度決算額 歳出 一、〇五二、六五  
昭和二年度決算額 歳出 三八九、二一  
昭和三年度決算額 歳入 一、五四〇、〇〇  
昭和三年度決算額 歳出 一、五四〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

昭和二年度 金五十圓 栃木縣ヨリ交付セラル  
昭和三年度 金五十圓 栃木縣ヨリ交付セラル  
昭和三年十二月七日補成會ニ加盟補成會ヨリ下野尙德會へ事業助成金下附ノ内金二十四圓本會ニ分配セラル

名稱 宇都宮安國會

事務所々在 宇都宮市馬場町四番地

ニ生計ヲ營ミ難キ者ノ保護、  
二、旅費ノ缺乏家族間ノ不和又ハ其他ノ事情ニ因リ住所ニ居住シ難キ者ノ保護、  
三、1、精神ノ慰藉及訓諭、2、職業ノ紹介、3、衣食其他必需金品ノ補給、4、住所ノ選定、5、講演會開催等、

會員數及分布狀況

百三ヶ寺院住職並ニ十ヶ所設教所主任會員

主ナル役職名並其氏名

會長 今井 德順 副會長 黒田 徹宗  
同 關口 慈眞 同 藤本 有教  
理事 香川 拙童 同 和賀 行識  
同 菅原 英信 同 桑門 満定  
同 松岡 檀雄

口、評議員ヲ一町村ニ一名ツ、置ク

小林 尊儀 外二十名

創設年月日 大正三年三月二十二日

經營主體又ハ代表者 代表者 常任幹事 瀧澤 佐市

沿革概要

人心ノ頽廢思想ノ動搖ニ對スル根本的救治ハ國體觀念ヲ  
教養シ 聖旨ノ徹底ヲ期センカ爲メ神儒佛三道貫申ノ日  
蓮主義ヲ鑽仰シテ社會教化ノ急務ナルヲ確信シテ大正三  
年三月創立セリ

創立以來思想界ノ名士ヲ聘シテ社會教化ニ關スル講演ヲ  
公開シ時々文書ノ宣傳軍隊學校工場等ニ於テ精神講話ヲ  
ナシ會員相互ノ修養會ヲ實行シテ今日ニ及フ

目的及事業種類

目的 我カ建國ノ本議及理想ヲ敬重シ 明治天皇ノ勅語  
聖訓ヲ奉戴シ敬神崇佛日蓮主義ヲ以テ國民思想ノ  
善導教化ヲ目的トス

事業 一、毎年春秋二期名士ヲ聘シテ教化講演會ヲ開催  
ス其他隨時講演ヲ公開ス

一、軍隊學校病院工場等ノ精神講話

三、慈善救濟社會事業ノ施設

四、教化資料ノ施本ト文書ノ發行

五、各月ニ會員相互ノ修養例會

會員數及分布狀況

會員 一百餘名

宇都宮市ヲ中心トシテ市外ニ及フ

主ナル役職名並其氏名

常任幹事 瀧澤 佐市 同 佐藤豊太郎

同 麥倉竹次郎

幹事 篠崎龍太郎 同 久保井倉吉

同 野島幾太郎

但シ代表者ハ常任幹事三名ニテ交代スルモノトス

資産(種目別)

基本金現在高 九百圓

安田銀行宇都宮支店定期預金

維持方法

會員費徵收及有志ノ義納ニ依ル

昭和二年度決算額 歳入 四三〇、一〇  
歳出 二六〇、三四

昭和三年度決算額 會規ニ依リ本月末日決算  
歳入 四五六、〇〇

昭和四年度決算額 歳出 五〇三、四〇

\*\*\*\*\*

名稱 天理教栃木縣理生會

事務所々在在 宇都宮市塙田町東通り三

創設年月日 大正十二年十二月十日

經營主體又ハ代表者 代表者 速水 岩吉

沿革概要

大正十二年二月十一日前橋市堀川町天理教前橋教務支廳  
ニ群馬、栃木、長野、新潟四縣ノ天理教代表者集合協議  
シタル結果、教祖立教ノ大志ニ鑑ミ各自ノ信念ヲ砥礪シ  
進ンテ教團ノ力ヲ以テ社會教化ノ事業ニ貢獻セムトシテ

天理教理生會ヲ組織スルコトニ決シ、其ノ聯合事務所ヲ

前記教務支廳ニ置キ會員募集中、國民精神作興ニ關スル

御詔書ハ渙發セラレタルニヨリ、此ノ聖旨ヲ體シテ吾徒

ノ本分ヲ發揮スヘク、大正十二年十二月十日發會式ヲ舉

行セリ。當時本會ハ天理教理生會栃木縣分會ト稱シ、縣

内ニ七ヶ支會ヲ置キ會務ヲ施行セリ、

昭和三年一月二十六日現在ノ如ク天理教栃木縣理生會ト

改稱シ會則ヲ變更シ縣内ニ八ヶ支會ヲ置キ今日ニ至レリ

昭和三年十二月二十四日栃木縣教化事業聯合會ニ加盟ス

目的及事業種類

イ、目的 天理教々祖立教ノ精神ヲ體シ會員各自ノ信念

ヲ砥礪シ相提携シテ國民精神ノ作興ヲ圖ルヲ

以テ目的トス

ロ、事業 一、會員ノ修養ニ關スル事業

一、社會教化ニ關スル事業

一、其ノ他前條ノ目的達成ニ必要ナリト認メ

ラール事項

會員數及分布狀況

會員數 千二百名 (全縣下ニ分布ス)  
 之レヲ統轄スルダメ左ノ支會ヲ置ク  
 中央支會 (宇都宮市 河内郡)  
 足利支會 (足利郡 足利市)  
 上都賀郡支會  
 下都賀郡支會  
 鹽谷郡支會  
 那須郡支會  
 安蘇郡支會  
 芳賀郡支會

主ナル役職名並其氏名

會長 永尾 正信 常任理事 速水 岩吉  
 理事 小林 信治 同 菊地 孝吉  
 同 老沼 宗三郎 同 龜田 團藏  
 幹事 矢野 庄一郎 同 笠間 千代吉  
 同 龜田 亮二

資産 (種目別)

維持方法

器具其ノ他物品、書籍、印刷物  
 會員ノ會費寄附金其ノ他ノ收入ニヨル  
 昭和二年度豫算額 歳入 六〇〇、〇〇  
 歳出 六五〇、〇〇  
 昭和二年度決算額 歳入 六一五、〇〇  
 歳出 六五〇、〇〇  
 昭和三年度豫算額 歳入 六五〇、〇〇  
 歳出 六五〇、〇〇

名稱 眞岡禁酒會

事務所々在 地 芳賀郡眞岡町大字荒町千百番地  
 創設年月日 大正十五年五月十六日  
 經營主體又ハ代表者 代表者 福原幸次郎  
 沿革概要  
 大正十五年五月色川猷次氏福原幸次郎氏相謀リ設立ス

コレカ動機トナリ芳賀郡山前村ニ東沼村禁酒會。同郡大  
 内村ニ大内村禁酒會、同郡益子町ニ益子町青年禁酒會、  
 同郡小貝村ニ小貝村禁酒會、茂木町ニ茂木禁酒會、同郡  
 大内村ニ上鷺谷禁酒會、同郡中村ニ寺内青年禁酒會ノ創  
 立トナリ眞岡禁酒會カ主體トナリ外各會ハ支部ノ形トナ  
 リ活動ス機關誌等スベテ眞岡會ヨリ支給ス。

眞岡會ハ色川會長、平賀會長、杉山會長ヲ經テ現會長ト  
 大正十五年五月日本國民禁酒同盟ニ加入ス昭和四年三月  
 二十七日栃木縣教化事業聯合會ニ加入ス

目的及事業種類

イ、目的 禁酒ノ實行、禁酒運動ノ普及徹底及ヒ純潔平  
 和ナル無酒郷ノ建設ヲ以テ目的トス  
 和ナル無酒郷ノ建設ヲ以テ目的トス  
 ロ、事業 一、アルコール毒ノ研究ヲナスコト及ヒ其ノ  
 宣傳ヲナスコト  
 一、世界各國ノ禁酒政策ノ調査ヲナスコト  
 三、未成年者禁酒法ノ精神普及徹底ヲ計ルコト

會員數及分布狀況

眞岡禁酒會 (正會員 四七名  
 禁酒新聞購讀者 七八名  
 大内會 七五名 東沼會 三三名  
 小貝會 六八名 益子會 四五名  
 茂木會 四〇名 寺内會 二四名  
 上鷺谷會 一四名  
 合計 四百二十四名  
 栃木縣下ノ禁酒會ハ左ノ如シ  
 芳賀郡 一 鹽太郡 二  
 河内郡 四 那須郡 四  
 下都賀郡 四 宇都宮 二  
 上都賀郡 一  
 計 二十八團體ノ禁酒會アリ (會員數一、六二三)

ト  
 四、二十五歲禁酒法案ノ達成運動ヲナスコト  
 五、禁酒ニ關スル印刷物ヲ發行スルコト  
 六、禁酒運動普及ノタメ必要ナル計畫ヲナス  
 コト及ヒ其ノ實行ヲ計ルコト

主ナル役員並其氏名

役員

會長 福原幸次郎  
 會計 杉山彌三郎  
 幹事 鹽澤ナミ  
 同 佐々木光四郎  
 同 福原福太郎  
 同 森田喜一郎

資産(種目別)

現金 八圓八十二錢

維持方法

會員ノ支出セル會費ト特志家ノ寄附金ニ依ル

昭和二年度決算額

歳入 二三〇、〇〇

昭和二年度決算額

歳入 一四九、一一 (全部會費ノミ)  
 歳出 一四〇、二九

昭和三年度決算額

歳入 二五〇、〇〇  
 歳出 二五〇、〇〇

但シ眞岡禁酒會會計簿ヨリ

\*\*\*\*\*

名稱 日光婦人會

事務所々在地 上野賀郡日光町輪王寺

創設年月日 大正十五年六月廿五日

經營全體又ハ代表者 代表者 二荒山神社宮司 加藤直久

沿革概要

戊申詔書ノ聖旨ニ則リ華ヲ去リ實ニ就キ専ラ婦徳ノ向上ト智識ノ啓發トヲ圖リ社會奉仕ヲ目的トシテ輪王寺門跡其他主唱トナリ大正十五年六月二十五日(皇太后陛下御誕辰記念日)ニ創立シ今日ニ至ル

目的及事業種類

一、目的 婦徳ノ向上、智識ノ涵養、社會奉仕ヲ目的トス

口、事業 一、敬神崇祖ノ觀念ヲ旺盛ナラシム

二、講演會、講習會、修養會ヲ開催シ婦徳ノ

向上ニ努ムルコト

三、母性並兒童保護ノ完キヲ期スルコト

日光町東西兩町ヲ網羅ス

主ナル役員名並其氏名

會長	加藤直久
副會長	高野千代子
同	今井貞子
理事長	宮田謙靜
庶務部	
額賀浪子	増田のぶ
貴船ちゑ	人見光子
高山いし	森光みね
企畫部	
加藤時代	石山ちか
金谷たま子	石塚みい子
會計部	
植木かつ子	森川とら子
千種はる	小村きみ子
	河合とく
	千田よし子
	大槻高子
	佐藤たか
	菅原祥江

會員數及分布狀況

四百名

十、其他理事會ニ於テ必要ト認メタル事業

九、冠婚葬祭等ノ人事百般ニ對シ冗費ヲ省キ

八、日光町是ニ則リ勤儉貯蓄ノ美風ヲ督勵ス

七、婦人相談ヲ取扱ヒ自殺者ノ防止救護ニ努

六、其筋ノ趣旨ヲ體シ個人並公衆衛生ノ普及

五、社寺參拜旅客中不時ノ災害又ハ疾病等ニ

四、學齡兒童ノ就學獎勵ニ關シテハ日光中部

教育獎勵會ニ助力シテ徹底ヲ期スルコト

三、講ス

二、羅レル者アラハ相談ニ應シ適當ノ方法ヲ

一、講ス

巴 磯 子 原 つね 小西 歌子

資産(種目別)

基本金 五百圓

維持方法

會員ノ負擔(會費制度)及寄附金、其他ノ收入ニヨリ支辨ス

昭和二年度豫算額 金五百圓

昭和二年度決算額 金四百十二圓四錢

昭和三年度豫算額 金六百圓

\*\*\*\*\*

名稱 財團法人御大典記念富永奉仕會

事務所々在地 足利市通一丁目二六八七番地

創設年月日 昭和三年八月七日

經營主體又ハ代表者

イ、經營主體 財團法人

ロ、代表者 富永金吉

沿革概要

本會代表者富水金吉ハ明治三十六年以來社會教化事業ニ就テハ意ヲ注キ日夜社會問題ノ解決道路ノ開設結婚媒介等ニ盡力シ殊ニ大正十年市ノ中央ニ公園トシテ好適地ヲ選シ市民ノ衛生上公園ヲ經營シツツアリシカ今回御大典ヲ記念トシ奉仕會ヲ組織シ織物産地トシテノ足利地方ニ教化ヲ與ヘントシテ昭和三年一月二十三日日本會設立ノ件内務大臣ニ申請同年八月七日許可セラレ今日ニ至ル

目的及事業種類

- イ、目的 聖訓ヲ奉體シ共存同榮ノ實ヲ舉ケン爲メニ民衆ノ保健衛生ノ向上ヲ圖リ社會ノ福利増進ニ資スルヲ以テ目的トス
- ロ、事業
  - 一、富永公園ノ維持經營
  - 二、兒童ノ健康増進ニ必要ナル施設
  - 三、社會ノ福祉増進ニ資スル奉仕の事業主トシテ結婚媒介各種爭議ノ調停

四、其他前條ノ目的達成上必要ナリト認ムル事項

主ナル役員並其氏名

會長理事	富永金吉
理事	富永新六
評議員	富永大吉
	秋腰吉之助
	相場晋三
	西付佐吉
	石原熊次郎
	奥中榮次郎
	富永榮治
	岡部安三郎

資産(種目別)

- 一、土地 金一萬八百十二圓
- 一、建物 金一千圓

名稱 群馬縣教化事業聯合會

事務所々在地 群馬縣廳内

創設年月日 大正十五年一月三十一日

經營主體又ハ代表者 代表者 學務部長 岡本保三

沿革概要

大正十四年十月東京市ニ開カレタル第二回全國教化團體代表者大會ノ決議ニ基キ教化事業促進ノ爲設立セラレ最

初ハ教化團體ノミ加盟セシメ教化團體聯合會トセルモ昨年九月組織ヲ變更シ教化事業従事者ヲモ加ヘ名稱ヲ教化事業聯合會ト改メ今日ニ及ヘリ

目的及事業種類

國民精神作興ニ關スル詔書ノ趣旨ヲ奉體シ加盟者並中央教化團體聯合會ト聯絡ヲ圖リ民心作興ニ關スル事業ヲ促進スルヲ以テ目的トス

- 一、講演會、及講習會ノ開催
- 二、社會教化ニ關スル調査研究及部會ノ設置
- 三、印刷物ノ發行
- 四、其他必要ト認メタル事項

會員數及分布狀況

二十二團體 三名(個人)

- 前橋修養會 高崎修養會 澁川修養會
- 原市修養會 大間々修養會 社田道友會
- 休泊報恩會 粕川尙善會 戶崎勤儉婦人會
- 前橋婦人會 遠葉山婦人會 館林婦人會

- 佛教聯合會支部 大胡積善會 館林佛教積善會
- 群馬禁酒聯盟 甘樂禁酒會 伊勢崎婦人會
- 吾妻佛教樹德會 廓清會支部 桐生積善會
- 小野向上會
- 新井保彦 深山仙道 久保田喜代太郎
- 縣下一圓

主ナル役職名並其氏名

役員

- 會長 岡本保三
- 常務理事 稻田周一
- 理事 高井潤一郎
- 同 新井保彦
- 同 戸谷清一郎
- 同 加藤立成
- 同 山端息耕
- 同 竹内もと子

職員

幹事 金谷幹次  
書記 築山作太郎

維持方法

會費、縣及中央教化團體聯合會、獎勵金其他ノ收入

昭和二年度豫算額	歳入	一、二〇〇、〇〇
	歳出	五七八、五四
昭和二年度決算額	歳入	四六一、三五
	歳出	一、三一〇、〇〇
昭和三年度豫算額	歳入	一、三一〇、〇〇
	歳出	一、三一〇、〇〇
獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)		
二年度	縣ヨリ金二百圓	國庫ヨリ百圓
三年度	縣ヨリ金三百圓	中央教化團體聯合會ヨリ金四百圓
	右獎勵金ヲ受ク	

\*\*\*\*\*

名稱 桐生積善會

事務所所在地 桐生市大字桐生四十六番地  
創設年月日 明治三十五年四月十五日

經營主體又ハ代表者 代表者 鹽澤縁龍

沿革概要

本會ハ明治三十五年四月十五日組織設立シ當時山田郡各宗共桐生積善會ト稱シタルモ大正十年市制施行ト同時ニ桐生積善會改稱シ大正四年樹徳裁縫女學校設立シ超ヘテ大正九年財界不況ノ爲メ失業者融和ノ目的ニテ職業紹介所ヲ開始シ大正十年育教育ヲ起シ大正十三年無料宿泊人事相談部等ノ附帯事業ヲ新設シ大正十五年四月ヨリ職業介所市營トナリタルニ依リ托兒所ヲ設置シ現在貧兒ノ保育ヲナシツツアリ

目的及事業種類

本會ハ佛教本旨ニ基キ思想善導慈善博愛ノ事業ヲ爲スヲ目的トス  
幼兒保育  
救貧事業  
其他社會ノ福祉ヲ増進スル事業

會員數及分布狀況

特別、名譽、贊助、會員

三十名

正會員、三十六ヶ寺、維持會員二百五十名  
桐生市及山田郡

主ナル役職名並其氏名

會長	鹽澤 綠龍
副會長	佐藤 隆迫
託兒所長	大澤 祖鏡
常務理事	箱守 芳惠
會計理事	三浦 祐詮
理事	野村 俊通
同	村上 祐長
同	堀 全龍
同	林 行薰
同	新井 學倫

資産(種目別)

金一千四百圓 基本金

基本金一千四百圓トアルモ現金ハ大正十五年ニ於テ託兒所新設費トシテ流用シタルニ付キ現金ニテハ無シ

維持方法

會費、縣及市獎勵金寄附金其他ノ收入

昭和二年度決算額	歳入	三、六一二、一五
昭和二年度決算額	歳出	三、五四三、五九
昭和三年度決算額	歳入	二、四〇〇、〇〇
獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)	歳出	
二、三年度	群馬縣ヨリ	各金一百三十圓
同	桐生市ヨリ	各金三百圓

\*\*\*\*

名稱 館林婦人會

事務所々在地 邑樂郡館林町大字館林一七一八番地ノ三  
創設年月日 明治三十七年二月十八日

經營主體又ハ代表者 代表者 秋元光子

沿革概要

明治三十七年二月ノ創立ニシテ當時出征軍人及家族ノ慰問救護戰病死者ノ弔慰等日露戰爭時ノ活動ヲ目的トシテ設立セラレ戰爭終了ト同時ニ休止狀態ニテ推移シ更ニ明治四十年七月會員中ノ有志相謀リ之カ再興ヲ期セリ然レトモ當時會員少ク僅々親睦ヲ圖ルノ程度ナリシカ大正十二年關東大震災ヲ記念シテ一層有機的活動ヲ爲サントノ趣旨ノ下ニ同年十一月會員ノ増募ヲナシ事業ノ擴張ヲ圖リ以テ今日ニ及ヘリ

目的及事業種類

婦人相互ノ親睦並智徳涵養ヲ圖ルヲ以テ旨トシ併セテ世ノ進運ニ伴ヒ婦人トシテ社會奉仕ノ爲メ適當ナル事業ヲ爲スヲ以テ目的トス  
前項ノ目的ヲ達スル爲メ、洋服、刺繡、洗濯、料理ノ各種講習會開催。修養講演、衛生講話會開催、及滿州駐劄

軍慰問袋ノ募集贈呈。

歲暮施餅公園へ遊戯具ノ寄附、愛國貯金ノ獎勵及實行ヲ爲シツ、アリ。

會員數及分布狀況

三百二十八名  
本町内ニ分布ス

主ナル役職名並其氏名

會長	秋元 光子
副會長	小室 とも
同	橋田 はる
常務幹事	佐々木 かずへ
幹事	正田 俊子
同	高橋 ふみ
同	小濱 政子
同	赤阪 和子
同	希代 てつ



幹事 飯塚 みつ

資産(種目別)

基本財産現金一、〇九〇、六三

維持方法

會費其他ノ收入

昭和二年度豫算額 歳入 四八三、三〇

昭和二年度決算額 歳入 四八三、三〇

昭和三年度豫算額 歳入 三九三、六〇

\*\*\*\*\*

名稱 高崎修養會

事務所所在地 高崎市赤坂町三十番地

創設年月日 明治四十二年一月十七日

經營主體又ハ代表者 代表者 山端息耕

沿革概要

明治四十二年一月同志相謀リテ本會ヲ設立シ第一回ノ講

演會ヲ開キタリ爾來毎月一回(八月ヲ除ク)東都ノ名士ヲ

聘シテ例會ヲ繼續セシカ大正七年四月第百回記念大會ヲ

開キ同時ニ會則ヲ制定シテ組織ヲ確立セリ

昭和二年三月時代ノ趨勢ニ鑑ミ會則ヲ修正シ目的ヲ單ニ

會員ノ精神修養ニ止メス外ニ向ツテ教化運動ヲナサント

スルノ積極的意志ヲ加フ且理事中ニ常務ヲ置キ會務ノ進

展ヲ圖ルコト、セリ

昭和三年十月第百回記念大會ヲ開キタリ

目的及事業種類

イ、目的 建國ノ大義ニ則リ佛教ヲ基礎トシテ國民思想

ヲ善導シ國民道德ヲ振作スルヲ目的トス

ロ、事業 一、毎月一回(毎年八月ヲ除ク)名士ヲ聘シテ

講演會ヲ開催スルコト

二、其ノ必要ト認メタル事項

(學校團體ヘノ講師斡旋、講演會等ノ應

援ハ履ナス所ナリ)

會員數及分布狀況

百九十五名

市内及隣接町村

主ナル役職名並其氏名

理事(〇印ハ常務理事)

萩原房吉 正木時彦

保坂元哉 〇天田瀧治

吉村平七 櫻井伊兵衛

吉村ゑい 〇櫻井とよ

〇土谷金次 齋藤廉司

中澤宗彌 蛭田作平

〇山端息耕

備考 本會ハ會長ヲ置カス

資産(種目別)

一、基本金 五百六十四圓四十七錢

二、物品 金二十五圓

合計 金五百八十九圓四十七錢

維持方法

會費、市補助金、内務省、本縣社會事業協會、獎勵金其他ノ收入

昭和二年度豫算額 歳入 六〇五、〇〇

昭和二年度決算額 歳入 七二三、五五

昭和三年度豫算額 歳入 六六五、七三

昭和三年度決算額 歳入 六一〇、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

内務省獎勵金 (昭和二年二月 金百圓)

群馬縣社會事業協會補助金 (昭和三年三月 金七十圓)

高崎市補助金 (昭和二年 金百圓)

備考 一、講演會ハ毎回公開ス

二、時々市教育會民心作興會ト合同開會ス

三、開會數昭和三年十二月分マテ二百十三回ナリ

\*\*\*\*\*

名稱 吾妻樹德會

事務所所在地 吾妻郡名久田村林昌院内

創設年月日 明治四十四年十月一日

經營主體又ハ代表者 代表者 星野亮石

沿革概要

明治三十七年本郡各宗寺院協議ノ上吾妻郡各宗和教會ヲ組織シ布教佛道及社會救濟事業ヲ設ケ精神物質兩方面ニ亙リ聊カ救濟ノ道ヲ講シツ、アリ明治四十三年吾妻郡出獄人保護會ノ成立スルヤ其ノ感化指導ノ任ヲ本會ニ依囑セラル吾妻郡樹德會ト改稱シ教化部保護部ノ二部ヲ設ケ各部ニ屬スル事業ヲ經營シ來ルニ大正十年會則ノ改正ニ依リ事業ハ同會ニ於テ經營シ爾來本會ノ事業ハ釋放者ノ保護ヲナスヲ専務トス

目的及事業種類

イ、目的 佛陀ノ聖教ヲ宣揚シ國民道德ノ涵養ヲ圖リ濟世利民ノ實ヲ舉ケ皇恩ノ萬一ニ奉答スルヲ目

的トス

口、事業 一、教化部精神作興ノ講演會ヲ開クコト窮民

ニ施藥治療スルコト、天災地變ノ際救護

スルコト社會教化事業ノ聯絡提携ヲ圖ル

コト

二、保護部 本郡一圓ニ亙ル釋放者保護ヲナ

スコト其他前條ノ目的達成上必要ト認メ

ラル、事項

會員數及分布狀況

二十八名

吾妻郡内ニ分布ス

主ナル役職名並其氏名

會長	星野亮石
保護主任、兼庶務會計	坪井全男
理事	吉永靈誠
同	荒井雪堂

寄附金、補助金、獎勵金、寺院會費、其他ノ收入ニ依ル

昭和二年度豫算額 歳入 一三八、一五五

昭和二年度決算額 歳入 一二二、六五五

昭和三年度決算額 歳入 九八、二九〇

昭和三年度決算額 歳出 一四五、八六五

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

司法省ヨリ獎勵金 昭和二年度 金三十二圓五十錢

本縣ヨリ 同 金十八圓

司法省ヨリ 昭和三年度 金三十二圓五十錢

本縣ヨリ 同 金十八圓

輔成會ヨリ補助金 同 金十圓

\*\*\*\*\*

名稱 大胡積善會

事務所所在地 勢多郡大胡町役場内

創設年月日 明治四十四年十月十三日

經營主體又ハ代表者 代表者 會長 東琢善

資産(種目別)

昭和三年十二月末現在

一、基本金	金五十二圓十五錢
二、器具印刷物	金三十四圓三十七錢
三、事務所使用權利金	金二十九圓七十六錢五厘
合計	金百十六圓二十八錢五厘

維持方法

沿革概要

物質文明ノ國民ニ及ホス所光輝アル我カ國體ヲシテ不安ナラシムルノ虞レアルハ思想教化ヲ以テ天職トスル我カ徒ノ寸時モ傍觀スルニ堪ヘス我カ町内各宗院ハ國家擁護ノ目的ヨリ一致シテ社會教化ノ實務ニ從事シ進ンテハ國利民福ヲ念トシ慈善事業ヲ遂行スル事トナレリ

目的及事業種類

教育勸語ト佛教ノ慈悲ヲ宣揚シ専ラ精神作興ヲ計ルヲ以テ目的トス  
保護事業

會員數及分布狀況

會員 各宗寺院ノ住職九人  
分布 町内

主ナル役職名並其氏名

會長 東 琢 善  
専務理事 山 本 堯 慶

顧問 江原淺次郎

資産(種目別)

基本金 五百三十四

維持方法

毎月一回托鉢ニヨル収入、町補助金

昭和二年度決算額 歳入 二七〇、五〇

昭和二年度決算額 歳出 二六七、二五

昭和三年度豫算額 歳入 二七五、〇〇

獎勵金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)

昭和二、三年度町會補助金ヲ受ク

\*\*\*\*\*

名稱 前橋修養會

事務所々在地 前橋市萱町五七  
創設年月日 明治四十四年十月

經營主體又ハ代表者

經營主體 前橋各宗法會經營  
代表者 理事 加藤 立 成

沿革概要

明治四十三年夏當市ニ開催セラレタル大日本佛教青年會夏季講習會ヲ動機トシ其秋同シク當市ニ開カレタル共進會カ及ホセル市民ノ日常生活並思想上ノ急激ナル變動ヲ憂フル識者ノ間ニ思想善導機關ノ要望アリ小野島法隆、竹内勝藏、田部井宗七、河野要治氏ニヨリテ組織セラレ漸次會務ノ進展ヲ見タルモ小野島師ノ歿後一時停止ノ状態ニナリシヲ大正八年二月前橋各宗協會之ヲ繼承經營スルコトトナリ次第ニ發展シテ今日ニ至リ已ニ講演會開催百八十回ニ及フ

目的及事業種類

イ、目的 一、國民精神ノ作興  
二、思想善導事業  
ロ、事業 一、講演會 毎月一回之ヲ開催ス

一、講座 時々開催ス

一、パンフレット 刊行ス

會員數及分布狀況

二百五十七名  
市内及隣接町村

主ナル役職名並其氏名

理事	加藤 立 成
同	高橋 宗 雄
同	高橋 翰 寬
同	田部 井宗七
同	櫻井 菊次郎
同	星野 健太郎
同	佐田 仙 馨
協會役員	會長 佐田 仙 馨

維持方法

一、會員ノ會費 二、寄附金  
三、内務省並市補助金其他ノ収入

昭和二年度決算額 歳入 八三一、一四  
 歳出 八二二、〇二 差引 一三八、二二  
 昭和三年度決算額 歳入 八七三、八〇  
 歳出 八九六、一四  
 但二年度決算收入中前年度繰越金一〇六、四〇圓ヲ含ム  
 奨励金並補助金下附ノ有無(昭和二、三年度)  
 内務省 金百圓 前橋市 金百圓  
 (大正十三年度以降年々受ク)

名稱 廓清會群馬支部

事務所所在地 前橋市横山町六 松宮晴方  
 創設年月日 明治四十五年一月十三日  
 經營主體又ハ代表者 森 川 抱 次  
 沿革概要  
 本會ノ前身ハ群馬縣青年會(縣下七有餘ノ青年會聯合)ニシテ明治二十二年縣令拊取素彦氏ノ時代ヨリ縣下廢娼ノ

タメ熱心ニ活動シタルモノナリ、其後幾多ノ曲折アリタルモ明治二十六年同縣下ニ娼妓ヲ全廢スルコトヲ得タリ  
 明治四十五年一月十三日(東京廓清會組織セラレテ間モナク群馬縣支部組織セラレ今日ニ至ル  
 初代支部長ハ徳江亥之助氏ニシテ大正十五年二月ヨリ現支部長森川抱次氏トナル  
 目的及事業種類

- 男女間ニ貞潔ノ德操ヲ奨メ公娼制度ヲ廢止シ且ツ各種ノ方面ヨリ社會ヲ廓清スルニ在リ
- 一、公娼問題ニ對スル各方面ニ研究調査
- 二、公娼廢止ノ善後策ヲ研究スルコト
- 三、藝妓酌婦其ノ他ノ類似稼業者ニ對スル調査改善
- 四、善妾姦通私通結婚離婚等ニ關スル調査改善
- 五、婦人問題、貞操問題、勞働問題其ノ他ノ社會問題ニ對スル現状及思想ノ研究
- 六、娼妓其他醜業婦ノ救済

七、公開演說會ヲ開クコト

八、毎月一回「廓清」ト題スル雜誌發行ノコト  
 九、時々適當ノ出版ヲナスコト

會員數及分布狀況

百十六名  
 本縣内ニ分布ス

主ナル役職名並其氏名

顧問	徳江亥之助
支部長	森川抱次
副支部長	高橋駒次郎
幹事	大澤虎雄
同	森寅二
同	金子尚雄
同	金井智見
同	丸山重之輔
兼會計	高橋駒次郎

主 事 中 田 保 治

維持方法

會費寄附金、其他ノ收入

昭和二年度決算額	歳入	五二二、〇〇
	歳出	
昭和二年度決算額	歳入	四六〇、〇〇
	歳出	
昭和三年度決算額	歳入	四〇〇、〇〇
	歳出	

\*\*\*\*\*

名稱 澁川修養會

事務所所在地 澁川町二、一六〇、正蓮寺内  
 創設年月日 大正三年五月八日  
 經營主體又ハ代表者 阿部順三  
 沿革概要

本會ハ思想界ノ現時ヲ痛感シ有志相集リ座談會ヲ組織シ國民道德ヲ基調トスル大乘佛教ヲ研究シ廣ク社會全般ノ